

横浜地域の現状

横浜地域の現状(まとめと論点)

基本的事項

<入院患者推計>

- ・総人口は減少に転じ、2025年には368万人、2040年には344万人に減少。
- ・75歳以上の人口は、2025年には2015年比約1.45倍、2040年には約1.61倍に増加。
- ・入院患者数は増加し続け、2025年には2015年比1.23倍、2040年には1.40倍に増加。65歳以上、75歳以上の患者数は増え続ける一方、65歳未満の患者数は減少に転じる。

<在宅医療・介護施設等の状況>

- ・特養の整備は進んでいる。
- ・有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等の整備数の伸びが大きい。
(有料老人ホーム：H25比1.21倍)
(サ高住：H25比2.16倍)

<病床数の状況(病床機能報告)>

- ・高度急性期が減少し、急性期が増加。回復期が増加し、慢性期は微増。
- ・2025年の必要病床数推計と比べ、高度急性期はほぼ過不足なしで急性期は過剰。回復期と慢性期が不足となる傾向に変わりなし。

入院基本料

<一般病床、7:1・10:1>

- ・自己完結率は86.5%、流出超過。
- ・7:1、10:1のレセプト出現比は全国平均より低い。
- ・脳卒中ケアユニットの出現比が高い。

<回復リハ等>

- ・自己完結率は88.3%、流入超過。
- ・回復期リハ関係、13:1、15:1のレセプト出現比は全国平均より低い。

<療養>

- ・自己完結率は71.4%、流出超過。
- ・療養病床基本料のレセプト出現比は全国平均より低い。

救急医療

<救急医療>

- ・90.5%の患者が二次救急を圏域内で完結。若干の流出は見られるものの、ほぼ市域内で完結している。
- ・三次救急のレセプト出現比は、全国平均を大きく上回っている。

疾患別の地域特性

<がん>

- ・2025年入院患者数：全体的に増加するが、特に、胃がん、結腸がんの増加率が高い。最も実数が多いのは肺がん。
- ・がん入院の自己完結率は最も高い肺がんで87.1%、最も低い乳がんで75.2%。
- ・化学療法自己完結率は、入院で82.1%、外来で82.2%。
- ・放射線治療自己完結率は、入院で78.7%、外来で76.4%。
- ・北部は放射線治療の出現比が、西部と南部は放射線治療・無菌室治療・緩和ケアの出現比が高い。
- ・人口カバー率も30分圏内に収まっている。

<急性心筋梗塞>

- ・2025年入院患者数：実数は少ないが、2010年比1.22倍になる
- ・自己完結率は86.9%。
- ・西部のレセプト出現比が全国平均より低い
- ・北部ではカテーテル治療の出現比が、南部では心臓血管手術の出現比が高い。
- ・人口カバー率は概ね15分圏内に収まる。

<脳卒中>

- ・2025年入院患者数：くも膜下出血は、2015年比1.21倍、脳梗塞は、1.41倍になる。特に脳梗塞は、実数も多く、2015年比で1日入院患者数が約1,000人増加。
- ・入院の自己完結率は約80～84%。
- ・北部は全体的にレセプト出現比が高く、西部は脳動脈瘤流入血管クリッピングの出現比が、南部は脳血管内手術の出現比が高い。
- ・脳梗塞の人口カバー率は概ね15分圏内に収まる。

<糖尿病>

- ・自己完結率は、入院で82.8%、外来で89.7%。
- ・全市的に総合的な管理体制に関するレセプト出現比が高い。

在宅医療等

<在宅医療等>

- ・全市的に、在宅支援や訪問診療、在宅療養者の緊急受入れ、ターミナルケア提供に関するレセプト出現比は高い。
- ・往診、看取りに関するレセプト出現比が低く、医療機関間の情報共有ネットワークについては出現比が見られない。

【課題・論点】

- 総人口は減少に転じるが、入院患者数は増加を続け、2025年には2015年比1.23倍、2040年には1.40倍に増加する。
- 回復期リハのレセプト出現比が全国平均より低い。
- 療養病床は流出超過で、レセプト出現比も全国平均を下回っている。

人口・患者数 推移等

県内の人口と入院患者の推移

都道府県 14神奈川県

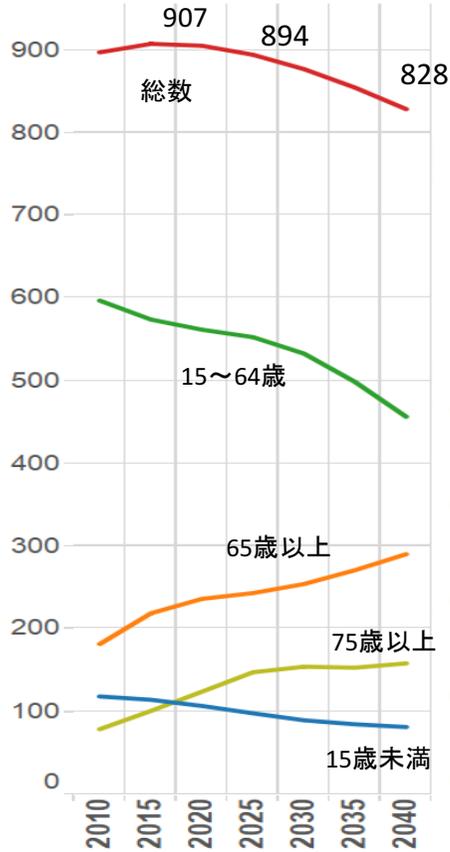
2次医療圏 すべて

市区町村 すべて

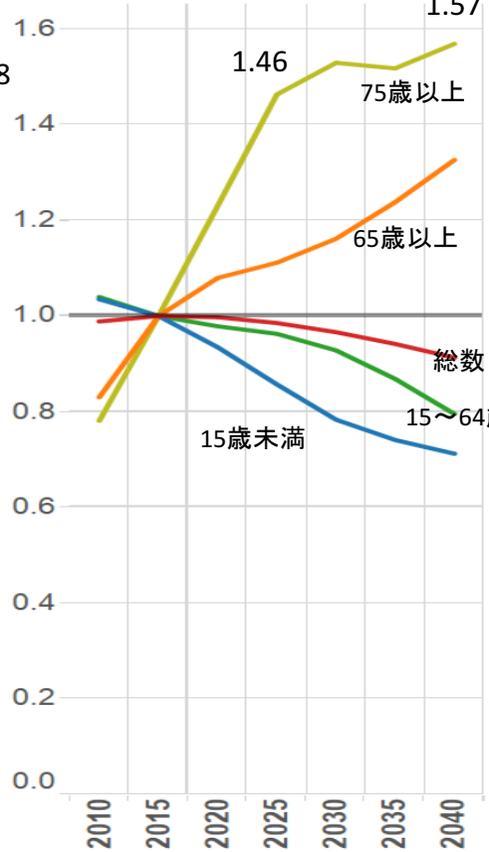
人口と入院患者数

傷病 xALL総数

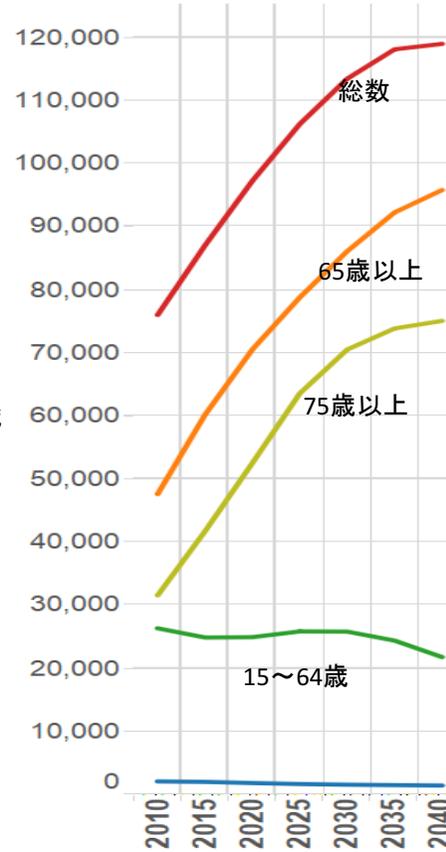
年齢区分別人口(万人)



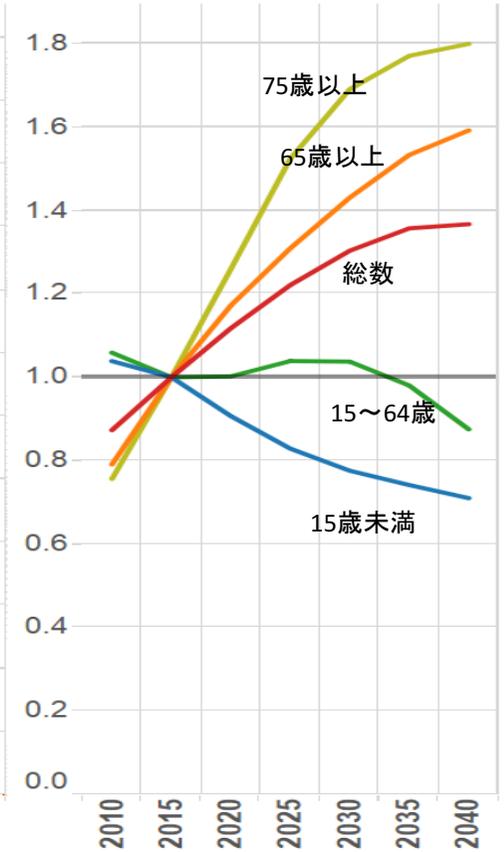
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※人口: 性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)
 ※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は、年々増え続ける。特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2025年には、2015年比約1.46倍、2040年には約1.57倍に増加する。
- ・患者数は、2025年には、2015年比1.22倍に増加し、2040年にも1.37倍に増加する。65歳未満の患者は年々減少し、2030年を機に減少率が高まる。

横浜地域における人口と入院患者の推移

都道府県 14神奈川県

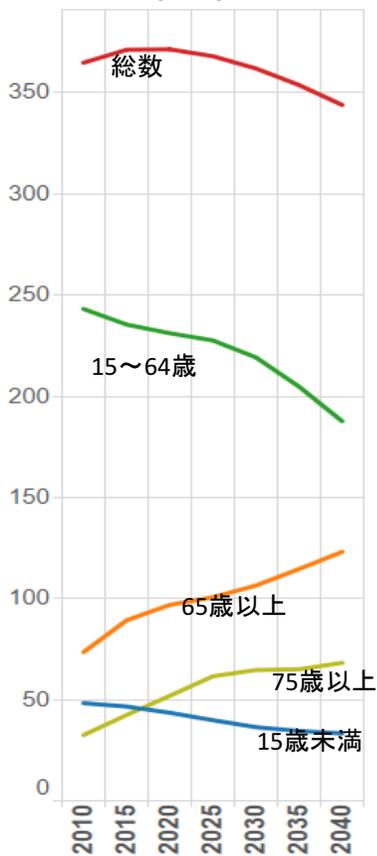
2次医療圏 複数の値

市区町村 すべて

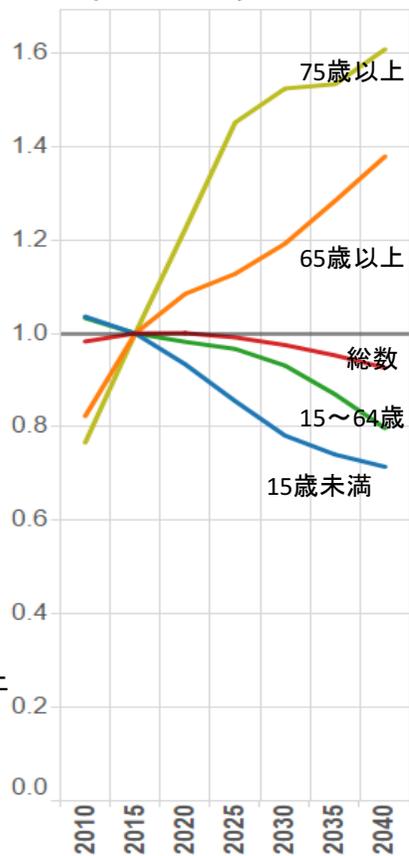
人口と入院患者数

傷病 xALL総数

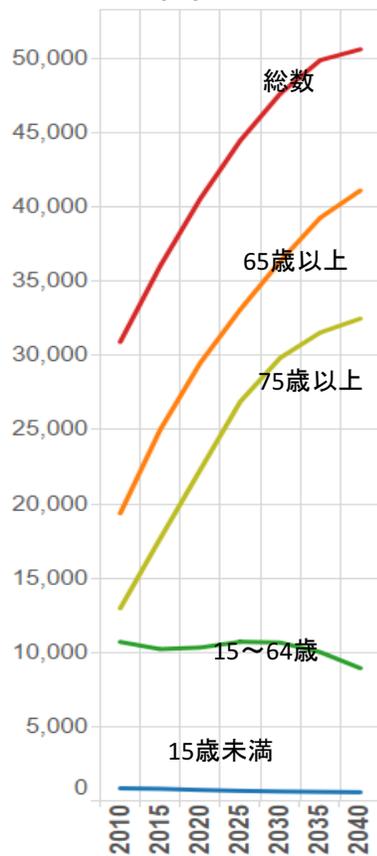
年齢区分別人口(万人)



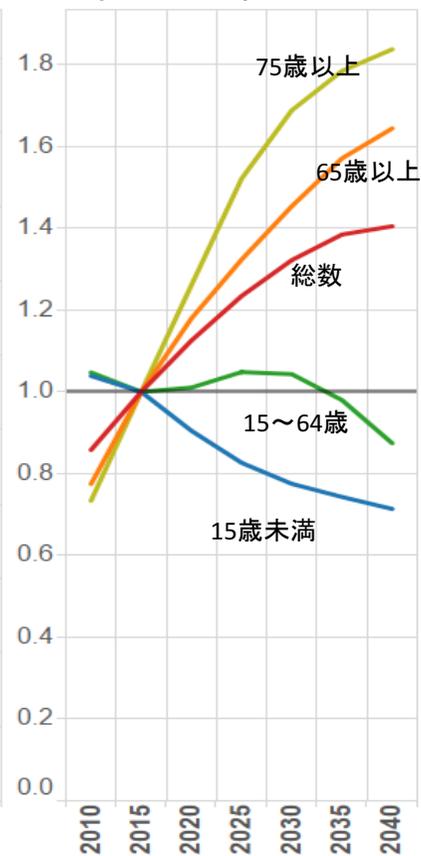
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



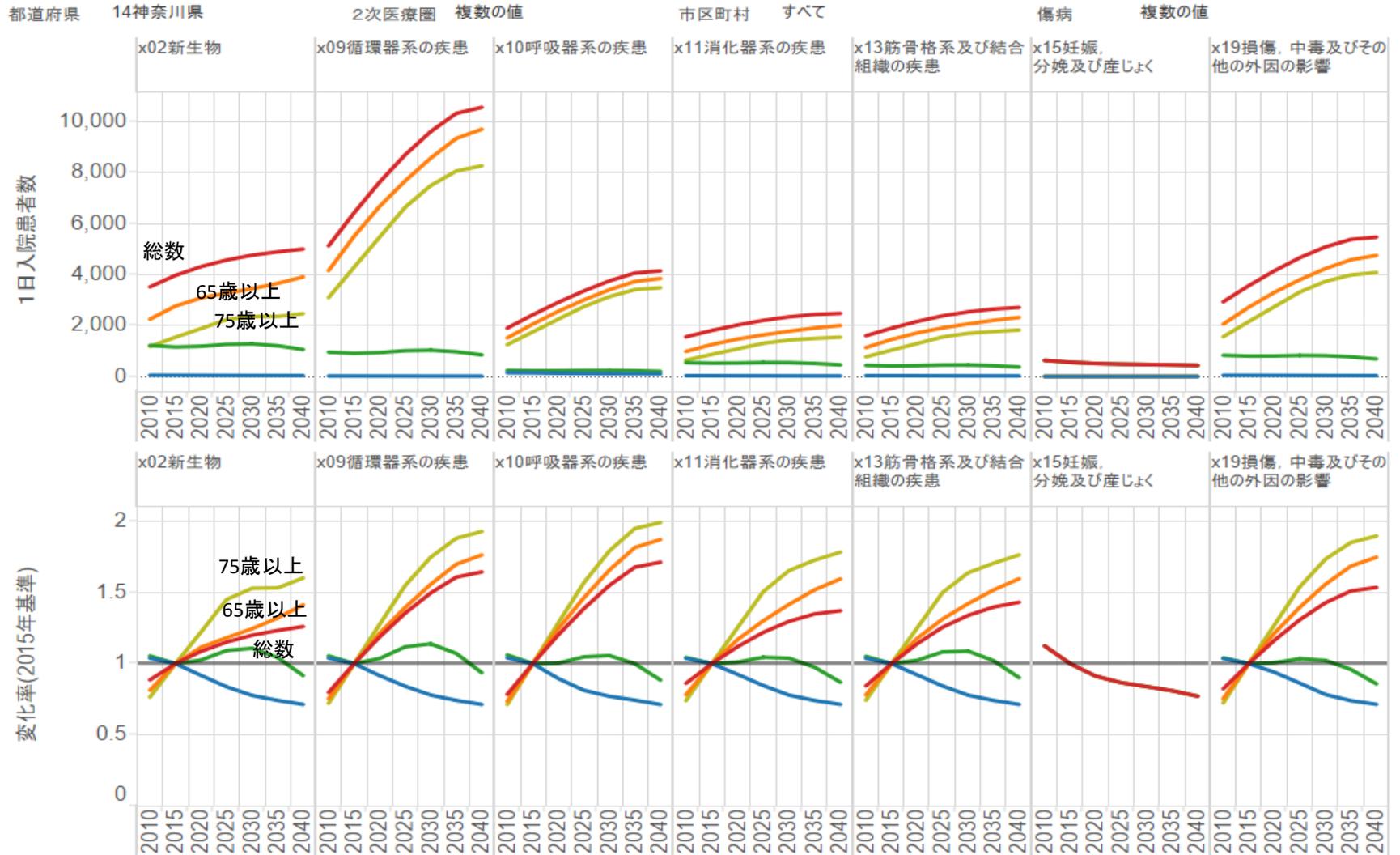
H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※人口: 性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は増え続け、2015年比で2025年は1.13倍、2040年は1.38倍となる。特に75歳以上は2015年比で2025年は1.45倍、2040年は1.61倍となる。
- ・患者数は、2025年には2015年比1.23倍に増加し、2040年には1.4倍に増加する。65歳以上、75歳以上の患者は増え続け、65歳未満の患者は年々減少する。

横浜地域における疾患別の入院患者の推移

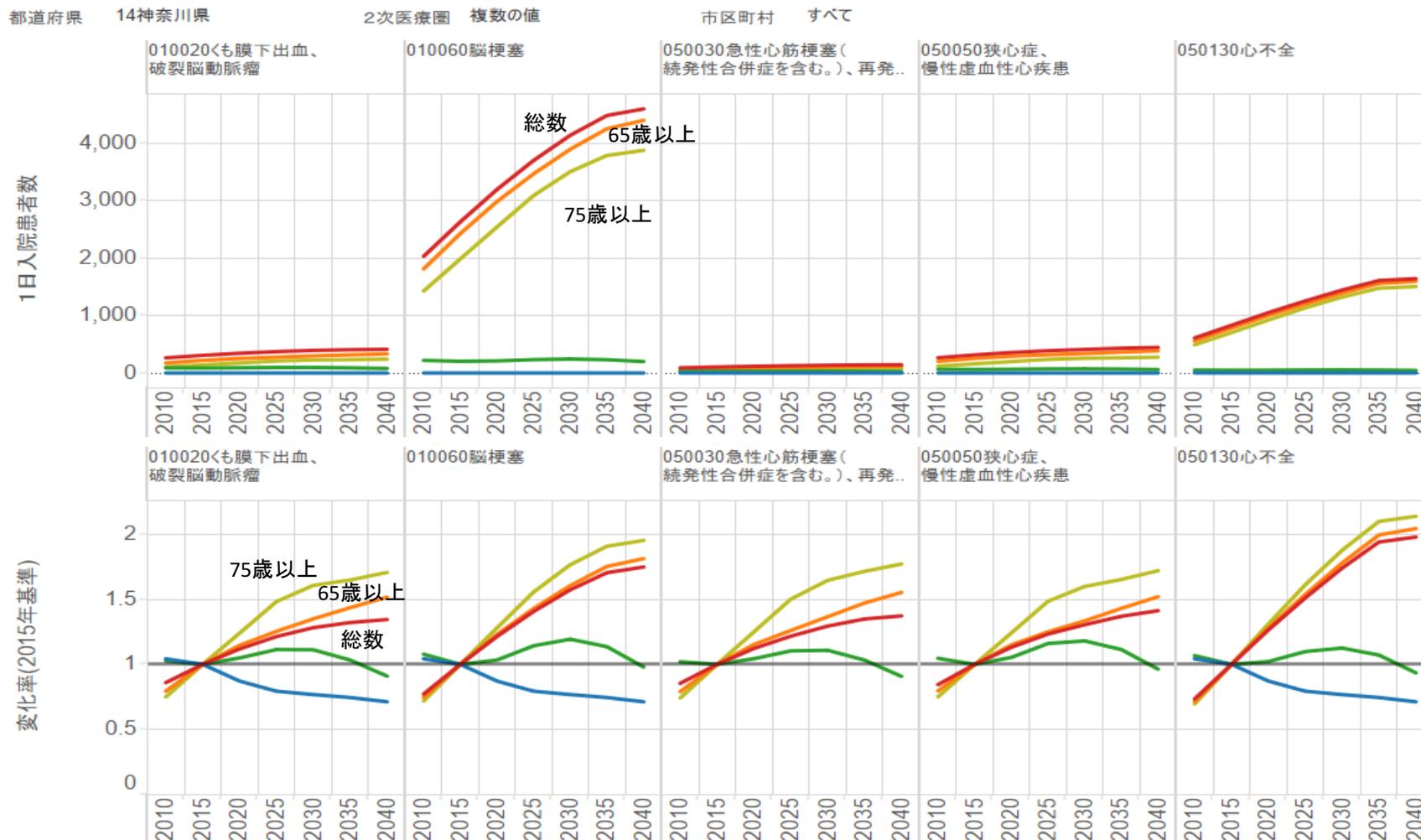


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率 (H26年患者調査)

・分娩を除いて、すべての疾患で増加する。

横浜地域における疾患別の入院患者の推移(循環器系)



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

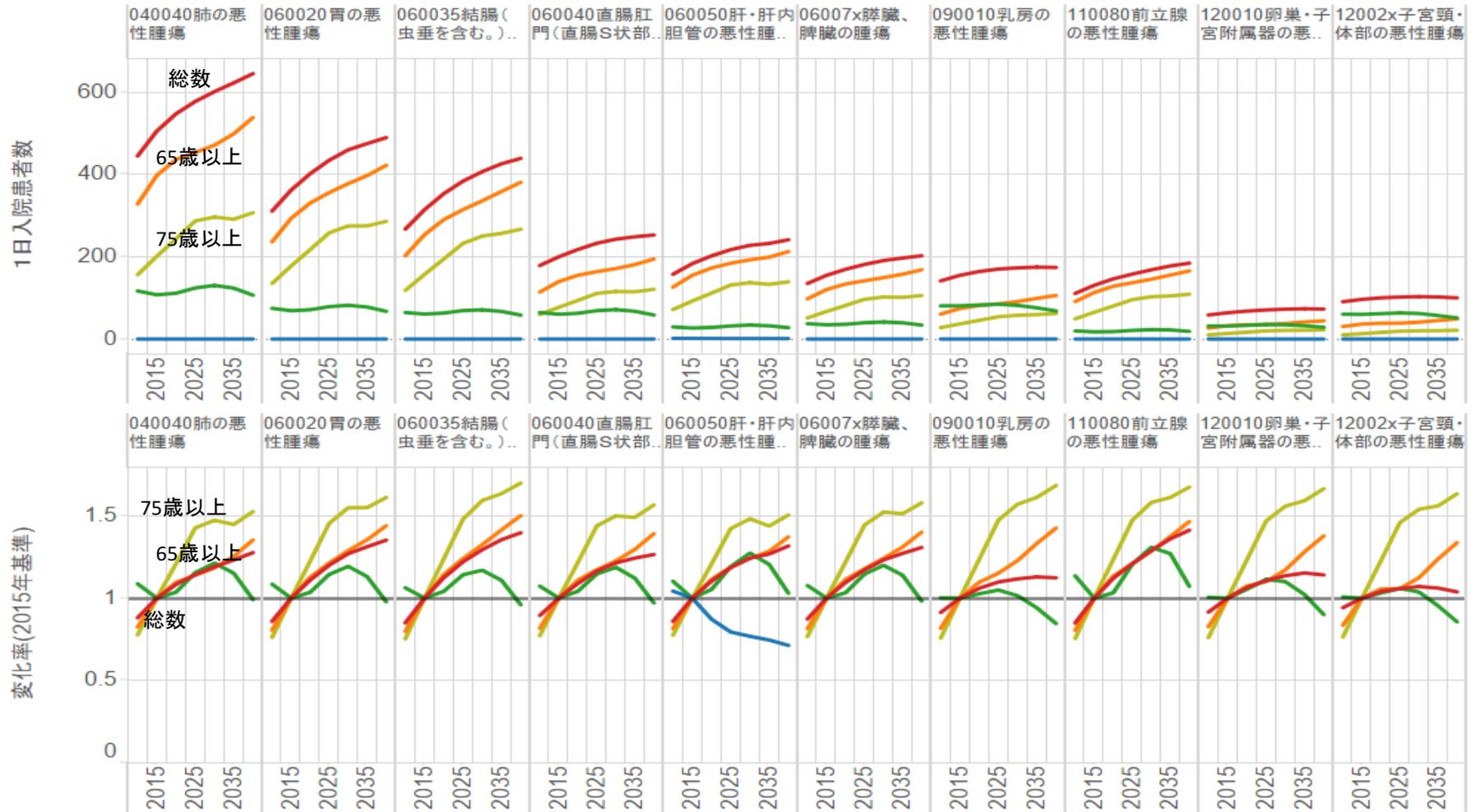
・2025年には全体的に増加するが、特に脳梗塞、心不全の増加率が高い。

横浜地域における疾患別の入院患者の推移(がん)

都道府県 14神奈川県

2次医療圏 複数の値

市区町村 すべて



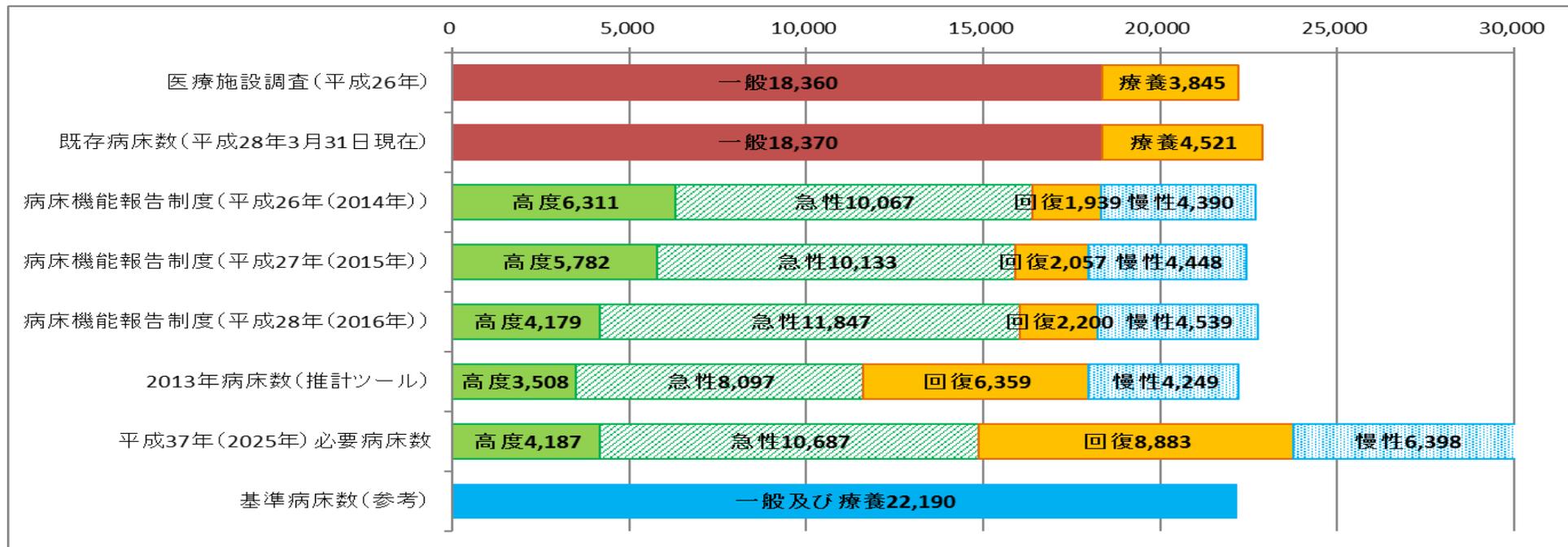
H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率 (H26年患者調査)

・全体的に増加するが、胃、大腸、肝、膵臓、前立腺がんの増加率が高い。

医療施設等の状況

横浜地域における必要病床数(全体)



区分	一般病床				療養病床	合計	備考			
	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計				
医療施設調査(平成26年)				18,360	3,845	22,205				
既存病床数(平成28年3月31日現在)				18,370	4,521	22,891	保健医療計画上の数値(H19.1.1許可以前の有床診を含めていないことや補正の関係から医療施設調査の結果と数値が異なる)			
区分	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計				
病床機能報告制度(平成26年(2014年))	6,311	10,067	1,939	18,317	4,390	22,707	地域医療構想を策定にあたり、現状把握の指標として用いられるとされている数値。報告率94.2% 休棟中等228床を除く			
病床機能報告制度(平成27年(2015年))	5,782	10,133	2,057	17,972	4,448	22,420	同上。報告率97.6% 休棟中等287床は除く			
病床機能報告制度(平成28年(2016年))	4,179	11,847	2,200	18,226	4,539	22,765	同上。報告率96.6% 休棟中等268床は除く			
平成25年(2013年)病床数(推計ツール)	3,508	8,097	6,359	17,964	4,249	22,213	将来の必要病床数の推計方法と同じ計算方法で算出した平成25年(2013年)の病床数			
将来				4,187	10,687	8,883	23,757	6,398	30,155	

介護施設等の状況

	特別養護老人ホーム			介護老人保健施設			認知症高齢者グループホーム			軽費老人ホーム (ケアハウス・A型)			養護老人ホーム			有料老人ホーム			サービス付き高齢者向け住宅		
	H25.4	H28.4	H29.4	H25.4	H28.4	H29.4	H25.4	H28.4	H29.4	H25.4	H28.4	H29.4	H25.4	H28.4	H29.4	H25.4	H28.4	H29.4	H25.4	H28.4	H29.4
神奈川県	350 (30,243)	384 (34,062)	392 (35,217)	185 (19,615)	192 (20,172)	197 (20,172)	651 (10,635)	711 (11,739)	727 (12,079)	47 (2,139)	47 (2,135)	47 (2,135)	18 (1,480)	18 (1,400)	18 (1,400)	605 (37,840)	752 (45,045)	785 (47,264)	132 (5,024)	268 (10,303)	291 (11,195)
横浜	140 (13,897)	145 (14,625)	148 (15,168)	82 (9,565)	83 (9,571)	87 (9,571)	287 (4,876)	300 (5,053)	300 (5,072)	11 (646)	11 (644)	11 (644)	6 (628)	6 (548)	6 (548)	195 (13,514)	231 (15,357)	245 (16,400)	46 (1,767)	89 (3,435)	99 (3,810)
川崎北部	23 (1,794)	32 (2,599)	32 (2,605)	13 (1,533)	15 (1,659)	15 (1,659)	52 (872)	62 (1,070)	64 (1,106)	3 (264)	3 (264)	3 (264)	2 (190)	2 (190)	2 (190)	81 (6,575)	100 (6,829)	104 (7,117)	10 (478)	21 (925)	24 (1,006)
川崎南部	17 (1,408)	21 (1,833)	21 (1,839)	6 (622)	6 (622)	6 (622)	40 (613)	47 (749)	51 (821)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (859)	53 (2,195)	46 (2,209)	12 (486)	15 (605)	17 (665)
相模原	33 (2,526)	37 (3,016)	38 (3,156)	12 (1,231)	12 (1,231)	13 (1,231)	52 (878)	62 (1,058)	65 (1,121)	9 (218)	9 (218)	9 (218)	1 (80)	1 (80)	1 (80)	33 (1,785)	55 (2,676)	63 (2,884)	7 (327)	20 (807)	21 (837)
横須賀・三浦	36 (3,243)	37 (3,424)	37 (3,424)	20 (1,857)	21 (1,897)	21 (1,897)	75 (1,083)	78 (1,137)	78 (1,128)	5 (288)	5 (288)	5 (288)	3 (152)	3 (152)	3 (152)	75 (4,037)	90 (5,068)	94 (5,261)	8 (174)	16 (487)	18 (597)
湘南東部	26 (1,799)	27 (1,828)	31 (2,268)	12 (1,216)	13 (1,316)	13 (1,316)	36 (606)	40 (681)	43 (735)	2 (80)	2 (80)	2 (80)	2 (200)	2 (200)	2 (200)	63 (3,616)	73 (4,216)	73 (4,216)	14 (416)	34 (1,418)	36 (1,522)
湘南西部	24 (1,822)	27 (2,210)	27 (2,230)	13 (1,108)	14 (1,193)	14 (1,193)	36 (521)	40 (620)	42 (656)	10 (407)	10 (405)	10 (405)	2 (120)	2 (120)	2 (120)	46 (2,615)	59 (3,135)	63 (3,375)	16 (534)	23 (782)	24 (822)
県央	35 (2,388)	40 (2,941)	40 (2,941)	17 (1,505)	18 (1,605)	18 (1,605)	41 (678)	46 (779)	50 (867)	4 (90)	4 (90)	4 (90)	2 (110)	2 (110)	2 (110)	52 (2,981)	62 (3,466)	67 (3,685)	11 (450)	32 (1,238)	32 (1,298)
県西	16 (1,366)	18 (1,586)	18 (1,586)	10 (978)	10 (1,078)	10 (1,078)	32 (508)	36 (592)	34 (573)	3 (146)	3 (146)	3 (146)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (1,858)	29 (2,103)	30 (2,117)	8 (392)	18 (606)	20 (638)

※上段の数字は施設数、()内は定員数(特別養護老人ホームは短期入所定員を除く。サービス付き高齢者向け住宅は戸数)
 <出典> 県高齢福祉課「高齢者のための施設のご案内」、神奈川県看護協会「かながわ訪問看護ステーション一覧」

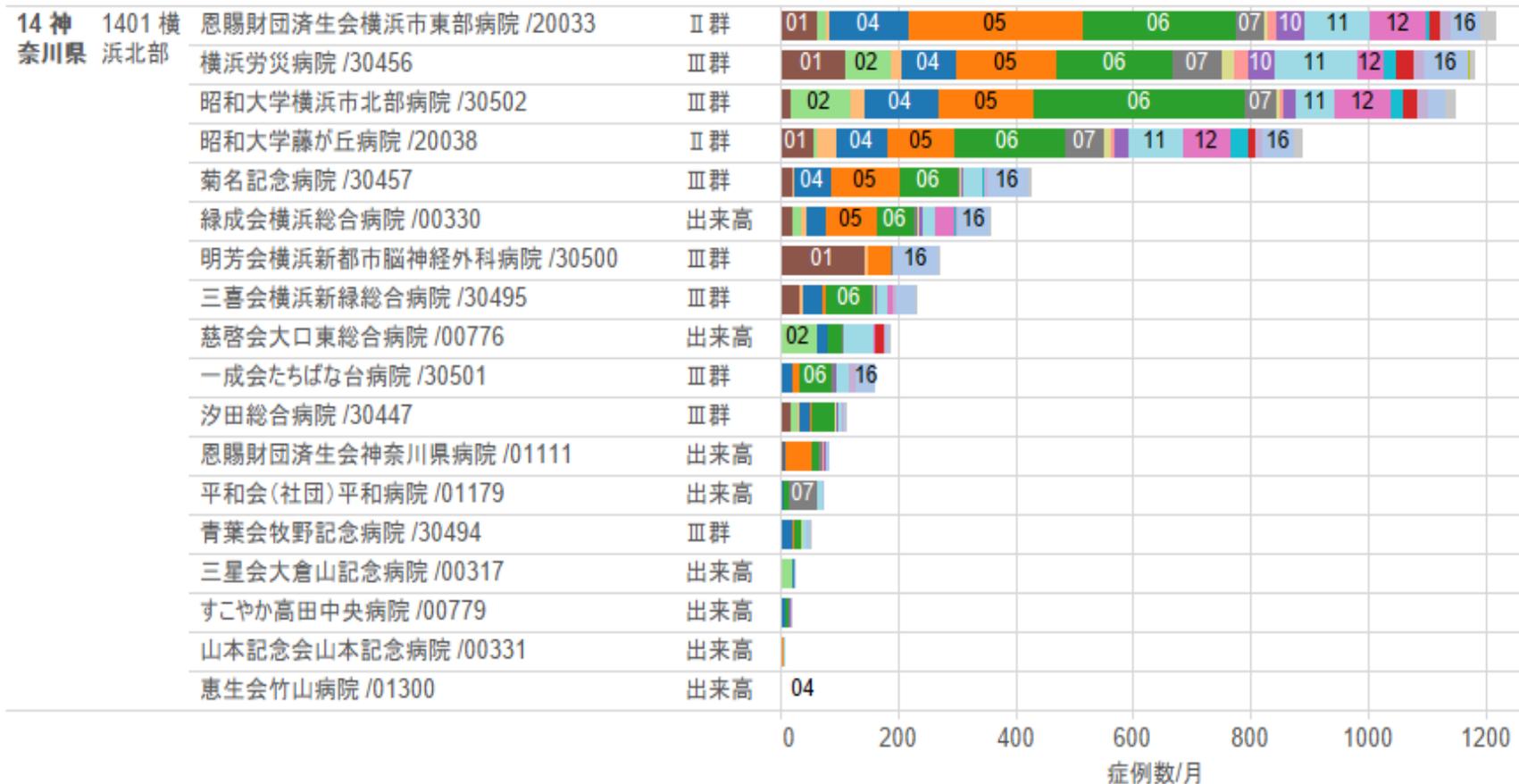
横浜北部におけるDPC対象病院の診療実績(平成27年度DPCデータ:MDC別全患者)

MDC別患者数

都道府県 14 神奈川県

2次医療圏 1401 横浜北部

病院種別



- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 準備
- 出来高

MDCtitle

- 01 神経系疾患
- 02 眼科系疾患
- 03 耳鼻咽喉科..
- 04 呼吸器系疾..
- 05 循環器系疾..
- 06 消化器系疾..
- 07 筋骨格系疾..
- 08 皮膚・皮下..
- 09 乳房の疾患
- 10 内分泌・栄..
- 11 腎・尿路系..
- 12 女性生殖器..
- 13 血液・造血..
- 14 新生児疾患..
- 15 小児疾患
- 16 外傷・熱傷・..
- 17 精神疾患
- 18 その他

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

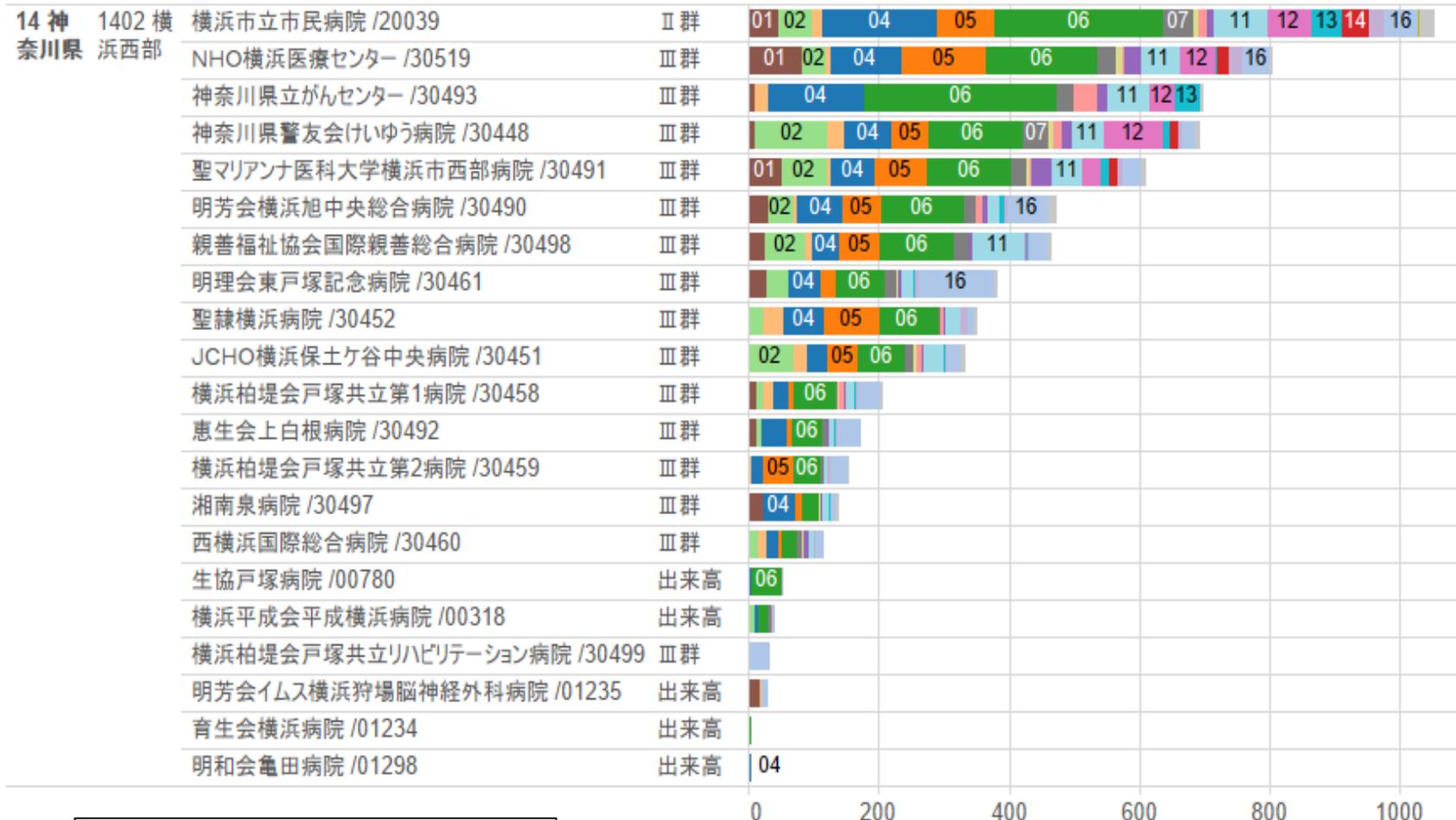
横浜西部におけるDPC対象病院の診療実績(平成27年度DPCデータ:MDC別全患者)

MDC別患者数

都道府県 14 神奈川県

2次医療圏 1402 横浜西部

病院種別



- I 群
- II 群
- III 群
- 準備
- 出来高

MDCtitle

- 01 神経系疾患
- 02 眼科系疾患
- 03 耳鼻咽喉科..
- 04 呼吸器系疾..
- 05 循環器系疾..
- 06 消化器系疾..
- 07 筋骨格系疾..
- 08 皮膚・皮下..
- 09 乳房の疾患
- 10 内分泌・栄..
- 11 腎・尿路系..
- 12 女性生殖器..
- 13 血液・造血..
- 14 新生児疾患..
- 15 小児疾患
- 16 外傷・熱傷..
- 17 精神疾患
- 18 その他

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
 国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

症例数/月

横浜南部におけるDPC対象病院の診療実績(平成27年度DPCデータ:MDC別全患者)

MDC別患者数

都道府県 14 神奈川県

2次医療圏 1403 横浜南部

病院種別

14 神 1403 横
奈川 浜南部

病院名	群	01	02	04	05	06	07	10	11	12	13	16
横浜市立大学附属市民総合医療センター /20034	Ⅱ群	01	02	04	05	06	07	10	11	12	13	16
KKR横浜南共済病院 /30453	Ⅲ群	01	02	04	05	06	07	11	12	16		
恩賜財団済生会横浜市南部病院 /30489	Ⅲ群	02	04	05	06	10	11	12	16			
横浜市立みなと赤十字病院 /30518	Ⅲ群	01	04	05	06	07	11	12	16			
横浜市立大学附属病院 /10030	I群	01	02	04	05	06	07	11	12			
KKR横浜栄共済病院 /30496	Ⅲ群	01	04	05	06	11						
神奈川県立子ども医療センター /30450	Ⅲ群									12	14	
神奈川県立循環器呼吸器病センター /30455	Ⅲ群			04	05							
JCHO横浜中央病院 /30449	Ⅲ群				06							
光陽会磯子中央病院 /90191	準備											
愛友会金沢文庫病院 /30454	Ⅲ群				06							
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター /90113	準備	01										
景翠会金沢病院 /01236	出来高											
横浜東邦病院 /01181	出来高											
恩賜財団済生会若草病院 /00316	出来高											
仁明会秋山脳神経外科・内科病院 /90192	準備											
回生会ふれあい横浜ホスピタル /00777	出来高											
佐藤病院 /01299	出来高			04								

- I群
- II群
- III群
- 準備
- 出来高

MDCtitle

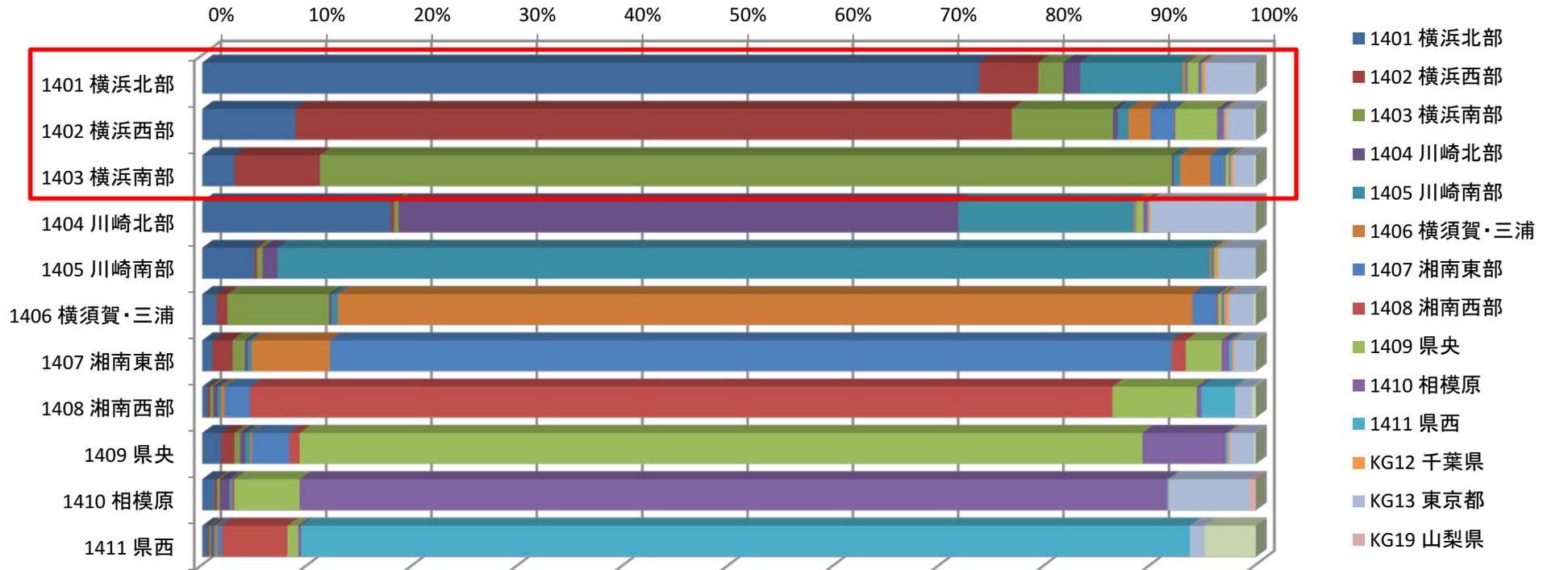
- 01神経系疾患
- 02眼科系疾患
- 03耳鼻咽喉科..
- 04呼吸器系疾..
- 05循環器系疾..
- 06消化器系疾..
- 07筋骨格系疾..
- 08皮膚・皮下..
- 09乳房の疾患
- 10内分泌・栄..
- 11腎・尿路系..
- 12女性生殖器..
- 13血液・造血..
- 14新生児疾患..
- 15小児疾患
- 16外傷・熱傷・..
- 17精神疾患
- 18その他

0 200 400 600 800 1000
症例数/月

出典: <http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>
国立がん研究センター 石川ベンジャミン光一先生

入院基本料

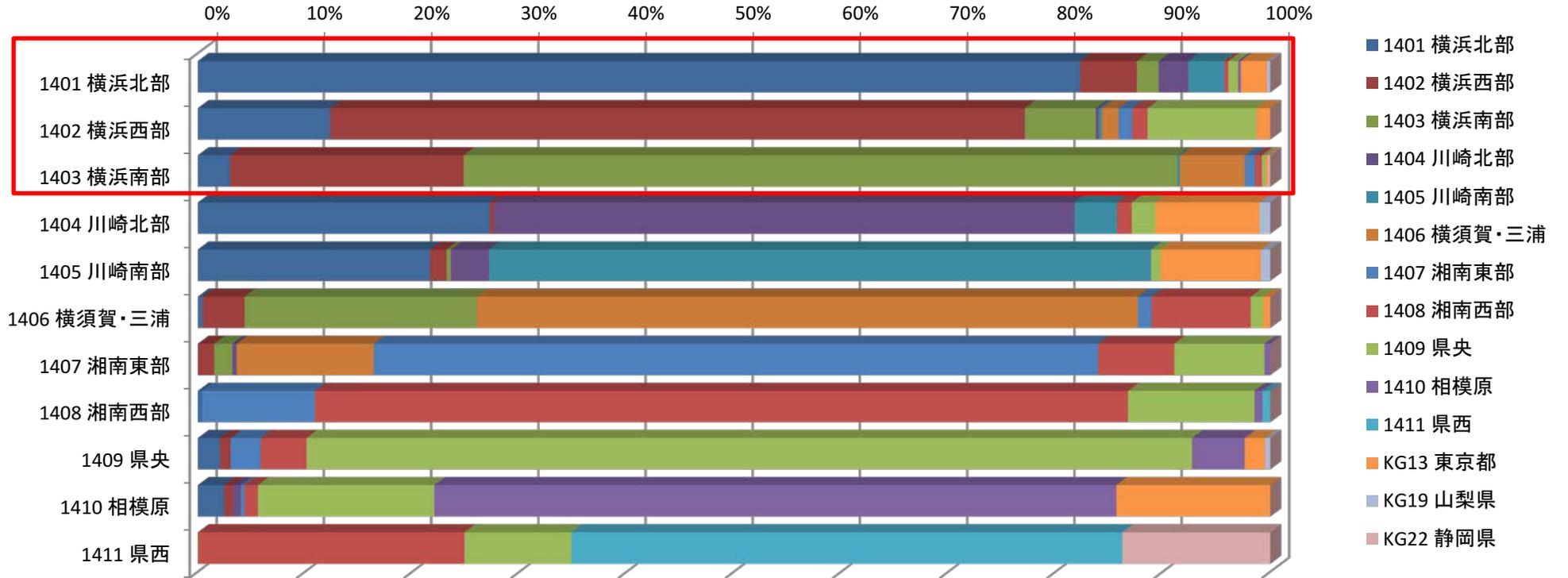
神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成26年度NDBデータ:一般病床入院 7:1、10:1)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名															
負担者二次医療圏名	横近北部	横近西部	横近南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	73.76%	5.60%	2.38%	1.60%	9.71%	0.26%	0.17%	0.06%	1.03%	0.26%	0.11%	0.28%	4.71%		0.08%	31,352
1402 横浜西部	8.83%	68.00%	9.62%	0.44%	1.02%	2.11%	2.26%	0.08%	3.95%	0.61%	0.10%	0.23%	2.59%		0.16%	23,025
1403 横浜南部	3.06%	8.10%	80.87%	0.20%	0.60%	2.85%	1.38%	0.07%	0.33%	0.07%	0.10%	0.22%	2.01%		0.14%	26,751
1404 川崎北部	17.89%	0.32%	0.43%	53.11%	16.69%	0.15%	0.07%		0.67%	0.41%	0.09%	0.15%	9.93%		0.08%	14,977
1405 川崎南部	4.93%	0.26%	0.54%	1.39%	88.50%	0.13%	0.20%	0.09%	0.25%			0.18%	3.54%			15,864
1406 横須賀・三浦	1.34%	1.04%	9.66%	0.24%	0.59%	81.14%	2.30%	0.14%	0.33%	0.16%	0.13%	0.36%	2.35%		0.23%	18,234
1407 湘南東部	0.96%	1.92%	1.16%	0.29%	0.37%	7.42%	79.91%	1.33%	3.38%	0.71%	0.29%	0.18%	1.95%		0.12%	14,692
1408 湘南西部	0.51%	0.24%	0.27%	0.43%	0.30%	0.36%	2.41%	81.88%	8.00%	0.42%	3.19%		1.63%		0.35%	11,583
1409 県央	1.78%	1.27%	0.56%	0.46%	0.44%	0.20%	3.56%	0.97%	80.02%	7.89%	0.20%	0.16%	2.33%		0.16%	19,448
1410 相模原	1.16%	0.24%	0.26%	0.91%	0.11%	0.08%	0.16%	0.13%	6.21%	82.33%	0.14%	0.08%	7.58%	0.62%		18,639
1411 県西	0.52%	0.14%	0.16%	0.25%	0.17%	0.22%	0.43%	6.19%	1.04%	0.27%	84.37%		1.41%		4.84%	12,017
総計	30,508	20,475	26,881	9,256	20,303	17,380	14,195	10,734	19,791	17,396	10,734	389	7,598	116	826	206,582

・86.5%の患者が入院医療を市域内で完結している。

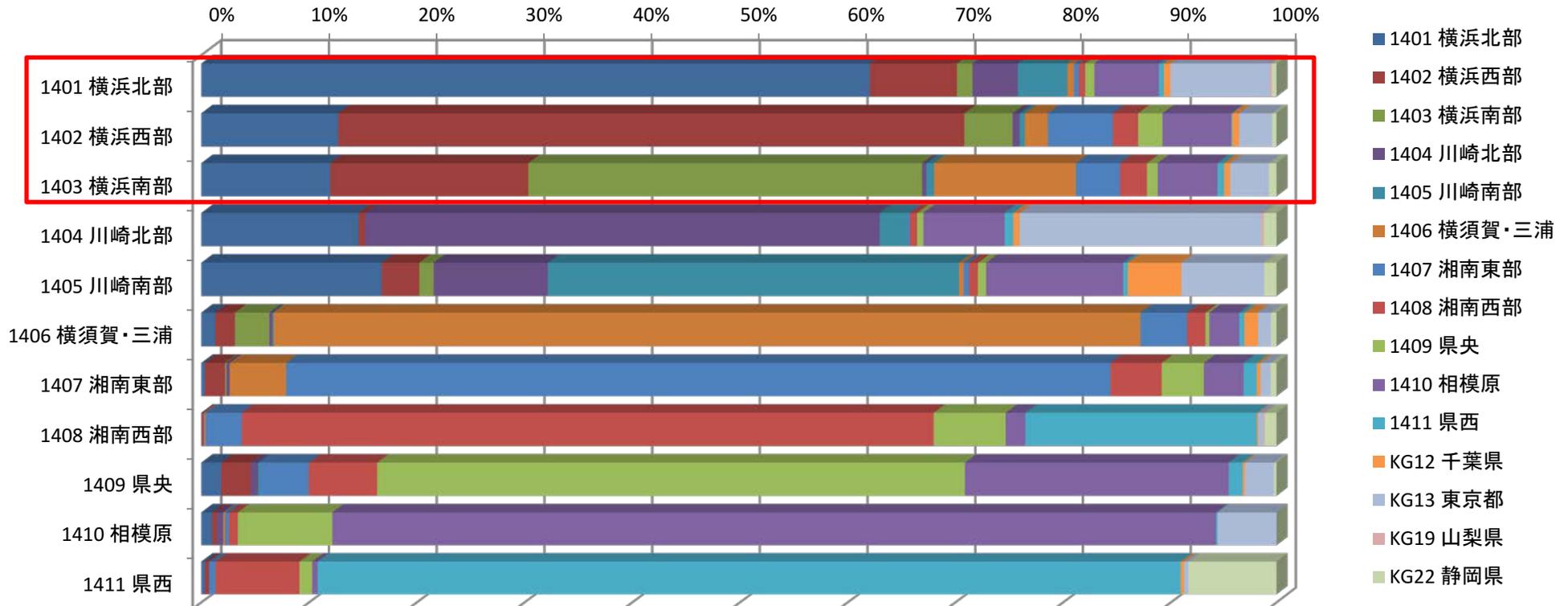
神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成26年度NDBデータ:回復期リハビリテーション病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	82.29%	5.30%	2.03%	2.76%	3.17%		0.20%	0.37%	0.90%	0.25%		2.42%	0.31%		5,116
1402 横浜西部	12.34%	64.80%	6.62%	0.29%	0.27%	1.57%	1.27%	1.42%	10.13%			1.29%			4,790
1403 横浜南部	2.99%	21.80%	66.56%		0.23%	6.05%	0.94%	0.65%	0.35%			0.20%		0.23%	5,111
1404 川崎北部	27.22%	0.40%		54.16%	3.96%			1.37%	2.20%			9.69%	1.00%		3,002
1405 川崎南部	21.67%	1.53%	0.39%	3.57%	61.76%				0.90%			9.33%	0.86%		2,552
1406 横須賀・三浦	0.46%	3.89%	21.67%			61.66%	1.28%	9.22%	1.17%			0.65%			3,678
1407 湘南東部		1.52%	1.69%	0.41%		12.78%	67.57%	7.12%	8.37%	0.54%					2,951
1408 湘南西部	0.41%						10.50%	75.85%	11.77%	0.74%	0.74%				2,439
1409 県央	2.05%	1.01%					2.80%	4.28%	82.60%	4.89%		1.91%	0.47%		2,781
1410 相模原	2.45%	0.82%		0.74%			0.35%	1.24%	16.45%	63.62%		14.33%			2,820
1411 県西								24.87%	9.96%		51.40%			13.76%	1,395
総計	6,477	4,779	4,680	1,905	1,882	3,029	2,504	3,061	4,115	1,977	735	1,206	81	204	36,635

・88.3%の患者が入院医療を市圏域内で完結している。川崎からの流入が多い。流出入拮抗。

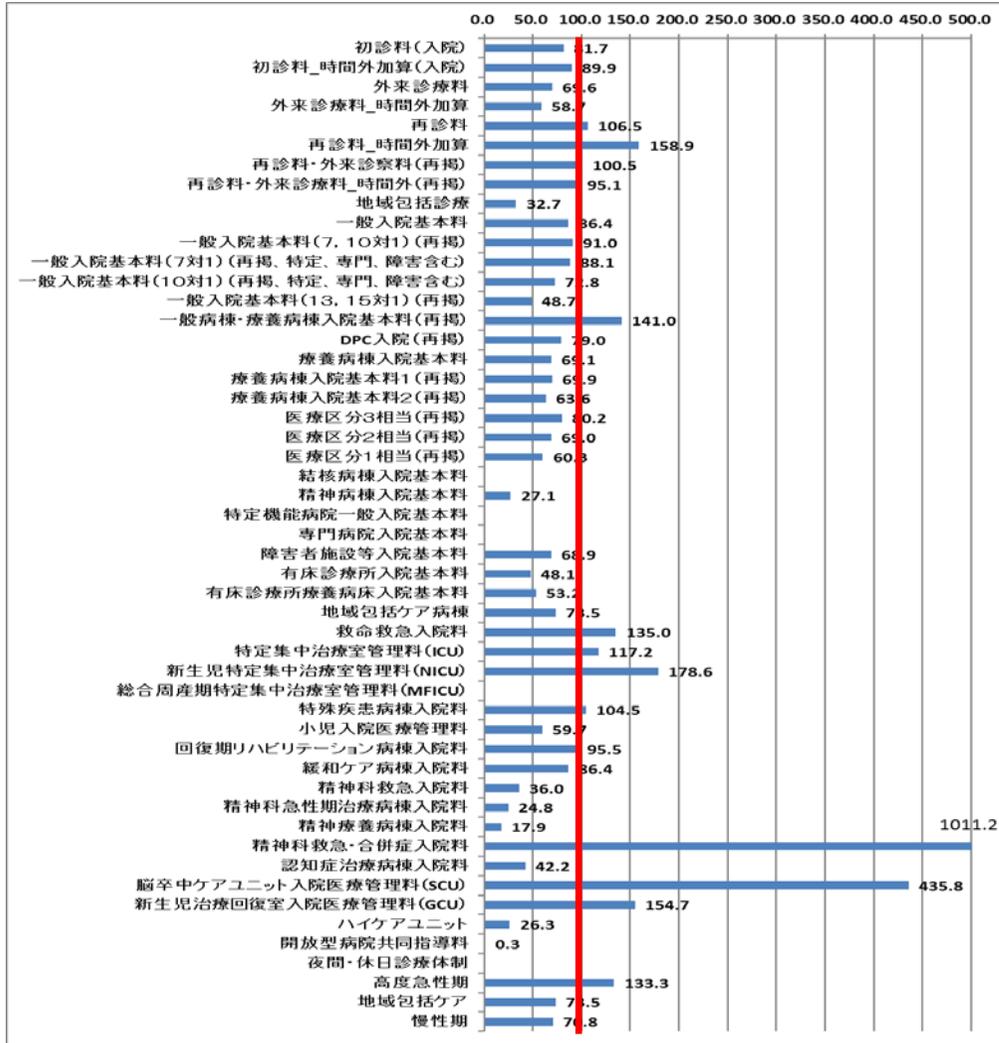
神奈川県における入院医療の自己完結率 (平成26年度NDBデータ:療養病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名															
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	62.06%	8.08%	1.45%	4.21%	4.59%	0.61%	0.46%	0.59%	0.86%	5.98%	0.47%	0.61%	9.38%	0.19%	0.44%	12,385
1402 横浜西部	12.71%	58.13%	4.48%	0.65%	0.49%	2.13%	6.04%	2.35%	2.26%	6.43%	0.11%	0.65%	3.16%		0.43%	9,378
1403 横浜南部	11.98%	18.38%	36.57%	0.40%	0.70%	13.17%	4.09%	2.50%	1.00%	5.56%	0.64%	0.59%	3.70%		0.73%	8,532
1404 川崎北部	14.60%	0.62%		47.75%	2.60%		0.23%	0.65%	0.59%	7.54%	0.81%	0.58%	22.58%	0.24%	1.22%	8,279
1405 川崎南部	16.75%	3.49%	1.33%	10.59%	38.17%	0.43%	0.51%	0.82%	0.76%	12.73%	0.42%	4.98%	7.83%		1.19%	6,222
1406 横須賀・三浦	1.29%	1.83%	3.20%	0.27%	0.12%	80.47%	4.34%	1.71%	0.36%	2.86%	0.49%	1.30%	1.24%		0.52%	9,733
1407 湘南東部	0.34%	1.86%	0.13%	0.30%		5.24%	76.52%	4.75%	3.92%	3.78%	1.26%	0.36%	0.95%		0.58%	8,315
1408 湘南西部		0.11%		0.11%		0.17%	3.36%	64.24%	6.68%	1.82%	21.63%	0.13%	0.49%	0.13%	1.13%	9,591
1409 県央	1.84%	2.75%		0.68%	0.19%		4.52%	6.35%	54.56%	24.53%	1.34%	0.20%	2.78%		0.25%	9,453
1410 相模原	1.01%	0.43%		0.58%		0.16%	0.39%	0.82%	8.77%	82.05%	0.14%		5.65%			10,116
1411 県西	0.34%	0.38%					0.60%	7.79%	1.18%	0.51%	80.12%	0.31%	0.42%		8.35%	7,112
総計	12,605	8,963	4,125	5,413	3,295	9,727	8,639	8,570	7,630	14,656	8,283	755	5,242	56	1,157	99,116

・71.4%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出が多い。

横浜北部における【入院基本料】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比 (SCR) の比較 (平成26年度NDBデータ)



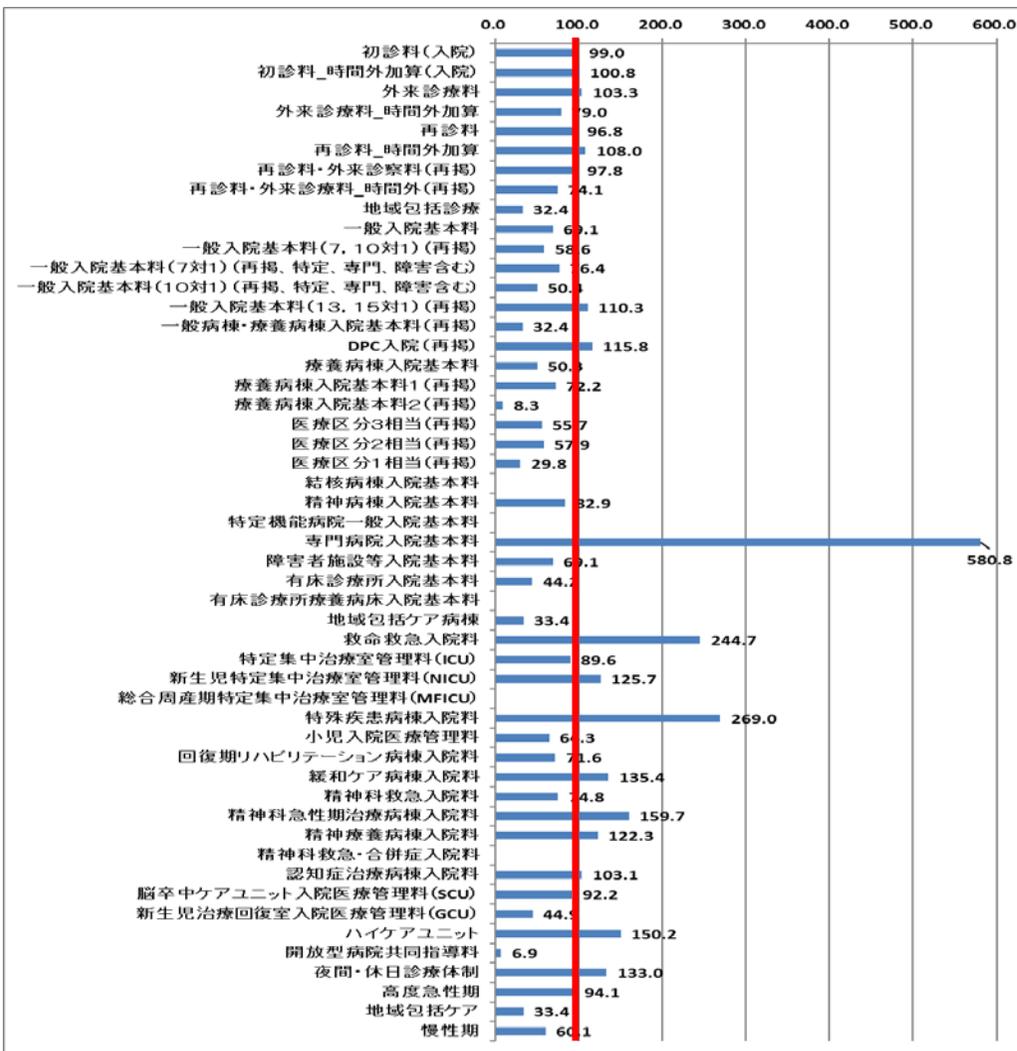
指標名	区分	横浜北部
初診料(入院)	入院	81.7
初診料_時間外加算(入院)	入院	89.9
外来診療料	外来	69.6
外来診療料_時間外加算	外来	58.7
再診料	外来	106.5
再診料_時間外加算	外来	158.9
再診料_外来診療料(再掲)	外来	100.5
再診料_外来診療料_時間外(再掲)	外来	95.1
地域包括診療	外来	32.7
一般入院基本料	入院	86.4
一般入院基本料(7, 10対1)(再掲)	入院	91.0
一般入院基本料(7対1)(再掲、特定、専門、障害含む)	入院	88.1
一般入院基本料(10対1)(再掲、特定、専門、障害含む)	入院	72.8
一般入院基本料(13, 15対1)(再掲)	入院	48.7
一般病棟・療養病棟入院基本料(再掲)	入院	141.0
DPC入院(再掲)	入院	79.0
療養病棟入院基本料	入院	69.1
療養病棟入院基本料1(再掲)	入院	69.9
療養病棟入院基本料2(再掲)	入院	63.6
医療区分3相当(再掲)	入院	80.2
医療区分2相当(再掲)	入院	69.0
医療区分1相当(再掲)	入院	60.3
結核病棟入院基本料	入院	
精神病棟入院基本料	入院	27.1
特定機能病院一般入院基本料	入院	
専門病院入院基本料	入院	
障害者施設等入院基本料	入院	68.9
有床診療所入院基本料	入院	48.1
有床診療所療養病床入院基本料	入院	53.2
地域包括ケア病棟	入院	73.5
救命救急入院料	入院	135.0
特定集中治療室管理料(ICU)	入院	117.2
新生児特定集中治療室管理料(NICU)	入院	178.6
総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)	入院	
特殊疾患病棟入院料	入院	104.5
小児入院医療管理料	入院	59.7
回復期リハビリテーション病棟入院料	入院	95.5
緩和ケア病棟入院料	入院	86.4
精神科救急入院料	入院	36.0
精神科急性期治療病棟入院料	入院	24.8
精神療養病棟入院料	入院	17.9
精神科救急・合併症入院料	入院	1,011.2
認知症治療病棟入院料	入院	42.2
脳卒中ケアユニット入院医療管理料(SCU)	入院	435.8
新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)	入院	154.7
ハイケアユニット	入院	26.3
開放型病院共同指導料	入院	0.3
夜間・休日診療体制	入院	
高度急性期	入院	133.3
地域包括ケア	入院	73.5
慢性期	入院	70.8

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\Sigma \text{年齢構成別レセプト数}}{\Sigma \text{年齢階級別人口}} \times 100 \div \frac{\Sigma \text{年齢構成別レセプト出現率}}{\Sigma \text{年齢階級別人口}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・精神科救急・合併症入院料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料の出現比が高い。

横浜西部における【入院基本料】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



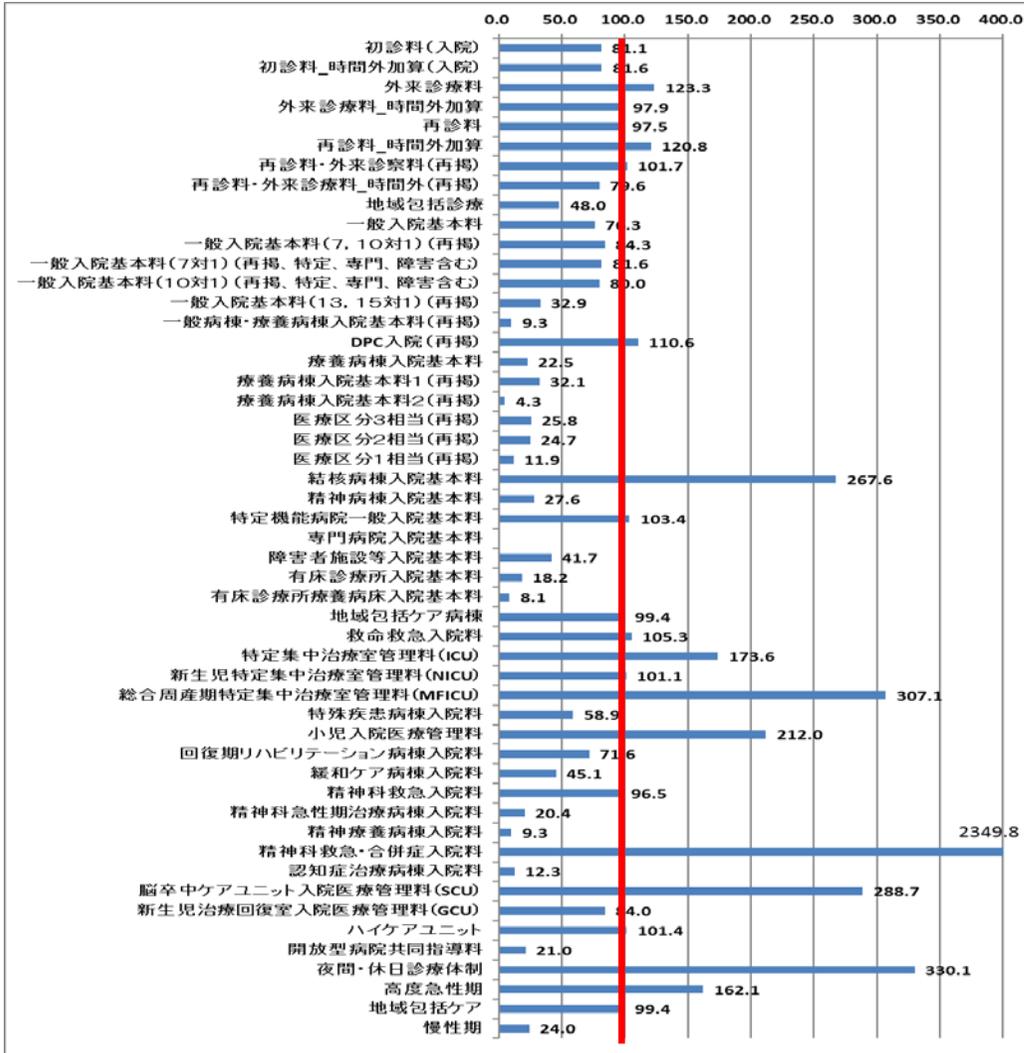
指標名	区分	横浜西部
初診料(入院)	入院	99.0
初診料_時間外加算(入院)	入院	100.8
外来診療料	外来	103.3
外来診療料_時間外加算	外来	79.0
再診料	外来	96.8
再診料_時間外加算	外来	108.0
再診料・外来診察料(再掲)	外来	97.8
再診料・外来診療料_時間外(再掲)	外来	74.1
地域包括診療	外来	32.4
一般入院基本料	入院	69.1
一般入院基本料(7, 10対1)(再掲)	入院	58.6
一般入院基本料(7対1)(再掲、特定、専門、障害含む)	入院	76.4
一般入院基本料(10対1)(再掲、特定、専門、障害含む)	入院	50.4
一般入院基本料(13, 15対1)(再掲)	入院	110.3
一般病棟・療養病棟入院基本料(再掲)	入院	32.4
DPC入院(再掲)	入院	115.8
療養病棟入院基本料	入院	50.3
療養病棟入院基本料1(再掲)	入院	72.2
療養病棟入院基本料2(再掲)	入院	8.3
医療区分3相当(再掲)	入院	55.7
医療区分2相当(再掲)	入院	57.9
医療区分1相当(再掲)	入院	29.8
結核病棟入院基本料	入院	32.9
精神病棟入院基本料	入院	82.9
特定機能病院一般入院基本料	入院	580.8
専門病院入院基本料	入院	580.8
障害者施設等入院基本料	入院	69.1
有床診療所入院基本料	入院	44.2
有床診療所療養病棟入院基本料	入院	44.2
地域包括ケア病棟	入院	33.4
救命救急入院料	入院	244.7
特定集中治療室管理料(ICU)	入院	89.6
新生児特定集中治療室管理料(NICU)	入院	125.7
総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)	入院	125.7
特殊疾患病棟入院料	入院	269.0
小児入院医療管理料	入院	64.3
回復期リハビリテーション病棟入院料	入院	71.6
緩和ケア病棟入院料	入院	135.4
精神科救急入院料	入院	74.8
精神科急性期治療病棟入院料	入院	159.7
精神療養病棟入院料	入院	122.3
精神科救急・合併症入院料	入院	122.3
認知症治療病棟入院料	入院	103.1
脳卒中ケアユニット入院医療管理料(SCU)	入院	92.2
新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)	入院	44.9
ハイケアユニット	入院	150.2
開放型病院共同指導料	入院	6.9
夜間・休日診療体制	入院	133.0
高度急性期	入院	94.1
地域包括ケア	入院	33.4
慢性期	入院	60.1

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・専門病院入院基本料、特殊疾患病棟入院料、救命救急入院料の出現比が高い。

横浜南部における【入院基本料】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比 (SCR) の比較 (平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜南部
初診料(入院)	入院	81.1
初診料_時間外加算(入院)	入院	81.6
外来診療料	外来	123.3
外来診療料_時間外加算	外来	97.9
再診料	外来	97.5
再診料_時間外加算	外来	120.8
再診料・外来診察料(再掲)	外来	101.7
再診料・外来診療料_時間外(再掲)	外来	79.6
地域包括診療	外来	48.0
一般入院基本料	入院	76.3
一般入院基本料(7,10対1)(再掲)	入院	84.3
一般入院基本料(7対1)(再掲、特定、専門、障害含む)	入院	81.6
一般入院基本料(10対1)(再掲、特定、専門、障害含む)	入院	80.0
一般入院基本料(13,15対1)(再掲)	入院	32.9
一般病棟・療養病棟入院基本料(再掲)	入院	9.3
DPC入院(再掲)	入院	110.6
療養病棟入院基本料	入院	22.5
療養病棟入院基本料1(再掲)	入院	32.1
療養病棟入院基本料2(再掲)	入院	4.3
医療区分3相当(再掲)	入院	25.8
医療区分2相当(再掲)	入院	24.7
医療区分1相当(再掲)	入院	11.9
結核病棟入院基本料	入院	267.6
精神病棟入院基本料	入院	27.6
特定機能病院一般入院基本料	入院	103.4
専門病院入院基本料	入院	41.7
障害者施設等入院基本料	入院	18.2
有床診療所入院基本料	入院	8.1
有床診療所療養病床入院基本料	入院	8.1
地域包括ケア病棟	入院	99.4
救命救急入院料	入院	105.3
特定集中治療室管理料(ICU)	入院	173.6
新生児特定集中治療室管理料(NICU)	入院	101.1
総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)	入院	307.1
特殊疾患病棟入院料	入院	58.9
小児入院医療管理料	入院	212.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	入院	71.6
緩和ケア病棟入院料	入院	45.1
精神科救急入院料	入院	96.5
精神科急性期治療病棟入院料	入院	20.4
精神科救急・合併症入院料	入院	9.3
認知症治療病棟入院料	入院	12.3
脳卒中ケアユニット入院医療管理料(SCU)	入院	288.7
新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)	入院	84.0
ハイケアユニット	入院	101.4
開放型病院共同指導料	入院	21.0
夜間・休日診療体制	入院	330.1
高度急性期	入院	162.1
地域包括ケア	入院	99.4
慢性期	入院	24.0

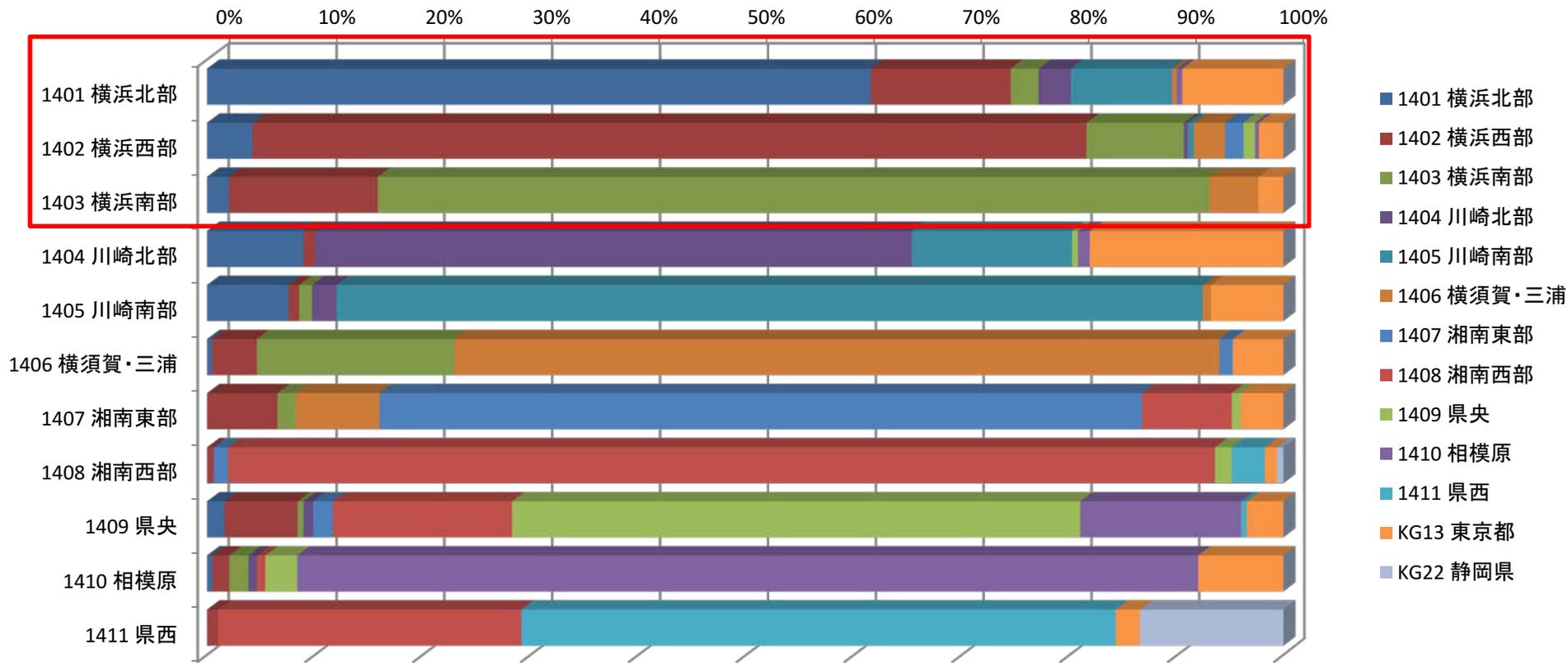
<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\Sigma \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\Sigma \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・精神科救急・合併症入院料、夜間・休日診療体制、MFICUの出現比が高い。療養病棟入院基本料の出現比が低い。

がん

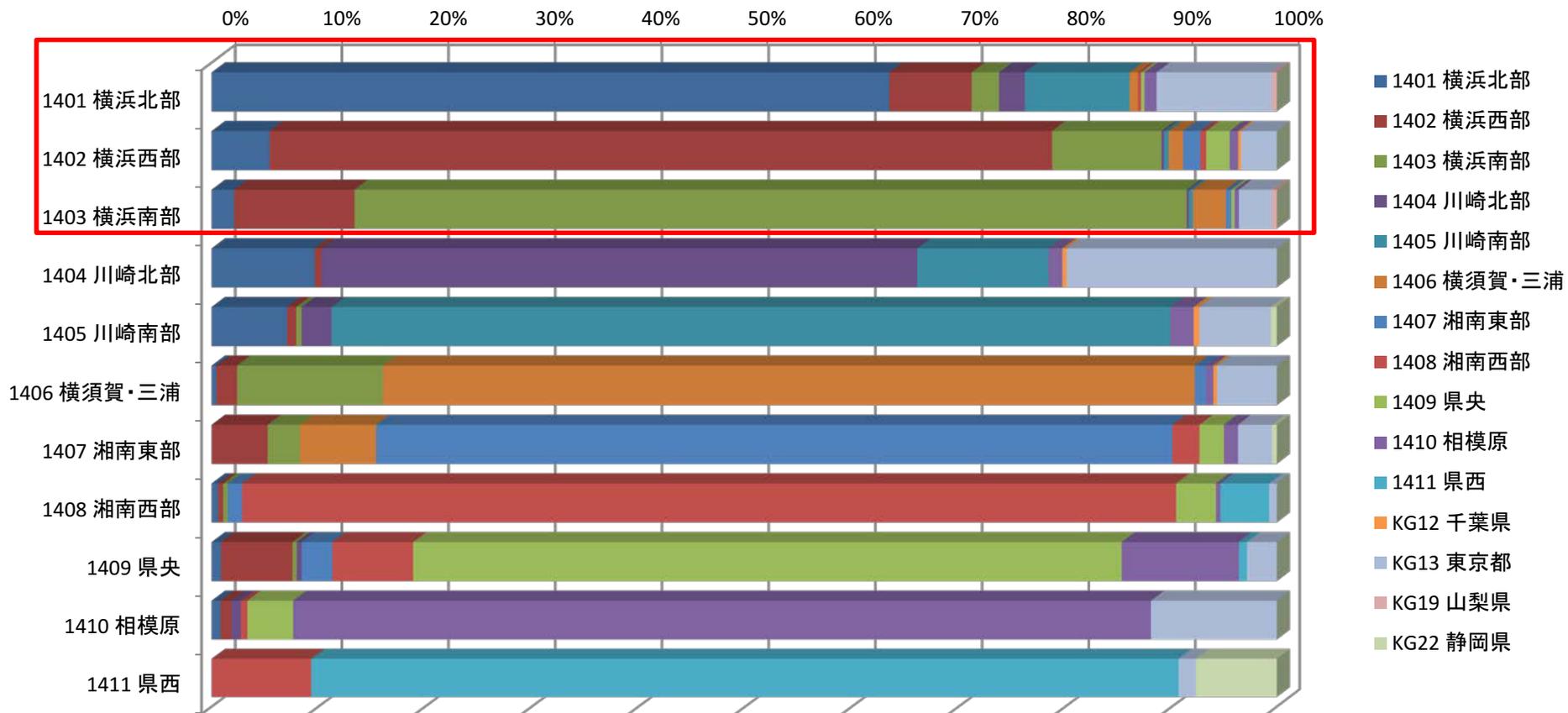
横浜における肺がんの自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	静岡県	総計
1401 横浜北部	61.53%	12.99%	2.59%	2.98%	9.40%	0.43%				0.52%		9.56%		3,286
1402 横浜西部	4.22%	77.34%	9.03%	0.38%	0.55%	2.88%	1.78%		1.11%	0.38%		2.33%		3,433
1403 横浜南部	2.03%	13.80%	77.12%			4.66%						2.39%		3,602
1404 川崎北部	8.95%	1.04%		55.37%	14.86%				0.55%	1.09%		18.14%		2,012
1405 川崎南部	7.56%	0.98%	1.20%	2.28%	80.32%	0.76%						6.91%		1,839
1406 横須賀・三浦	0.47%	4.15%	18.33%			70.94%	1.27%					4.85%		2,990
1407 湘南東部		6.53%	1.69%			7.77%	70.72%	8.33%	0.84%			4.11%		1,776
1408 湘南西部		0.61%					1.33%	91.53%	1.58%		3.16%	1.17%	0.61%	1,961
1409 県央	1.61%	6.77%	0.55%	0.91%			1.81%	16.62%	52.70%	14.97%	0.55%	3.51%		2,539
1410 相模原	0.50%	1.56%	1.77%	0.81%				0.76%	2.98%	83.55%		8.07%		1,982
1411 県西		1.02%						28.12%			55.13%	2.22%	13.51%	1,081
総計	2,624	4,084	3,822	1,306	2,104	2,554	1,427	2,684	1,492	2,088	672	1,486	158	26,501

・87.1%の患者が入院医療を市圏域内で完結している。流出入は拮抗している。

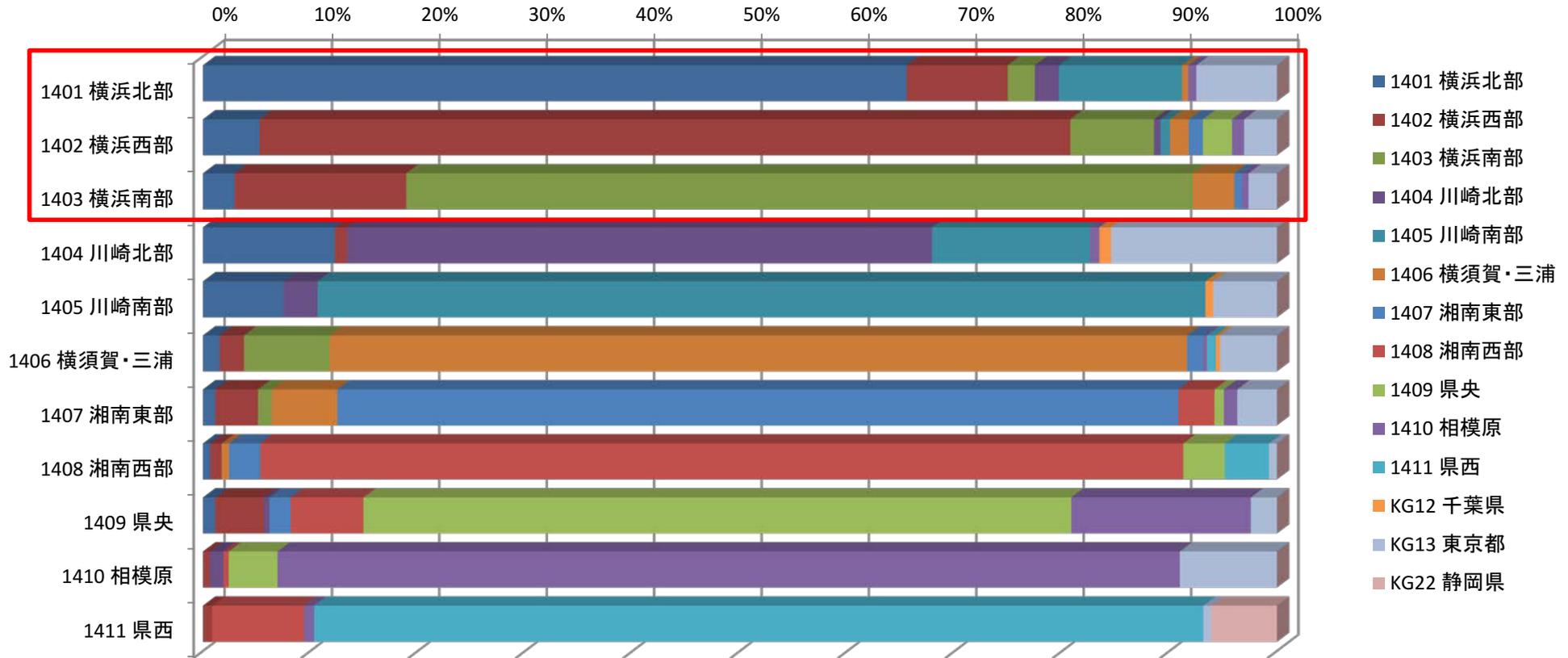
横浜における胃がんの自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名															
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	63.51%	7.71%	2.57%	2.42%	9.81%	0.77%		0.30%	0.32%	1.14%			10.95%	0.49%		4,667
1402 横浜西部	5.42%	73.35%	10.26%	0.23%	0.44%	1.35%	1.60%	0.56%	2.26%	0.81%		0.28%	3.44%			4,300
1403 横浜南部	2.10%	11.29%	77.99%	0.22%	0.36%	3.13%	0.53%		0.32%	0.40%			3.17%	0.48%		4,952
1404 川崎北部	9.67%	0.63%		55.83%	12.30%					1.30%		0.39%	19.88%			2,545
1405 川崎南部	7.08%	0.85%	0.49%	2.82%	78.59%					2.19%		0.54%	6.85%		0.58%	2,233
1406 横須賀・三浦	0.44%	1.94%	13.69%			76.06%	1.06%			0.70%		0.35%	5.76%			3,405
1407 湘南東部		5.25%	3.04%			7.12%	74.62%	2.55%	2.32%	1.37%			3.27%		0.46%	2,628
1408 湘南西部	0.60%	0.47%	0.43%				1.34%	87.55%	3.75%	0.43%	4.70%		0.73%			2,321
1409 県央	0.87%	6.71%	0.40%	0.46%			2.87%	7.57%	66.41%	11.06%	0.77%		2.87%			3,236
1410 相模原	0.82%	1.03%		0.88%				0.62%	4.28%	80.40%			11.97%			3,409
1411 県西								9.34%			81.28%		1.64%		7.75%	2,078
総計	3,790	4,575	5,003	1,663	2,563	3,026	2,216	2,597	2,571	3,359	1,823	46	2,309	47	186	35,774

・84.8%の患者が入院医療を市圏域内で完結している。流出入は拮抗している。

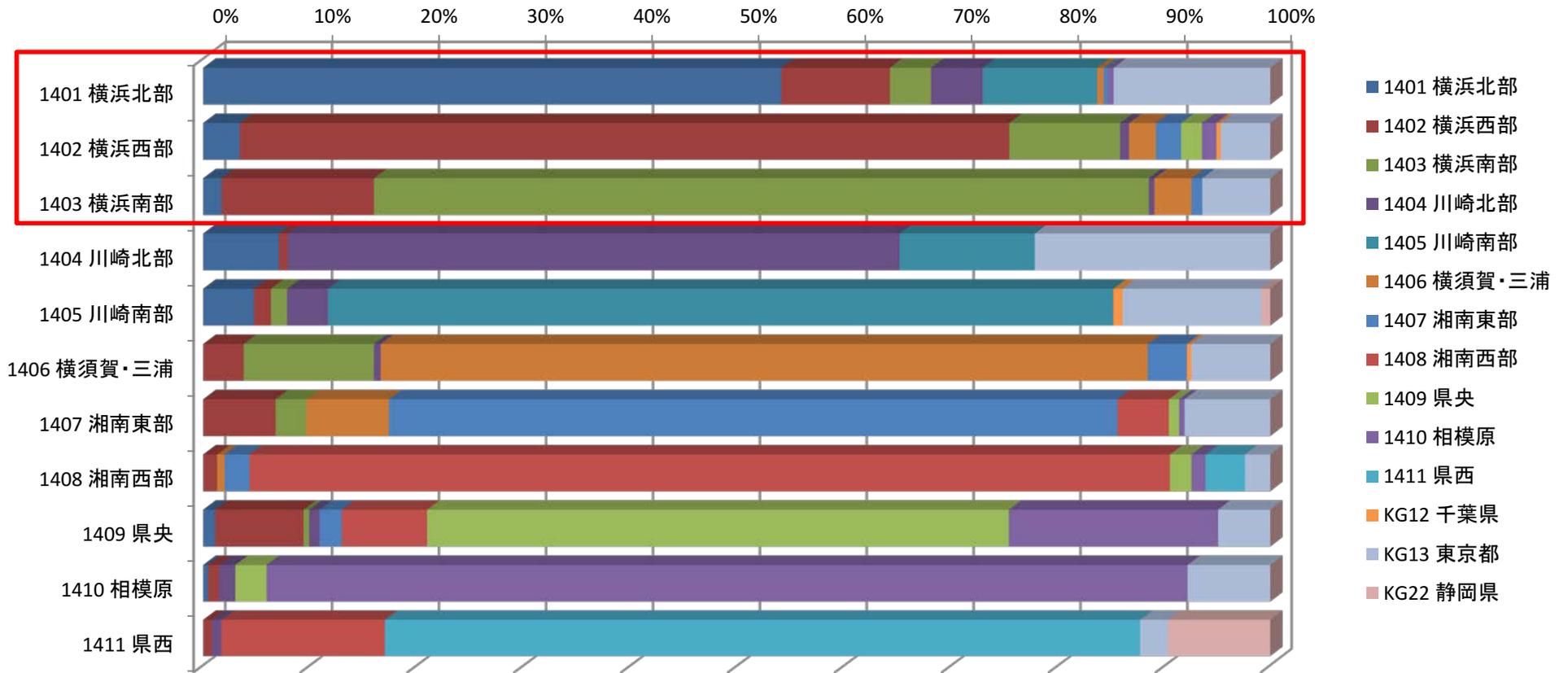
横浜における大腸がんの自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	静岡県	総計
1401 横浜北部	65.53%	9.41%	2.52%	2.24%	11.47%	0.59%				0.75%					3,890
1402 横浜西部	5.26%	75.50%	7.80%	0.60%	0.89%	1.74%			2.72%	1.11%					3,498
1403 横浜南部	2.94%	15.98%	73.24%			3.88%	0.74%			0.58%					3,636
1404 川崎北部	12.27%	1.15%		54.46%	14.73%					0.85%		1.10%	15.43%		1,996
1405 川崎南部	7.49%			3.18%	82.67%							0.72%	5.94%		1,668
1406 横須賀・三浦	1.55%	2.27%	7.99%			79.83%	1.48%			0.36%	0.83%	0.40%	5.29%		2,777
1407 湘南東部	1.15%	3.97%	1.29%			6.09%	78.31%	3.37%	0.88%	1.25%			3.69%		2,167
1408 湘南西部	0.69%	1.06%				0.69%	2.91%	85.95%	3.86%		4.12%		0.74%		1,893
1409 県央	1.14%	4.53%		0.52%			1.99%	6.77%	65.92%	16.71%			2.43%		2,717
1410 相模原		0.64%		1.27%				0.49%	4.55%	84.02%			9.04%		2,046
1411 県西		0.86%						8.56%		0.93%	82.81%		0.71%	6.13%	1,402
総計	3,322	3,928	3,284	1,288	2,150	2,587	1,920	2,014	2,071	2,329	1,262	45	1,404	86	27,690

・85.8%の患者が入院医療を圏域内で完結している。

横浜における肝がんの自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	静岡県	
1401 横浜北部	54.08%	10.17%	3.84%	4.84%	10.70%	0.62%	0.40%			0.53%				14.82%	3,225
1402 横浜西部	3.43%	71.99%	10.37%	0.83%		2.51%	2.36%		1.95%	1.36%		0.41%	4.79%		3,384
1403 横浜南部	1.72%	14.26%	72.48%	0.52%		3.47%	1.01%						6.53%		3,260
1404 川崎北部	7.08%	0.85%		57.23%	12.64%								22.20%		1,659
1405 川崎南部	4.75%	1.58%	1.52%	3.83%	73.47%							0.86%	13.14%	0.86%	1,515
1406 横須賀・三浦		3.80%	12.18%	0.63%		71.76%	3.67%					0.42%	7.55%		2,397
1407 湘南東部		6.77%	2.88%			7.74%	68.15%	4.80%	0.96%	0.51%			8.19%		1,978
1408 湘南西部		1.31%				0.71%	2.31%	86.11%	2.02%	1.31%	3.80%		2.43%		1,685
1409 県央	1.12%	8.27%	0.52%	0.97%		2.09%	7.98%	54.42%	19.60%				5.03%		2,683
1410 相模原	0.45%	1.03%		1.53%				2.92%	86.16%				7.91%		2,225
1411 県西		0.81%		0.89%				15.30%			70.66%		2.59%	9.76%	1,353
総計	2,145	3,770	3,224	1,292	1,667	2,103	1,657	1,967	1,644	2,538	1,020	37	2,149	145	25,358

・80.9%の患者が入院医療を市域内で完結している。東京への流出が多い。

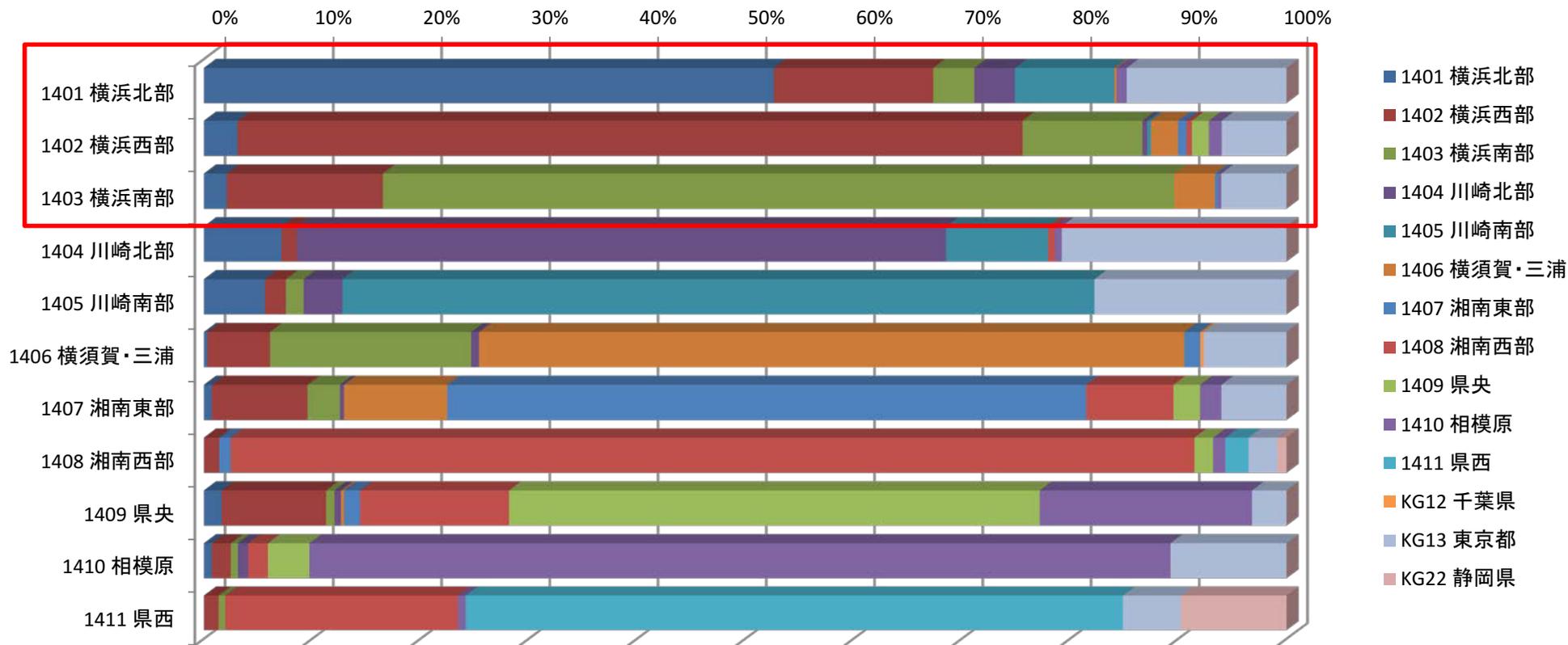
横浜における乳がんの自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	静岡県	
1401 横浜北部	54.36%	11.72%	1.47%	9.00%	6.85%				1.02%			14.84%	0.74%	1,766
1402 横浜西部	4.79%	62.82%	11.40%	1.95%	1.04%	7.30%	3.96%	1.18%	1.81%	1.25%		2.50%		1,439
1403 横浜南部	1.81%	13.02%	65.77%	0.67%		11.14%	0.67%					0.81%	6.11%	1,490
1404 川崎北部	7.61%			58.40%	11.90%					1.35%			20.74%	815
1405 川崎南部	8.12%	2.99%		7.83%	70.51%							10.54%		702
1406 横須賀・三浦		3.55%	15.24%	0.81%		76.21%	0.81%					3.39%		1,240
1407 湘南東部		6.23%				26.16%	54.65%	4.89%	1.71%	1.22%		5.13%		818
1408 湘南西部						1.68%	2.60%	82.75%	7.33%			3.66%	1.98%	655
1409 県央		4.98%		1.66%		1.66%	3.32%	8.61%	58.09%	20.33%		1.35%		964
1410 相模原		1.95%		1.23%				1.64%	5.86%	82.12%		7.19%		973
1411 県西								10.94%				71.40%	17.66%	521
総計	1,175	1,488	1,359	766	728	1,457	573	766	723	1,023	408	812	105	11,383

・75.2%の患者が入院医療を市域内で完結している。東京への流出が多い。

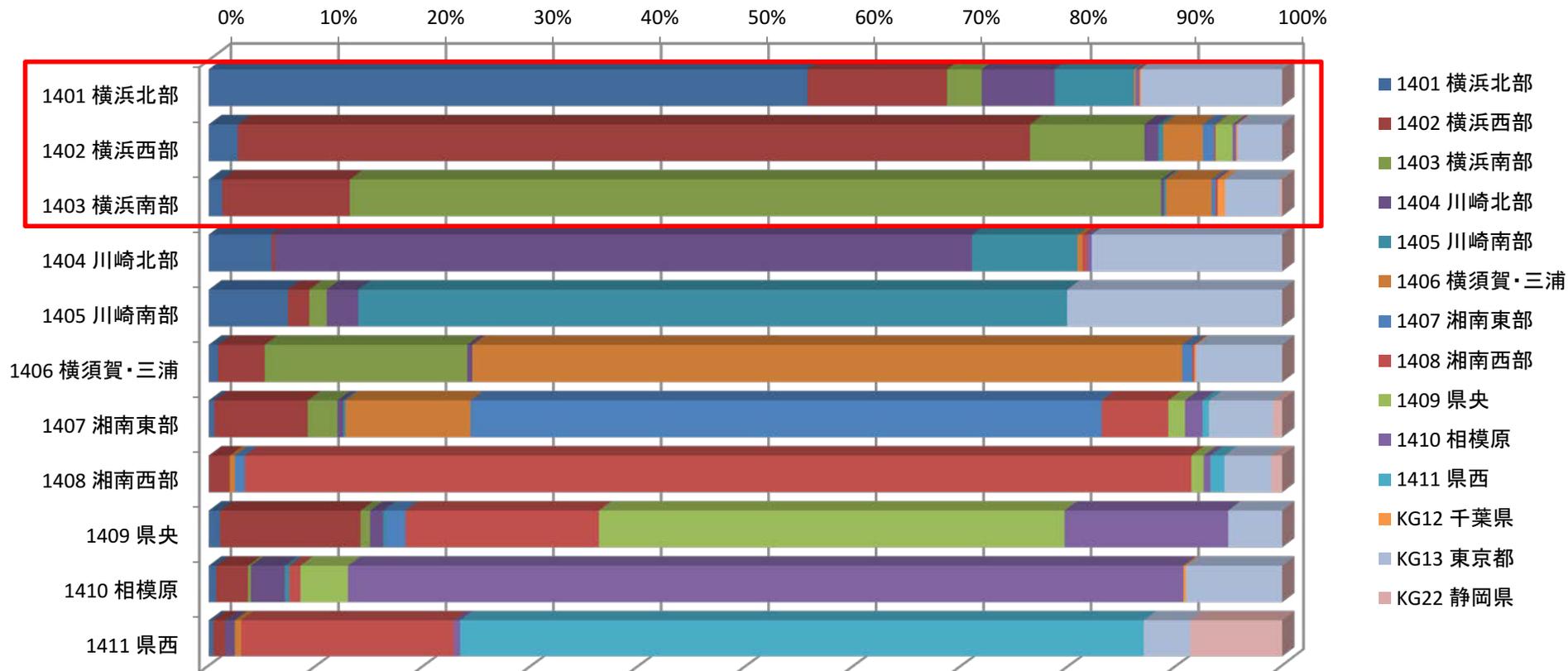
横浜における化学療法の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	静岡県	総計
1401 横浜北部	52.63%	14.74%	3.80%	3.72%	9.20%	0.20%				0.94%			14.76%		4,994
1402 横浜西部	3.10%	72.51%	11.07%	0.44%	0.35%	2.51%	0.77%	0.51%	1.56%	1.19%			5.99%		4,544
1403 横浜南部	2.11%	14.43%	73.10%			3.76%	0.29%			0.29%			6.03%		4,464
1404 川崎北部	7.17%	1.42%		59.97%	9.41%			0.63%		0.63%			20.76%		2,678
1405 川崎南部	5.62%	1.95%	1.64%	3.59%	69.46%								17.75%		2,259
1406 横須賀・三浦	0.32%	5.78%	18.57%	0.73%		65.16%	1.46%					0.32%	7.65%		3,424
1407 湘南東部	0.72%	8.85%	2.99%	0.38%		9.53%	59.02%	8.06%	2.46%	1.97%			6.02%		2,643
1408 湘南西部		1.41%					1.05%	89.02%	1.74%	1.13%	2.14%		2.66%	0.85%	2,478
1409 県央	1.63%	9.66%	0.76%	0.61%		0.28%	1.48%	13.76%	49.02%	19.62%			3.18%		3,925
1410 相模原	0.72%	1.76%	0.66%	0.94%				1.82%	3.83%	79.55%			10.71%		3,183
1411 県西		1.35%	0.62%					21.48%		0.73%	60.71%		5.36%	9.75%	1,774
総計	3,302	5,684	4,770	1,982	2,297	2,786	1,742	3,438	2,225	3,526	1,130	11	3,284	194	36,371

・82.1%の患者が入院医療を市域内で完結している。東京への流出と横須賀・三浦からの流入が多い。

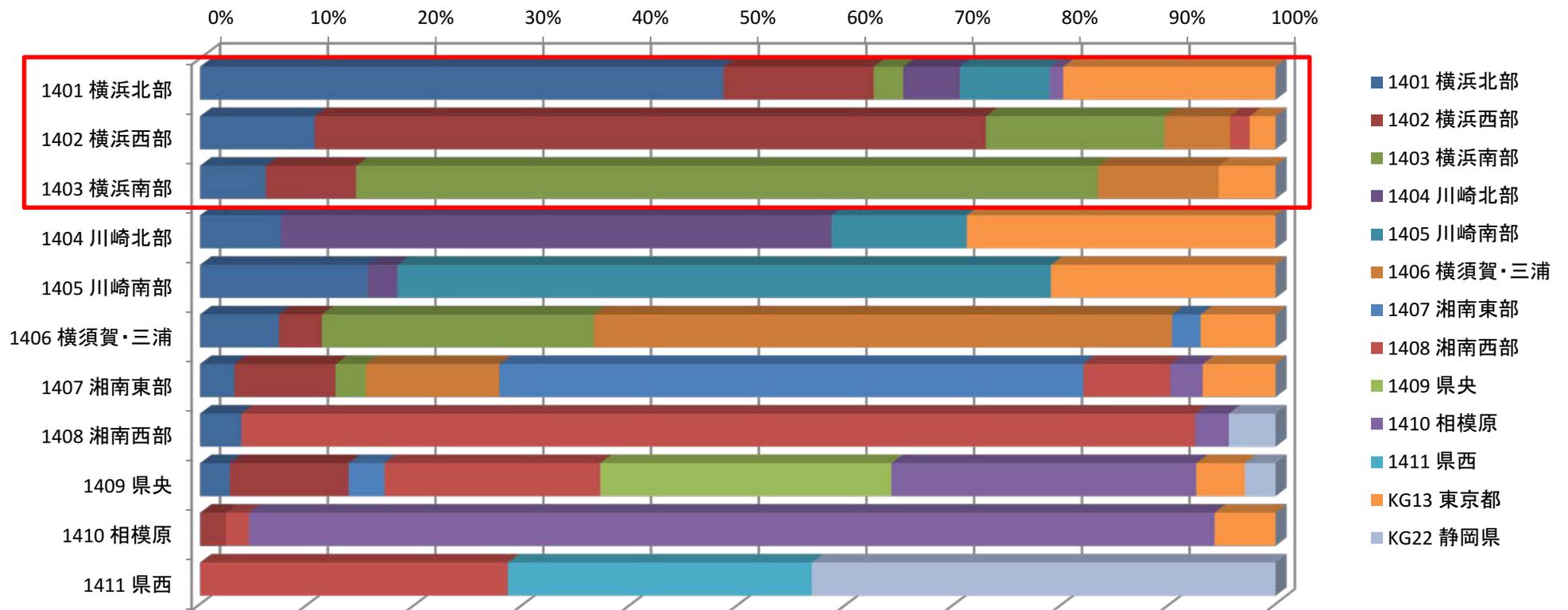
横浜における化学療法の自己完結率(平成26年度NDBデータ:外来)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	静岡県	総計
1401 横浜北部	55.68%	12.97%	3.23%	6.79%	7.37%	0.17%				0.36%		0.16%	13.28%		8,851
1402 横浜西部	2.69%	73.68%	10.65%	1.29%	0.45%	3.70%	1.04%	0.14%	1.61%	0.33%		0.13%	4.30%		8,404
1403 横浜南部	1.23%	11.88%	75.46%	0.27%	0.19%	4.24%	0.37%	0.19%				0.68%	5.27%	0.23%	7,893
1404 川崎北部	5.85%	0.32%		64.81%	9.81%	0.46%		0.46%		0.40%			17.89%		4,751
1405 川崎南部	7.34%	2.00%	1.62%	2.94%	65.92%								20.18%		3,404
1406 横須賀・三浦	0.86%	4.34%	18.84%	0.47%		66.02%	0.95%	0.18%				0.15%	8.20%		6,757
1407 湘南東部	0.51%	8.68%	2.76%	0.55%	0.21%	11.61%	58.70%	6.20%	1.55%	1.63%	0.59%		6.11%	0.87%	4,710
1408 湘南西部		1.94%				0.49%	0.91%	88.03%	1.15%	0.63%	1.31%		4.49%	1.05%	4,278
1409 県央	1.03%	13.07%	0.89%	1.23%	0.25%		1.81%	17.99%	43.30%	15.24%			5.19%		5,630
1410 相模原	0.68%	2.95%	0.29%	3.14%	0.41%			1.04%	4.43%	77.70%		0.24%	9.12%		4,135
1411 県西	0.41%	1.11%		0.89%		0.59%		19.77%		0.59%	63.58%		4.34%	8.72%	2,696
総計	5,957	10,025	8,604	4,190	3,456	5,725	3,086	5,708	2,878	4,270	1,798	98	5,305	339	61,439

・82.2%の患者が外来医療を市域内で完結している。東京への流出と横須賀・三浦からの流入が多い。

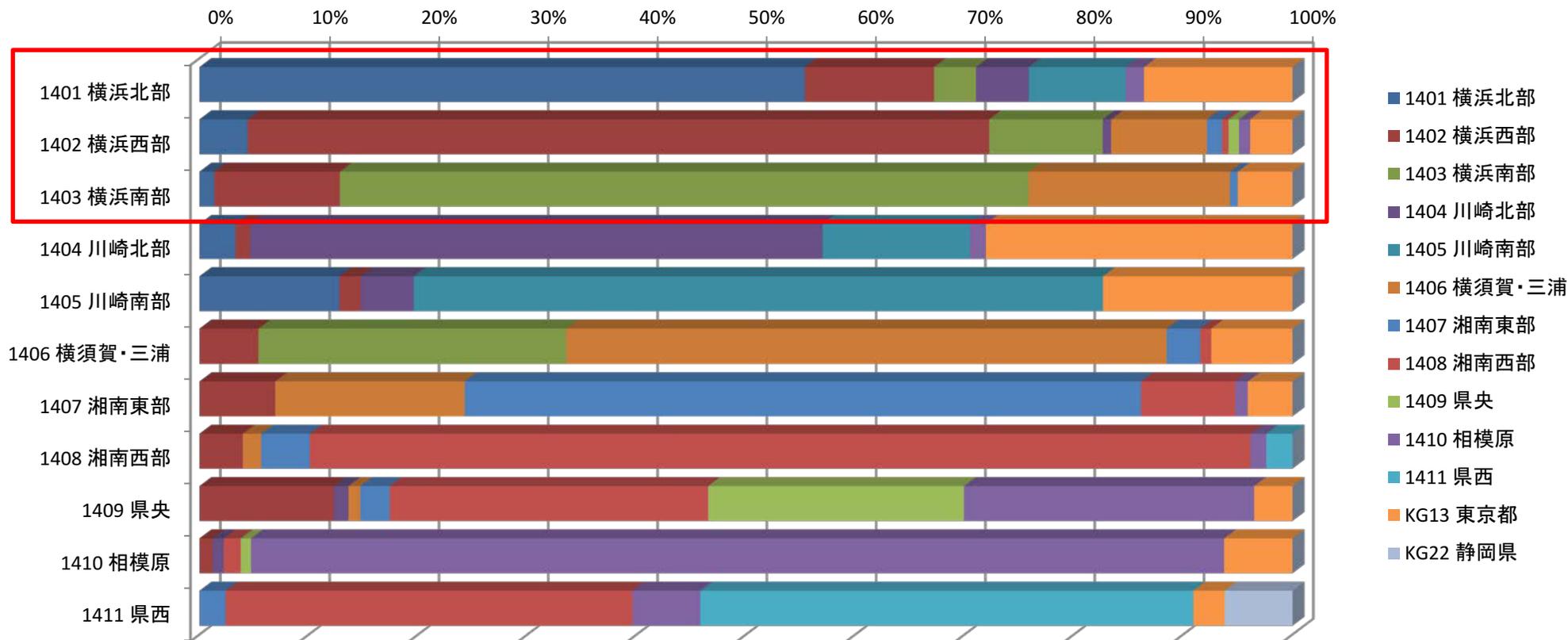
横浜における放射線治療の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	静岡県	
1401 横浜北部	48.57%	13.94%	2.74%	5.26%	8.34%					1.26%		19.89%		875
1402 横浜西部	10.63%	62.30%	16.59%			6.11%		1.89%					2.47%	687
1403 横浜南部	6.09%	8.38%	68.88%			11.21%							5.44%	919
1404 川崎北部	7.49%			51.12%	12.55%								28.84%	534
1405 川崎南部	15.57%			2.73%	60.66%								21.04%	366
1406 横須賀・三浦	7.31%	3.99%	25.25%			53.65%	2.66%						7.14%	602
1407 湘南東部	3.19%	9.38%	2.81%			12.38%	54.22%	8.07%		3.00%			6.94%	533
1408 湘南西部	3.82%							88.54%		3.18%			4.46%	314
1409 県央	2.76%	11.03%					3.31%	20.04%	27.02%	28.31%			2.94%	544
1410 相模原		2.38%						2.16%		89.63%			5.83%	463
1411 県西								28.57%			28.20%		43.23%	266
総計	739	772	938	329	362	534	323	529	147	606	75	604	145	6,103

・78.7%の患者が入院医療を市域内で完結している。東京への流出と横須賀・三浦からの流入が多い。

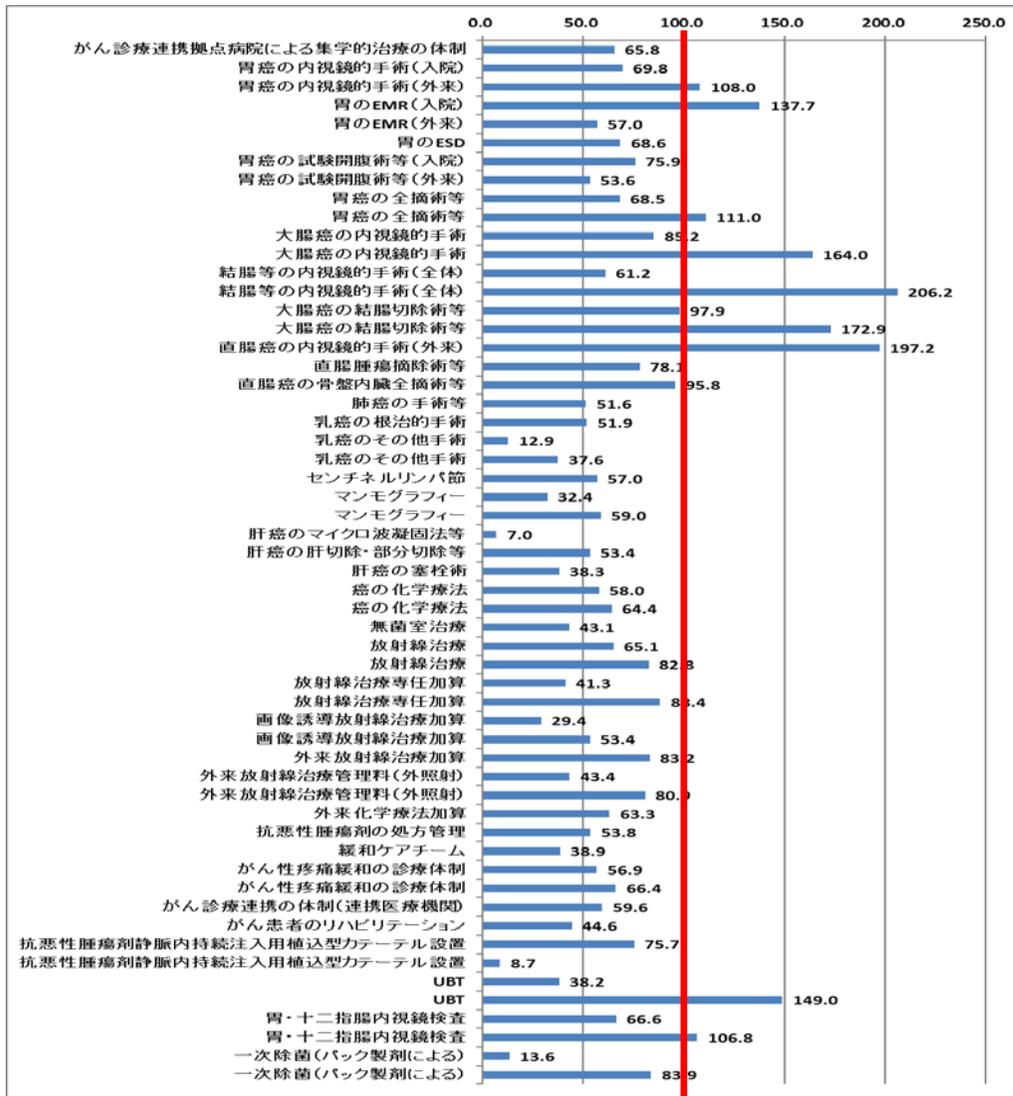
横浜における放射線治療の自己完結率(平成26年度NDBデータ:外来)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	静岡県	
1401 横浜北部	55.38%	11.83%	3.83%	4.85%	8.85%					1.69%		13.58%		1,775
1402 横浜西部	4.42%	67.84%	10.38%	0.78%		8.77%	1.37%	0.60%	0.95%	1.01%		3.88%		1,676
1403 横浜南部	1.35%	11.49%	63.03%			18.42%	0.71%					5.01%		1,558
1404 川崎北部	3.31%	1.32%		52.38%	13.49%					1.46%		28.04%		756
1405 川崎南部	12.80%	1.94%		4.86%	63.05%							17.34%		617
1406 横須賀・三浦		5.39%	28.18%			54.93%	3.05%	1.02%				7.43%		983
1407 湘南東部		6.93%					17.33%	61.87%	8.62%	1.16%		4.09%		1,125
1408 湘南西部		3.96%				1.68%	4.44%	86.07%		1.44%	2.40%			833
1409 県央		12.29%		1.35%		1.08%	2.69%	29.15%	23.41%	26.55%		3.50%		1,115
1410 相模原		1.20%		1.03%				1.54%	0.94%	89.03%		6.26%		1,167
1411 県西							2.39%	37.23%		6.21%	45.11%	2.86%	6.21%	419
総計	1,182	1,863	1,501	552	648	1,195	837	1,333	288	1,444	209	946	26	12,024

・76.4%の患者が外来医療を市域内で完結している。東京への流出と横須賀・三浦からの流入が多い。

横浜北部における【がん】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



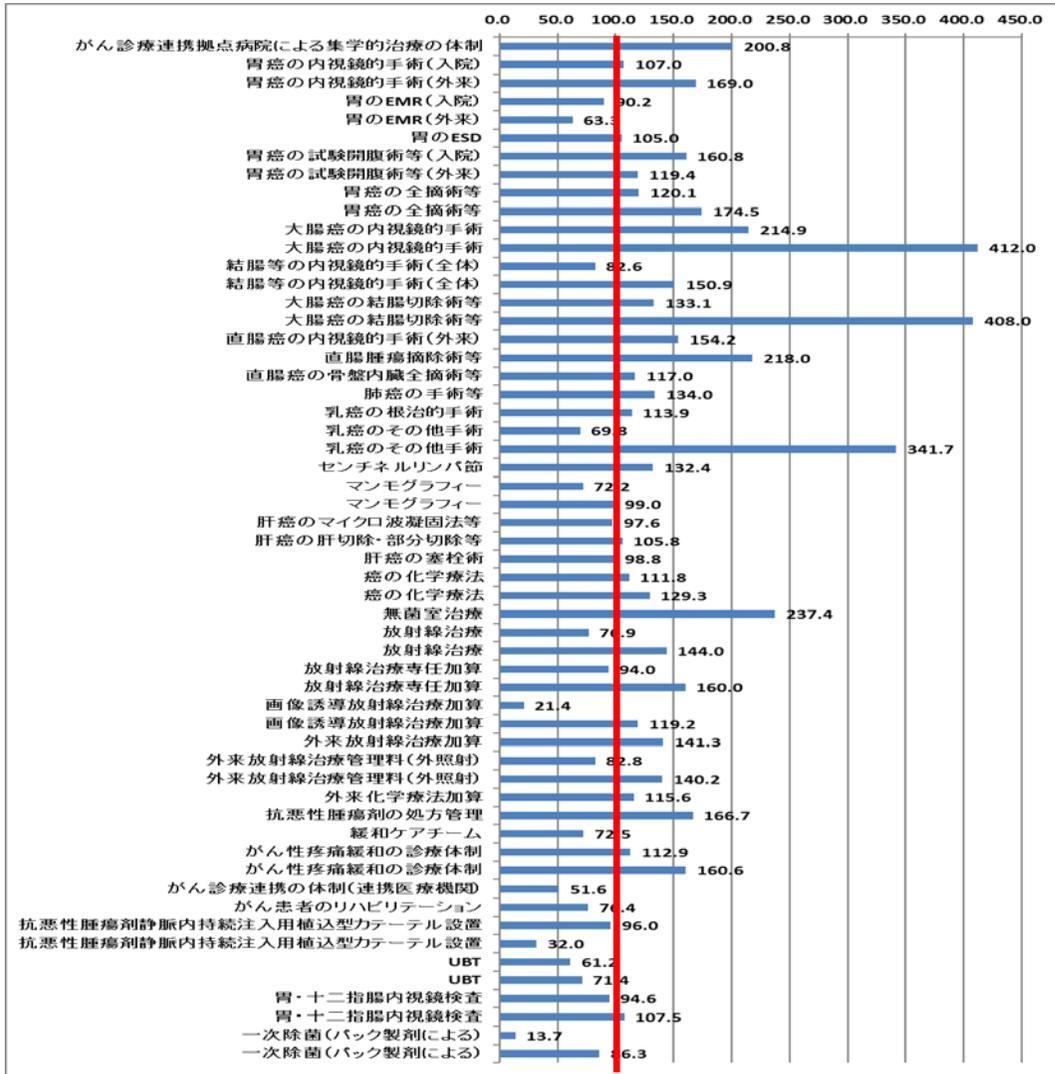
指標名	区分	横浜北部
がん診療連携拠点病院による集学的治療の体制	入院	65.8
胃癌の内視鏡的手術(入院)	入院	69.8
胃癌の内視鏡的手術(外来)	外来	108.0
胃のEMR(入院)	入院	137.7
胃のEMR(外来)	外来	57.0
胃のESD	入院	68.6
胃癌の試験開腹術等(入院)	入院	75.9
胃癌の試験開腹術等(外来)	外来	53.6
胃癌の全摘術等	入院	68.5
胃癌の全摘術等	外来	111.0
大腸癌の内視鏡的手術	入院	85.2
大腸癌の内視鏡的手術	外来	164.0
結腸等の内視鏡的手術(全体)	入院	61.2
結腸等の内視鏡的手術(全体)	外来	206.2
大腸癌の結腸切除術等	入院	97.9
大腸癌の結腸切除術等	外来	172.9
直腸癌の内視鏡的手術(外来)	外来	197.2
直腸腫瘍摘除術等	入院	78.1
直腸癌の骨盤内臓全摘術等	入院	95.8
肺癌の手術等	入院	51.6
乳癌の根治的手術	入院	51.9
乳癌のその他手術	入院	12.9
乳癌のその他手術	外来	37.6
センチネルリンパ節	入院	57.0
マンモグラフィー	入院	32.4
マンモグラフィー	外来	59.0
肝癌のマイクロ波凝固法等	入院	7.0
肝癌の肝切除・部分切除等	入院	53.4
肝癌の塞栓術	入院	38.3
癌の化学療法	入院	58.0
癌の化学療法	外来	64.4
無菌室治療	入院	43.1
放射線治療	入院	65.1
放射線治療	外来	82.8
放射線治療専任加算	入院	41.3
放射線治療専任加算	外来	81.4
画像誘導放射線治療加算	入院	29.4
画像誘導放射線治療加算	外来	53.4
外来放射線治療加算	外来	83.2
外来放射線治療管理料(外照射)	入院	43.4
外来放射線治療管理料(外照射)	外来	80.9
外来化学療法加算	外来	63.3
抗悪性腫瘍剤の処方管理	外来	53.8
緩和ケアチーム	入院	38.9
がん性疼痛緩和の診療体制	入院	56.9
がん性疼痛緩和の診療体制	外来	66.4
がん診療連携の体制(連携医療機関)	外来	59.6
がん患者のリハビリテーション	入院	44.6
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	入院	75.7
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	外来	8.7
UBT	入院	38.2
UBT	外来	149.0
胃・十二指腸内視鏡検査	入院	66.6
胃・十二指腸内視鏡検査	外来	106.8
一次除菌(バック製剤による)	入院	13.6
一次除菌(バック製剤による)	外来	83.9

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・内視鏡的手術の出現比が高い。乳がん関連の出現比が低い。

横浜西部における【がん】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



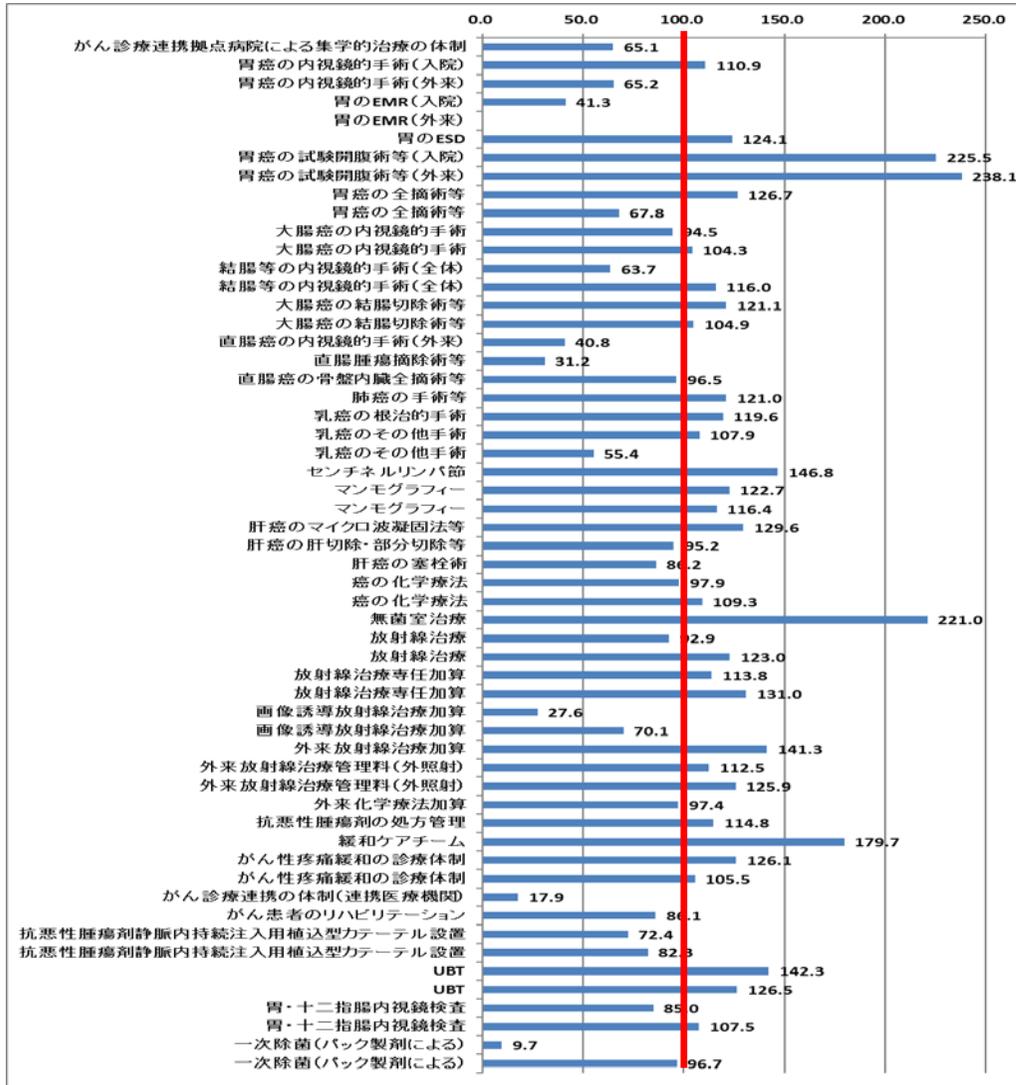
指標名	区分	横浜西部
がん診療連携拠点病院による集学的治療の体制	入院	200.8
胃癌の内視鏡的手術(入院)	入院	107.0
胃癌の内視鏡的手術(外来)	外来	169.0
胃のEMR(入院)	入院	90.2
胃のEMR(外来)	外来	63.3
胃のESD	入院	105.0
胃癌の試験開腹術等(入院)	入院	160.8
胃癌の試験開腹術等(外来)	外来	119.4
胃癌の全摘術等	入院	120.1
胃癌の全摘術等	外来	174.5
大腸癌の内視鏡的手術	入院	214.9
大腸癌の内視鏡的手術	外来	412.0
結腸等の内視鏡的手術(全体)	入院	82.6
結腸等の内視鏡的手術(全体)	外来	150.9
大腸癌の結腸切除術等	入院	133.1
大腸癌の結腸切除術等	外来	408.0
直腸癌の内視鏡的手術(外来)	外来	154.2
直腸腫瘍摘除術等	入院	218.0
直腸癌の骨盤内臓全摘術等	入院	117.0
肺癌の手術等	入院	134.0
乳癌の根治的手術	入院	113.9
乳癌のその他手術	入院	69.8
乳癌のその他手術	外来	341.7
センチネルリンパ節	入院	132.4
マンモグラフィー	入院	72.2
マンモグラフィー	外来	99.0
肝癌のマイクロ波凝固法等	入院	97.6
肝癌の肝切除・部分切除等	入院	105.8
肝癌の塞栓術	入院	98.8
癌の化学療法	入院	111.8
癌の化学療法	外来	129.3
無菌室治療	入院	237.4
放射線治療	入院	76.9
放射線治療	外来	144.0
放射線治療専任加算	入院	94.0
放射線治療専任加算	外来	160.0
画像誘導放射線治療加算	入院	21.4
画像誘導放射線治療加算	外来	119.2
外来放射線治療加算	外来	141.3
外来放射線治療管理料(外照射)	入院	82.8
外来放射線治療管理料(外照射)	外来	140.2
外来化学療法加算	外来	115.6
抗悪性腫瘍剤の処方管理	外来	166.7
緩和ケアチーム	入院	72.5
がん性疼痛緩和の診療体制	入院	112.9
がん性疼痛緩和の診療体制	外来	160.6
がん診療連携の体制(連携医療機関)	外来	51.6
がん患者のリハビリテーション	入院	76.4
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	入院	96.0
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	外来	32.0
UBT	入院	61.2
UBT	外来	71.4
胃・十二指腸内視鏡検査	入院	94.6
胃・十二指腸内視鏡検査	外来	107.5
一次除菌(バック製剤による)	入院	13.7
一次除菌(バック製剤による)	外来	86.3

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
- ・ $SCR = \Sigma \text{年齢構成別レセプト数} \times 100 / \Sigma \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・全体的に出現比が高い。特に、大腸癌の内視鏡的手術・結腸切除術等の出現比が高い。

横浜南部における【がん】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜南部
がん診療連携拠点病院による集学的治療の体制	入院	65.1
胃癌の内視鏡的手術(入院)	入院	110.9
胃癌の内視鏡的手術(外来)	外来	65.2
胃のEMR(入院)	入院	41.3
胃のEMR(外来)	外来	
胃のESD	入院	124.1
胃癌の試験開腹術等(入院)	入院	225.5
胃癌の試験開腹術等(外来)	外来	238.1
胃癌の全摘術等	入院	126.7
胃癌の全摘術等	外来	67.8
大腸癌の内視鏡的手術	入院	94.5
大腸癌の内視鏡的手術	外来	104.3
結腸等の内視鏡的手術(全体)	入院	63.7
結腸等の内視鏡的手術(全体)	外来	116.0
大腸癌の結腸切除術等	入院	121.1
大腸癌の結腸切除術等	外来	104.9
直腸癌の内視鏡的手術(外来)	外来	40.8
直腸腫瘍摘除術等	入院	31.2
直腸癌の骨盤内臓全摘術等	入院	96.5
肺癌の手術等	入院	121.0
乳癌の根治的手術	入院	119.6
乳癌のその他手術	入院	107.9
乳癌のその他手術	外来	55.4
センチネルリンパ節	入院	146.8
マンモグラフィー	入院	122.7
マンモグラフィー	外来	116.4
肝癌のマイクロ波凝固法等	入院	129.6
肝癌の肝切除・部分切除等	入院	95.2
肝癌の塞栓術	入院	86.2
癌の化学療法	入院	97.9
癌の化学療法	外来	109.3
無菌室治療	入院	221.0
放射線治療	入院	2.9
放射線治療	外来	123.0
放射線治療専任加算	入院	113.8
放射線治療専任加算	外来	131.0
画像誘導放射線治療加算	入院	27.6
画像誘導放射線治療加算	外来	70.1
外来放射線治療加算	外来	141.3
外来放射線治療管理料(外照射)	入院	112.5
外来放射線治療管理料(外照射)	外来	125.9
外来化学療法加算	外来	97.4
抗悪性腫瘍剤の処方管理	外来	114.8
緩和ケアチーム	入院	179.7
がん性疼痛緩和の診療体制	入院	126.1
がん性疼痛緩和の診療体制	外来	105.5
がん診療連携の体制(連携医療機関)	外来	17.9
がん患者のリハビリテーション	入院	86.1
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	入院	72.4
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置	外来	82.3
UBT	入院	142.3
UBT	外来	126.5
胃・十二指腸内視鏡検査	入院	85.0
胃・十二指腸内視鏡検査	外来	107.5
一次除菌(バック製剤による)	入院	9.7
一次除菌(バック製剤による)	外来	96.7

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数}}{\sum \text{年齢階級別人口}} \times 100 \div \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト出現率}}{\sum \text{年齢階級別人口}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・胃癌の試験開腹術、無菌室治療の出現比が高い。

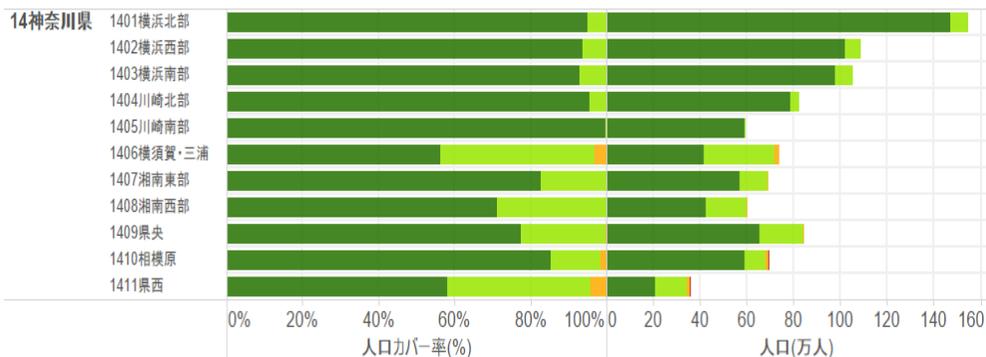
神奈川県におけるDPC公開データによるアクセス状況(平成27年度DPCデータ:がん)

<肺がん>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 04呼吸器系疾患 DPC6title 040040肺の悪性腫瘍



15分以内 30分以内 60分以内 90分以内

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 04呼吸器系疾患 DPC6title 040040肺の悪性腫瘍

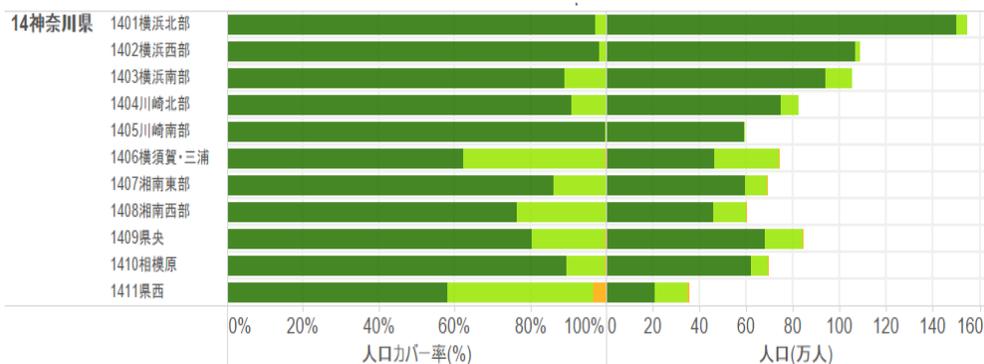
都道府県	2次医療圏	カバー率(%)				人口(万人)			
		15分以内	30分以内	60分以内	90分以内	15分以内	30分以内	60分以内	90分以内
14神奈川県	1401横浜北部	95.1%	4.9%			147.1	7.5		
	1402横浜西部	93.8%	6.2%			101.9	6.7		
	1403横浜南部	93.0%	7.0%			97.8	7.4		
	1404川崎北部	95.5%	4.5%			78.6	3.7		
	1405川崎南部	99.8%	0.2%			59.1	0.1		
	1406横須賀・三浦	56.2%	40.7%	3.0%		41.6	30.2	2.2	
	1407湘南東部	82.8%	17.2%	0.0%		57.0	11.8	0.0	
	1408湘南西部	71.1%	28.8%	0.0%		42.6	17.3	0.0	
	1409県央	77.5%	22.1%	0.4%		65.6	18.7	0.3	
	1410相模原	85.2%	13.1%	1.6%	0.0%	59.1	9.1	1.1	0.0
	1411県西	58.0%	37.9%	4.1%	0.0%	20.8	13.6	1.5	0.0

<胃がん>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 06消化器系疾患、肝臓・胆.. DPC6title 060020胃の悪性腫瘍



15分以内 30分以内 60分以内 90分以内

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 06消化器系疾患、肝臓・胆.. DPC6title 060020胃の悪性腫瘍

都道府県	2次医療圏	カバー率(%)			人口(万人)		
		15分以内	30分以内	60分以内	15分以内	30分以内	60分以内
14神奈川県	1401横浜北部	97.1%	2.9%		150.1	4.5	
	1402横浜西部	98.2%	1.8%		106.7	2.0	
	1403横浜南部	89.1%	10.9%		93.8	11.4	
	1404川崎北部	90.9%	9.1%		74.8	7.5	
	1405川崎南部	99.8%	0.2%		59.1	0.1	
	1406横須賀・三浦	62.4%	37.3%	0.4%	46.2	27.6	0.3
	1407湘南東部	86.1%	13.9%	0.0%	59.3	9.6	0.0
	1408湘南西部	76.4%	23.6%	0.0%	45.7	14.1	0.0
	1409県央	80.3%	19.3%	0.4%	68.0	16.3	0.3
	1410相模原	89.6%	10.2%	0.3%	62.1	7.0	0.2
	1411県西	58.0%	38.7%	3.3%	20.8	13.9	1.2

<出典> tableau public 公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ベンジャミン光一 (国立がんセンター) 作成

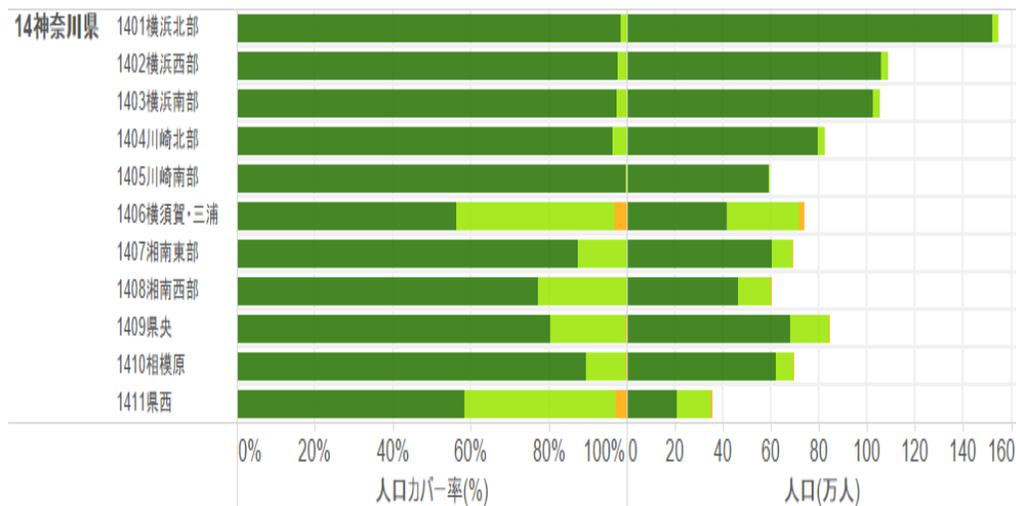
神奈川県におけるDPC公開データによるアクセス状況(平成27年度DPCデータ:がん)

<大腸がん>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 06消化器系疾患、肝臓・胆.. DPC6title 060035結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍



■ 15分以内 ■ 30分以内 ■ 60分以内 ■ 90分以内

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 06消化器系疾患、肝臓・胆.. DPC6title 060035結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍

都道府県	2次医療圏	カバー率(%)			人口(万人)		
		15分以内	30分以内	60分以内	15分以内	30分以内	60分以内
14神奈川県	1401横浜北部	98.3%	1.7%		152.0	2.6	
	1402横浜西部	97.6%	2.4%		106.0	2.7	
	1403横浜南部	97.5%	2.5%		102.6	2.7	
	1404川崎北部	96.4%	3.6%		79.3	2.9	
	1405川崎南部	99.8%	0.2%		59.1	0.1	
	1406横須賀・三浦	56.2%	40.7%	3.0%	41.6	30.2	2.2
	1407湘南東部	87.4%	12.6%	0.0%	60.2	8.6	0.0
	1408湘南西部	77.2%	22.7%	0.0%	46.2	13.6	0.0
	1409県央	80.3%	19.3%	0.4%	68.0	16.3	0.3
	1410相模原	89.6%	10.2%	0.3%	62.1	7.0	0.2
	1411県西	58.5%	38.5%	3.0%	21.0	13.8	1.1

<出典> tableau public公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ベンジャミン光一 (国立がんセンター) 作成

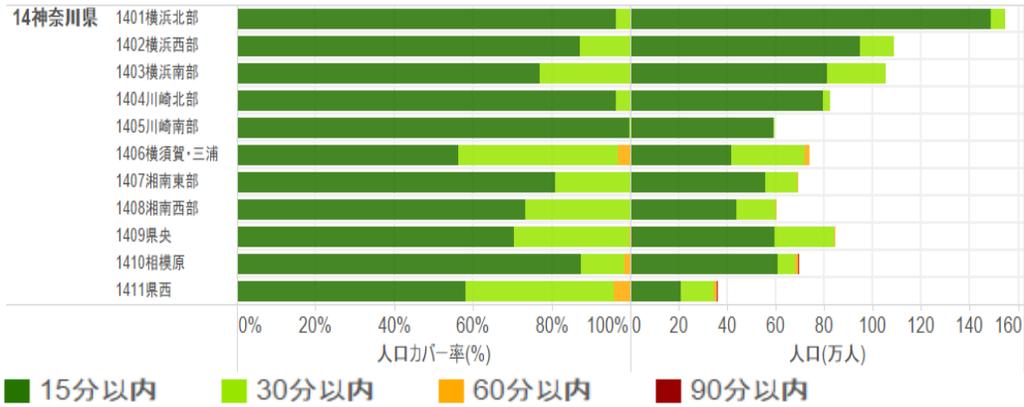
神奈川県におけるDPC公開データによるアクセス状況(平成27年度DPCデータ:がん)

<肝がん>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 06消化器系疾患、肝臓・胆.. DPC6title 060050肝・胆内臓の悪性腫瘍(続発性を含む。)



地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 06消化器系疾患、肝臓・胆.. DPC6title 060050肝・胆内臓の悪性腫瘍(続発性を含む。)

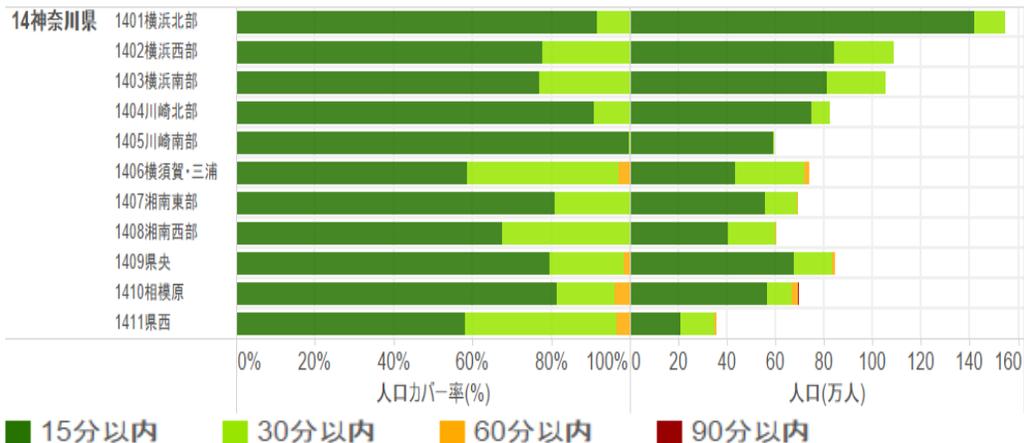
都道府県	2次医療圏	カバー率(%)				人口(万人)			
		15分以内	30分以内	60分以内	90分以内	15分以内	30分以内	60分以内	90分以内
14神奈川県	1401横浜北部	96.3%	3.7%			148.9	5.7		
	1402横浜西部	87.1%	12.9%			94.6	14.0		
	1403横浜南部	77.0%	23.0%			81.0	24.2		
	1404川崎北部	96.4%	3.6%			79.3	2.9		
	1405川崎南部	99.8%	0.2%			59.1	0.1		
	1406横須賀・三浦	56.2%	40.7%	3.0%		41.6	30.2	2.2	
	1407湘南東部	80.9%	19.1%	0.0%		55.7	13.2	0.0	
	1408湘南西部	73.2%	26.8%	0.0%		43.8	16.0	0.0	
	1409県央	70.5%	29.2%	0.4%		59.6	24.7	0.3	
	1410相模原	87.4%	10.9%	1.6%	0.0%	60.6	7.6	1.1	0.0
	1411県西	58.0%	37.9%	4.1%	0.0%	20.8	13.6	1.5	0.0

<乳がん>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 09乳房の疾患 DPC6title 090010乳房の悪性腫瘍



地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

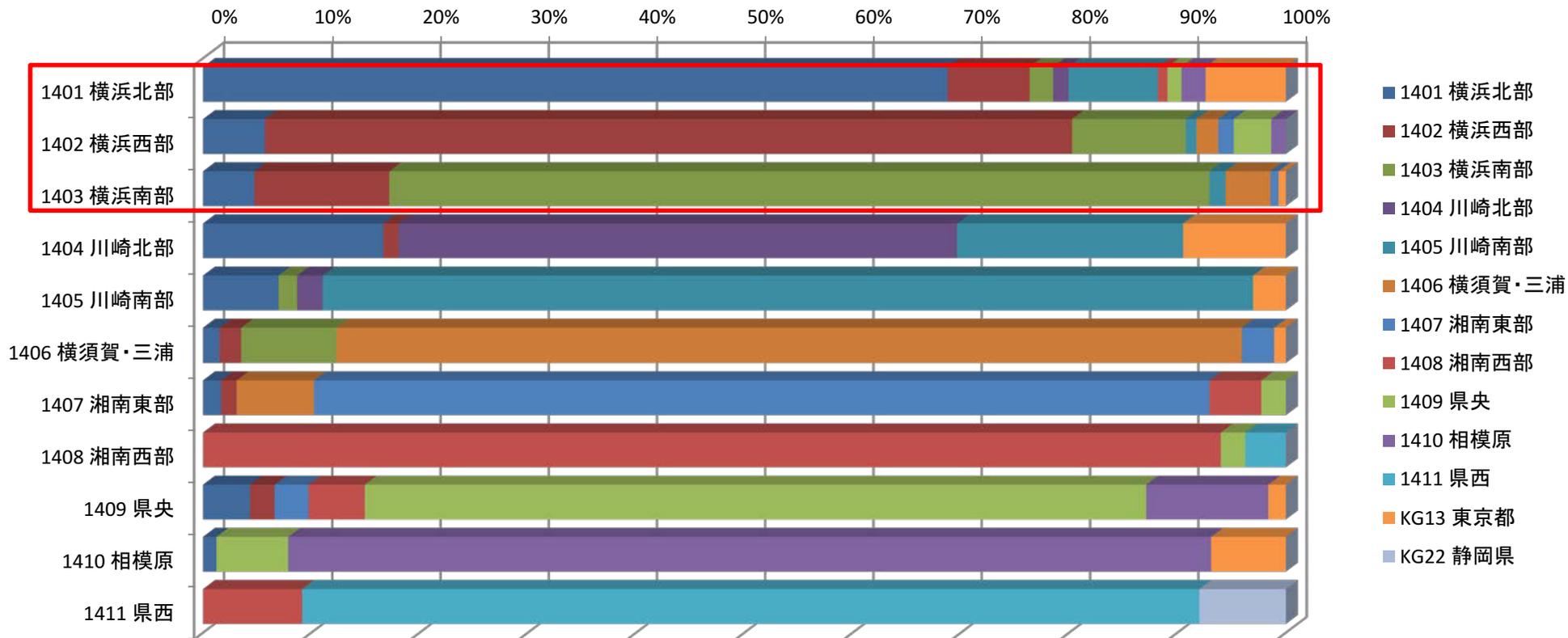
MDCtitle 09乳房の疾患 DPC6title 090010乳房の悪性腫瘍

都道府県	2次医療圏	カバー率(%)				人口(万人)			
		15分以内	30分以内	60分以内	90分以内	15分以内	30分以内	60分以内	90分以内
14神奈川県	1401横浜北部	91.7%	8.3%			141.7	12.9		
	1402横浜西部	77.6%	22.4%			84.3	24.3		
	1403横浜南部	77.0%	23.0%			81.0	24.2		
	1404川崎北部	90.9%	9.1%			74.8	7.5		
	1405川崎南部	99.8%	0.2%			59.1	0.1		
	1406横須賀・三浦	58.6%	38.5%	2.9%		43.4	28.5	2.2	
	1407湘南東部	80.9%	19.1%	0.0%		55.7	13.2	0.0	
	1408湘南西部	67.6%	32.4%	0.0%		40.5	19.4	0.0	
	1409県央	79.7%	18.7%	1.7%		67.4	15.8	1.4	
	1410相模原	81.5%	14.7%	3.8%	0.1%	56.5	10.2	2.6	0.1
	1411県西	58.0%	38.7%	3.3%		20.8	13.9	1.2	

<出典> tableau public 公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#/>)
石川ベンジャミン光一(国立がんセンター)作成

急性心筋梗塞

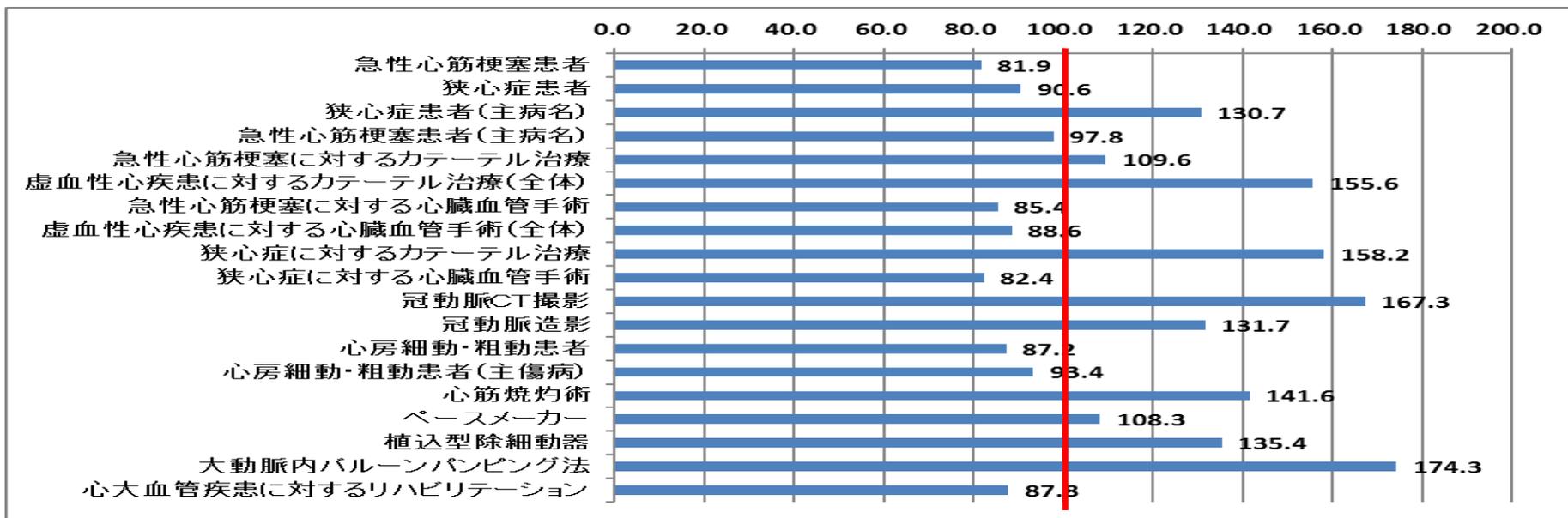
横浜における急性心筋梗塞患者の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	静岡県	
1401 横浜北部	68.78%	7.57%	2.17%	1.41%	8.27%			0.88%	1.29%	2.23%		7.39%		1,704
1402 横浜西部	5.70%	74.57%	10.50%		0.98%	2.03%	1.43%		3.45%	1.35%				1,333
1403 横浜南部	4.74%	12.45%	75.78%		1.49%	4.13%	0.74%					0.68%		1,478
1404 川崎北部	16.65%	1.41%		51.58%	20.89%								9.47%	919
1405 川崎南部	6.97%		1.71%	2.37%	85.92%								3.03%	760
1406 横須賀・三浦	1.53%	1.98%	8.83%			83.60%	2.97%					1.08%		1,110
1407 湘南東部	1.67%	1.43%				7.15%	82.72%	4.77%	2.26%					839
1408 湘南西部								94.01%	2.25%		3.75%			801
1409 県央	4.33%	2.27%					3.14%	5.19%	72.19%	11.26%		1.62%		924
1410 相模原	1.23%								6.63%	85.26%		6.88%		814
1411 県西								9.15%			82.88%		7.97%	590
総計	1,605	1,375	1,408	516	1,021	1,076	786	910	826	854	519	329	47	11,272

・86.9%の患者が、市域内で入院医療を完結している。川崎からの流入が多い。

横浜北部における【急性心筋梗塞】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



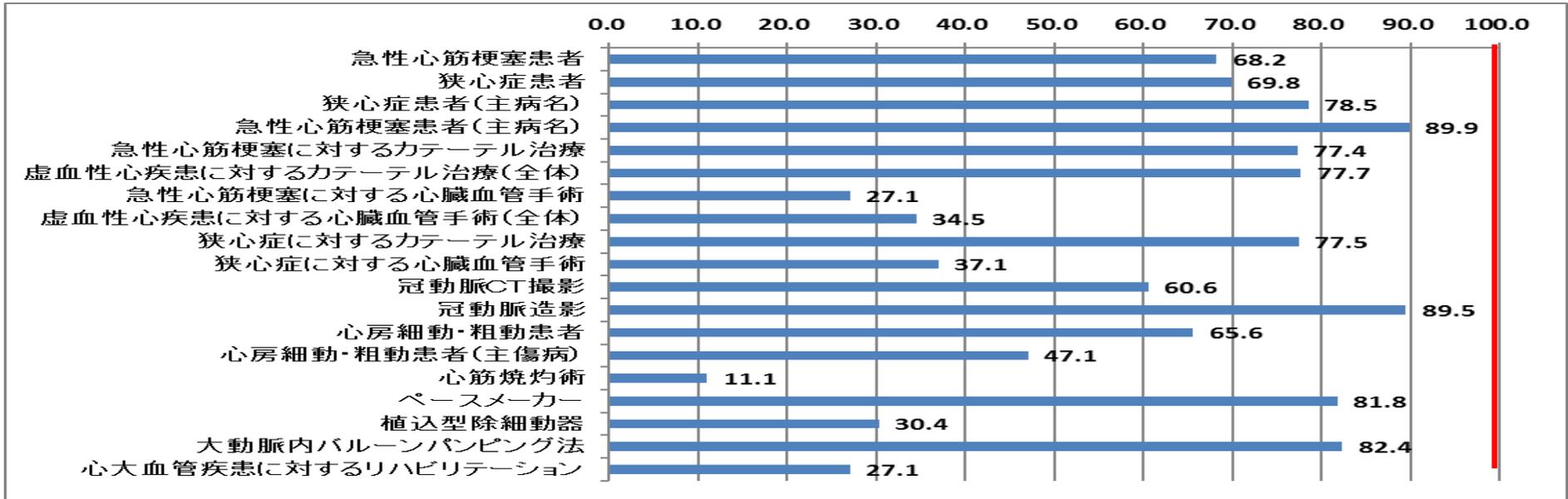
指標名	区分	横浜北部
急性心筋梗塞患者	入院	81.9
狭心症患者	入院	90.6
狭心症患者(主病名)	入院	130.7
急性心筋梗塞患者(主病名)	入院	97.8
急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	109.6
虚血性心疾患に対するカテーテル治療(全体)	入院	155.6
急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院	85.4
虚血性心疾患に対する心臓血管手術(全体)	入院	88.6
狭心症に対するカテーテル治療	入院	158.2
狭心症に対する心臓血管手術	入院	82.4
冠動脈CT撮影	入院	167.3
冠動脈造影	入院	131.7
心房細動・粗動患者	入院	87.2
心房細動・粗動患者(主傷病)	入院	93.4
心筋焼灼術	入院	141.6
ペースメーカー	入院	108.3
植込型除細動器	入院	135.4
大動脈内バルーンパンピング法	入院	174.3
心大血管疾患に対するリハビリテーション	入院	87.8

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・大動脈内バルーンパンピング法、冠動脈CT撮影、カテーテル治療の出現比が高い。

横浜西部における【急性心筋梗塞】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)

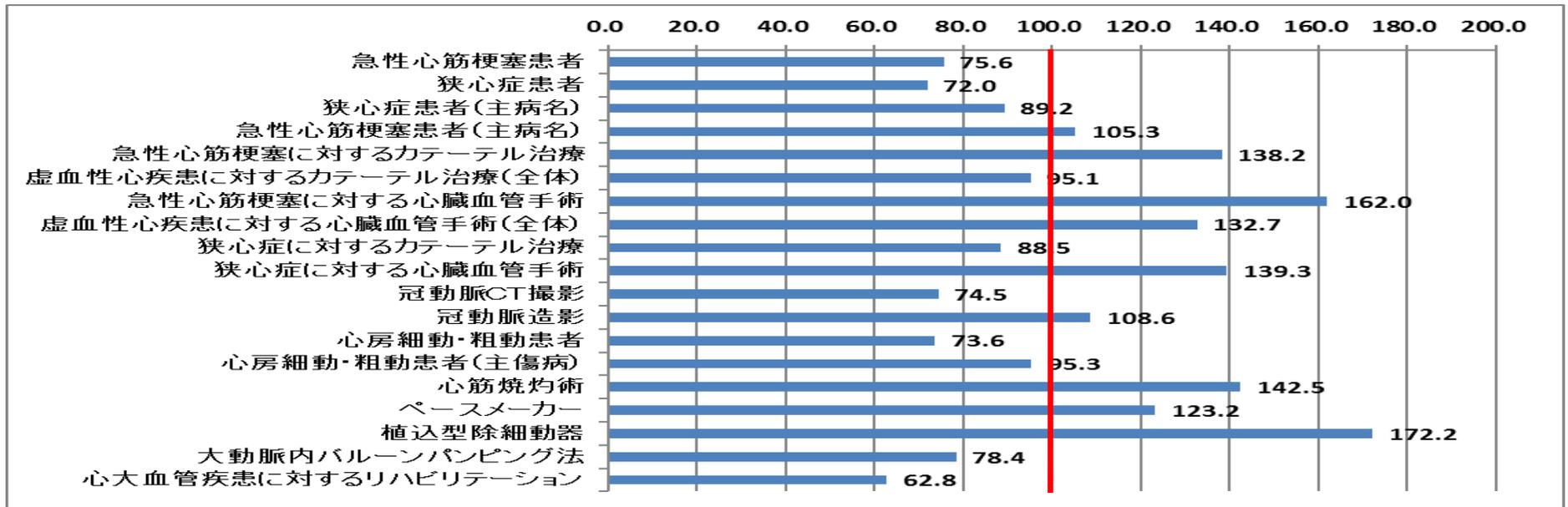


指標名	区分	横浜西部
急性心筋梗塞患者	入院	68.2
狭心症患者	入院	69.8
狭心症患者(主病名)	入院	78.5
急性心筋梗塞患者(主病名)	入院	89.9
急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	77.4
虚血性心疾患に対するカテーテル治療(全体)	入院	77.7
急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院	27.1
虚血性心疾患に対する心臓血管手術(全体)	入院	34.5
狭心症に対するカテーテル治療	入院	77.5
狭心症に対する心臓血管手術	入院	37.1
冠動脈CT撮影	入院	60.6
冠動脈造影	入院	89.5
心房細動・粗動患者	入院	65.6
心房細動・粗動患者(主傷病)	入院	47.1
心筋焼灼術	入院	11.1
ペースメーカー	入院	81.8
植込型除細動器	入院	30.4
大動脈内バルーンパンピング法	入院	82.4
心大血管疾患に対するリハビリテーション	入院	27.1

<SCRとは>
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
 $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
 ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・全体的に全国平均を下回っている。

横浜南部における【急性心筋梗塞】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜南部
急性心筋梗塞患者	入院	75.6
狭心症患者	入院	72.0
狭心症患者(主病名)	入院	89.2
急性心筋梗塞患者(主病名)	入院	105.3
急性心筋梗塞に対するカテーテル治療	入院	138.2
虚血性心疾患に対するカテーテル治療(全体)	入院	95.1
急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	入院	162.0
虚血性心疾患に対する心臓血管手術(全体)	入院	132.7
狭心症に対するカテーテル治療	入院	88.5
狭心症に対する心臓血管手術	入院	139.3
冠動脈CT撮影	入院	74.5
冠動脈造影	入院	108.6
心房細動・粗動患者	入院	73.6
心房細動・粗動患者(主傷病)	入院	95.3
心筋焼灼術	入院	142.5
ペースメーカー	入院	123.2
植込型除細動器	入院	172.2
大動脈内バルーンパンピング法	入院	78.4
心大血管疾患に対するリハビリテーション	入院	62.8

<SCRとは>
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
 $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
 ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・植込型除細動器、急性心筋梗塞に対するカテーテル治療の出現比が高い。

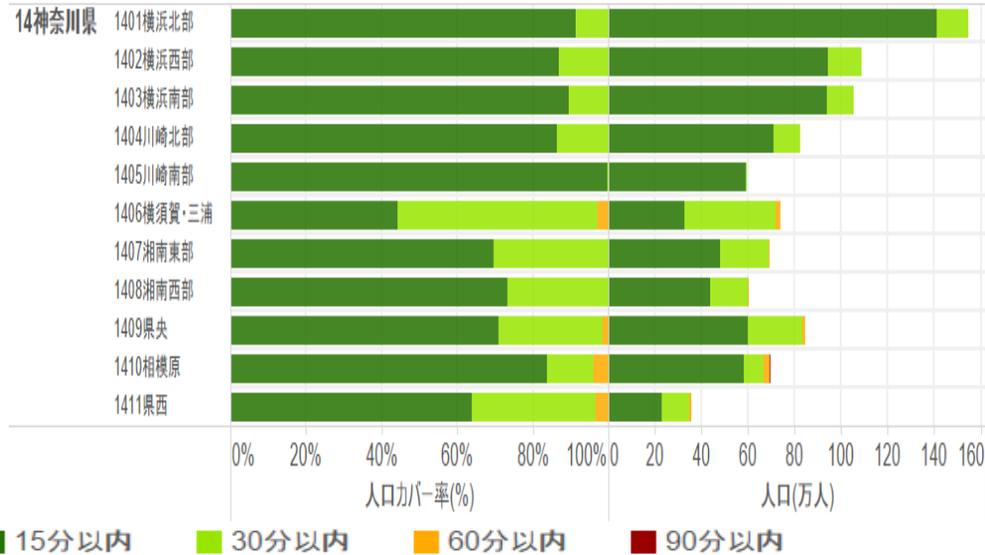
神奈川県におけるDPC公開データによるアクセス状況(平成27年度DPCデータ:急性心筋梗塞)

<急性心筋梗塞>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 05循環器系疾患 DPC6title 050030急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞



地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

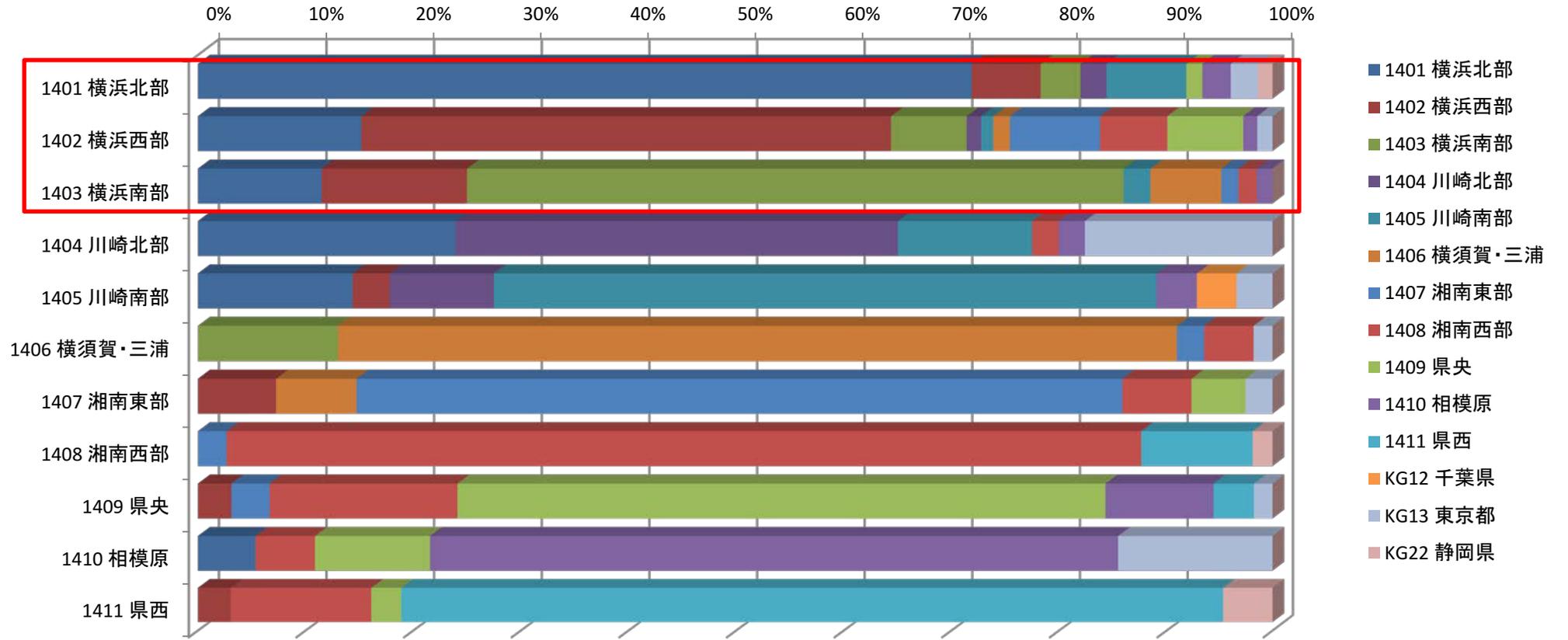
MDCtitle 05循環器系疾患 DPC6title 050030急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞

都道府県	2次医療圏	カバー率(%)				人口(万人)			
		15分以内	30分以内	60分以内	90分以内	15分以内	30分以内	60分以内	90分以内
14神奈川県	1401横浜北部	91.4	8.6			141.3	13.3		
	1402横浜西部	86.8	13.2			94.3	14.4		
	1403横浜南部	89.4	10.6			94.1	11.1		
	1404川崎北部	86.5	13.5			71.2	11.1		
	1405川崎南部	99.8	0.2			59.1	0.1		
	1406横須賀・三浦	44.2	53.0	2.8		32.7	39.3	2.0	
	1407湘南東部	69.7	30.3	0.0		48.0	20.9	0.0	
	1408湘南西部	73.2	26.8	0.0		43.8	16.0	0.0	
	1409県央	70.8	27.6	1.6		59.9	23.3	1.4	
	1410相模原	83.9	12.3	3.8	0.1	58.1	8.5	2.6	0.1
	1411県西	63.8	32.9	3.3		22.9	11.8	1.2	

<出典> tableau public公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ベンジャミン光一 (国立がんセンター) 作成

脳卒中

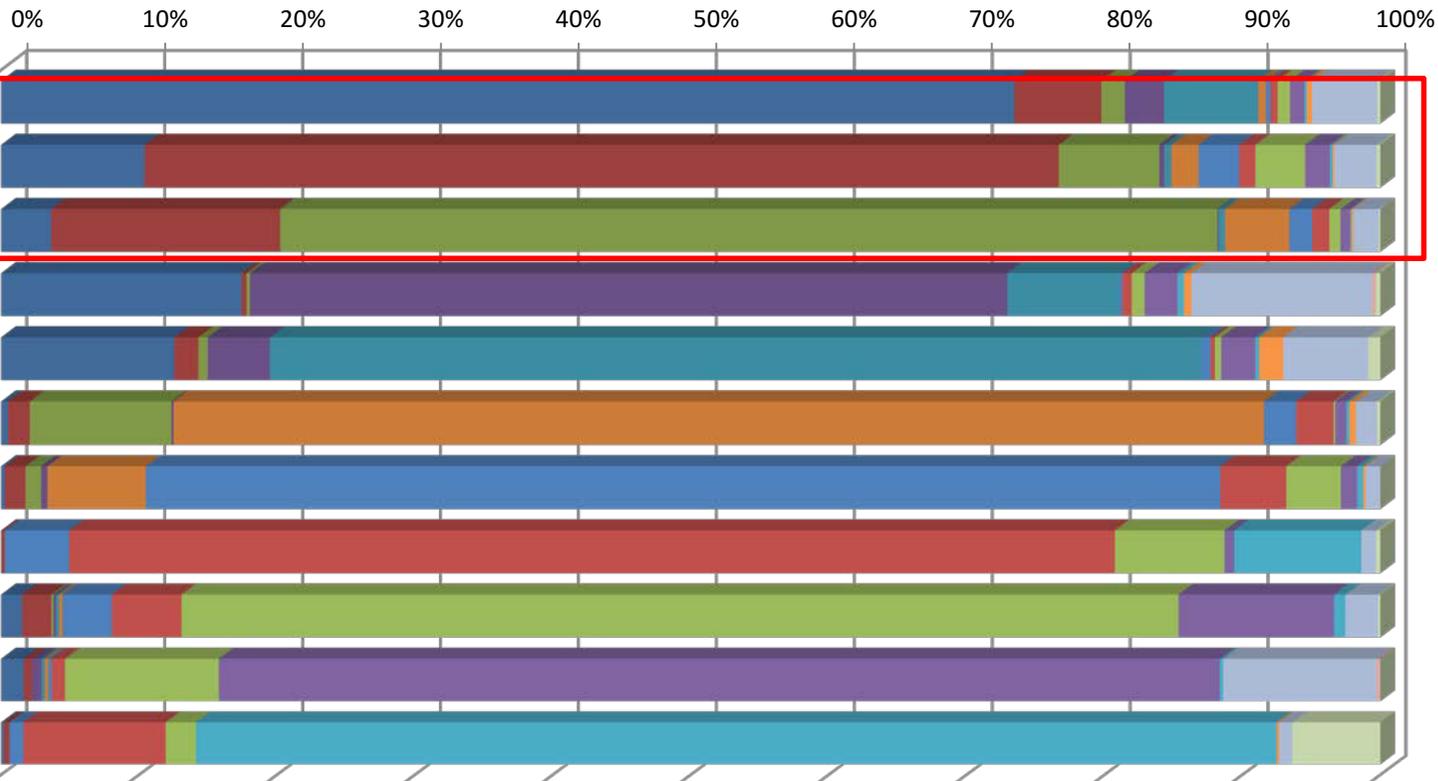
横浜におけるくも膜下出血の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													総計	
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	静岡県	総計
1401 横浜北部	71.89%	6.40%	3.71%	2.41%	7.42%				1.48%	2.69%				2.60%	1,078
1402 横浜西部	15.18%	49.22%	7.03%	1.34%	1.12%	1.56%	8.37%	6.25%	7.14%	1.34%				1.45%	896
1403 横浜南部	11.50%	13.50%	61.00%		2.50%	6.63%	1.63%	1.75%		1.50%					800
1404 川崎北部	23.93%			41.10%	12.47%			2.45%		2.45%				17.59%	489
1405 川崎南部	14.38%	3.44%		9.69%	61.56%					3.75%				3.44%	320
1406 横須賀・三浦			13.02%			77.94%	2.53%	4.70%						1.81%	553
1407 湘南東部		7.26%				7.48%	71.15%	6.41%	5.13%					2.56%	468
1408 湘南西部							2.66%	84.98%			10.46%			1.90%	526
1409 県央		3.11%					3.55%	17.46%	60.21%	10.06%	3.85%			1.78%	676
1410 相模原	5.34%							5.53%	10.69%	63.93%				14.50%	524
1411 県西		2.06%						13.06%	2.78%		76.39%			4.72%	360
総計	1,194	695	663	270	368	533	473	779	577	480	356	12	248	42	6,690

・79.7%の患者が、市域内で入院医療を完結している。川崎からの流入が多い。

横浜における脳梗塞、一過性脳虚血発作患者の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)

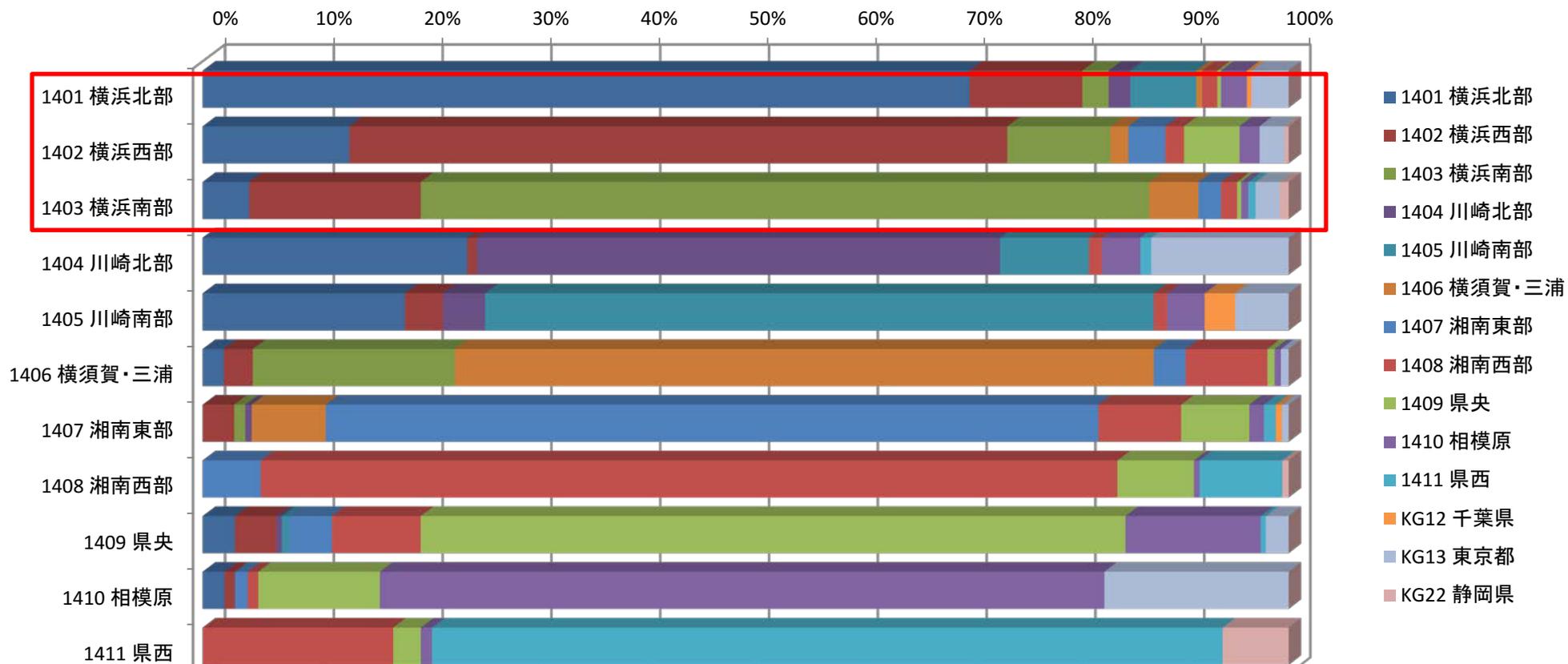


- 1401 横浜北部
- 1402 横浜西部
- 1403 横浜南部
- 1404 川崎北部
- 1405 川崎南部
- 1406 横須賀・三浦
- 1407 湘南東部
- 1408 湘南西部
- 1409 県央
- 1410 相模原
- 1411 県西
- KG12 千葉県
- KG13 東京都
- KG19 山梨県
- KG22 静岡県

合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名															
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	73.47%	6.31%	1.70%	2.85%	6.82%	0.54%	0.34%	0.52%	0.90%	1.05%	0.17%	0.39%	4.73%		0.21%	13,277
1402 横浜西部	10.40%	66.28%	7.30%	0.36%	0.51%	1.98%	2.94%	1.18%	3.61%	1.78%	0.19%	0.12%	3.07%		0.28%	10,261
1403 横浜南部	3.63%	16.60%	67.95%	0.09%	0.46%	4.67%	1.66%	1.25%	0.81%	0.70%	0.09%	0.15%	1.83%		0.12%	11,292
1404 川崎北部	17.44%	0.36%	0.24%	54.90%	8.07%		0.27%	0.70%	0.93%	2.38%	0.46%	0.54%	13.07%	0.31%	0.32%	7,759
1405 川崎南部	12.56%	1.74%	0.68%	4.51%	67.56%		0.65%	0.31%	0.46%	2.47%	0.28%	1.74%	6.18%		0.86%	6,147
1406 横須賀・三浦	0.50%	1.57%	10.27%	0.15%		79.06%	2.34%	2.71%	0.12%	0.81%	0.22%	0.47%	1.52%		0.24%	9,921
1407 湘南東部	0.27%	1.49%	1.12%	0.47%		7.13%	77.92%	4.78%	3.96%	1.18%	0.43%	0.16%	1.08%			7,381
1408 湘南西部		0.26%					4.67%	75.82%	7.95%	0.70%	9.22%		1.06%		0.32%	7,834
1409 県央	1.52%	2.12%	0.15%	0.19%	0.22%	0.25%	3.57%	5.06%	72.29%	11.28%	0.82%		2.38%		0.15%	8,495
1410 相模原	1.63%	0.60%		0.70%	0.23%	0.26%	0.25%	0.96%	11.15%	72.58%	0.25%		11.09%	0.31%		6,863
1411 県西	0.19%	0.42%					1.01%	10.32%	2.20%		78.35%	0.19%	0.95%		6.37%	5,271
総計	13,677	10,178	9,824	5,076	5,824	9,211	7,317	8,006	8,629	6,900	5,098	299	3,871	45	546	94,501

・84.4%の患者が、市域内で入院医療を完結している。川崎からの流入が多い。

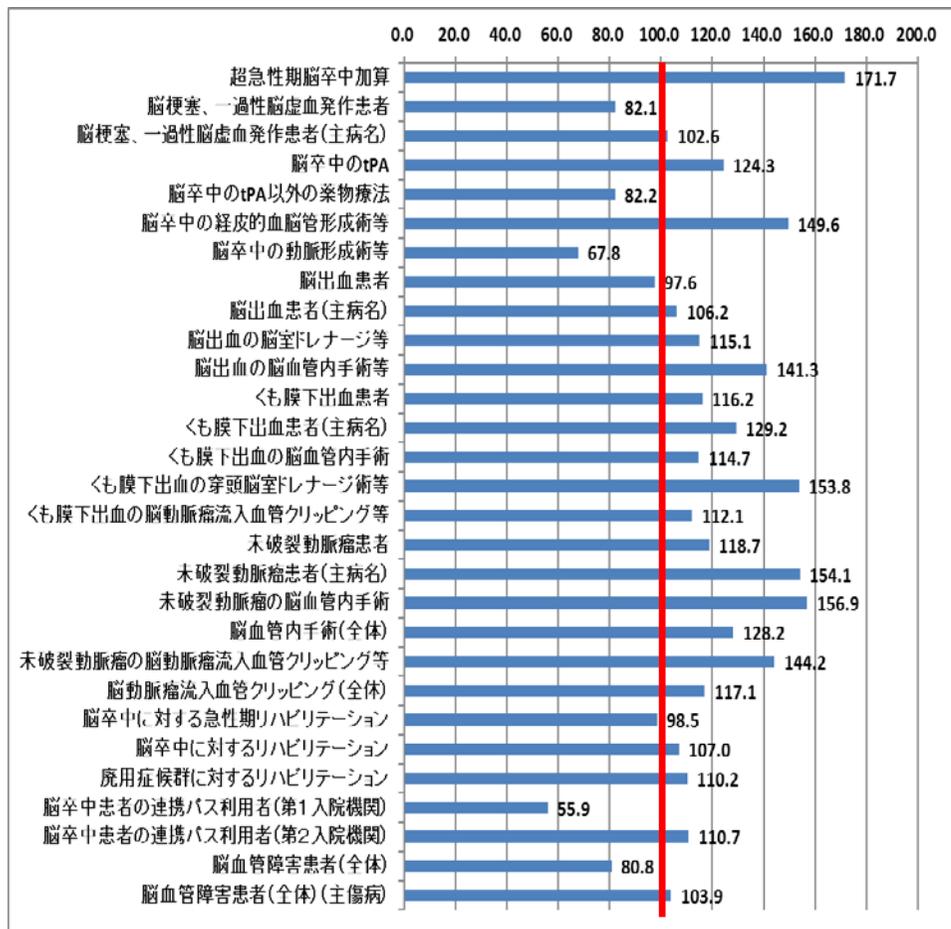
横浜における脳出血患者の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	静岡県	
1401 横浜北部	70.49%	10.35%	2.43%	1.99%	6.06%	0.54%		1.39%	0.35%	2.43%			0.44%	3.54%	3,168
1402 横浜西部	13.48%	60.46%	9.49%			1.63%	3.40%	1.73%	5.13%	1.91%				2.36%	2,886
1403 横浜南部	4.28%	15.76%	66.97%			4.51%	2.07%	1.50%	0.40%	0.67%	0.70%			2.30%	2,994
1404 川崎北部	24.32%	0.88%		48.08%	8.17%			1.19%		3.52%	1.01%			12.82%	1,591
1405 川崎南部	18.58%	3.51%		3.85%	61.46%			1.24%		3.44%			2.82%	5.09%	1,453
1406 横須賀・三浦	1.93%	2.67%	18.57%			64.24%	2.92%	7.63%	0.69%	0.59%				0.74%	2,019
1407 湘南東部		2.89%	1.02%	0.59%		6.81%	71.01%	7.61%	6.32%	1.39%	1.13%		0.59%	0.64%	1,866
1408 湘南西部							5.34%	78.73%	7.03%	0.52%	7.78%			0.61%	2,134
1409 県央	2.97%	3.81%		0.49%	0.69%		3.91%	8.16%	64.77%	12.52%	0.49%			2.18%	2,021
1410 相模原	2.00%	0.97%					1.16%	0.97%	11.18%	66.58%				17.13%	1,547
1411 県西									17.51%	2.54%	1.03%	72.66%		6.26%	1,262
総計	3,537	2,810	2,750	905	1,229	1,623	1,755	2,553	1,967	1,603	1,151	66	863	129	22,941

・84.6%の患者が、市域内で入院医療を完結している。川崎からの流入が多い。

横浜北部における【脳卒中】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



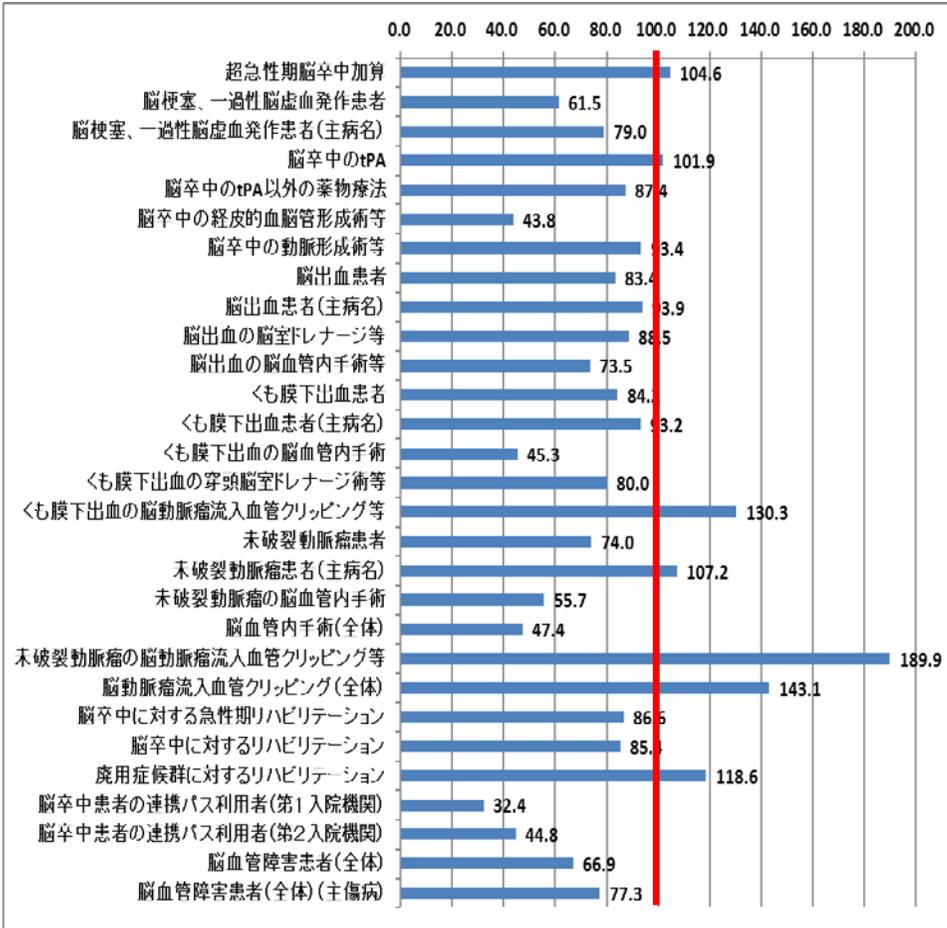
指標名	区分	横浜北部
超急性期脳卒中加算	入院	171.7
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者	入院	82.1
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(主病名)	入院	102.6
脳卒中中のtPA	入院	124.3
脳卒中中のtPA以外の薬物療法	入院	82.2
脳卒中中の経皮的血管形成術等	入院	149.6
脳卒中中の動脈形成術等	入院	67.8
脳出血患者	入院	97.6
脳出血患者(主病名)	入院	106.2
脳出血の脳室ドレナージ等	入院	115.1
脳出血の脳血管内手術等	入院	141.3
くも膜下出血患者	入院	116.2
くも膜下出血患者(主病名)	入院	129.2
くも膜下出血の脳血管内手術	入院	114.7
くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等	入院	153.8
くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	112.1
未破裂動脈瘤患者	入院	118.7
未破裂動脈瘤患者(主病名)	入院	154.1
未破裂動脈瘤の脳血管内手術	入院	156.9
脳血管内手術(全体)	入院	128.2
未破裂動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	144.2
脳動脈瘤流入血管クリッピング(全体)	入院	117.1
脳卒中に対する急性期リハビリテーション	入院	98.5
脳卒中に対するリハビリテーション	入院	107.0
廃用症候群に対するリハビリテーション	入院	110.2
脳卒中患者の連携パス利用者(第1入院機関)	入院	55.9
脳卒中患者の連携パス利用者(第2入院機関)	入院	110.7
脳血管障害患者(全体)	入院	80.8
脳血管障害患者(全体)(主傷病)	入院	103.9

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・全体的に出現率が高い。特に、超急性期脳卒中加算、未破裂動脈瘤関連の出現比が高い。

横浜西部における【脳卒中】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



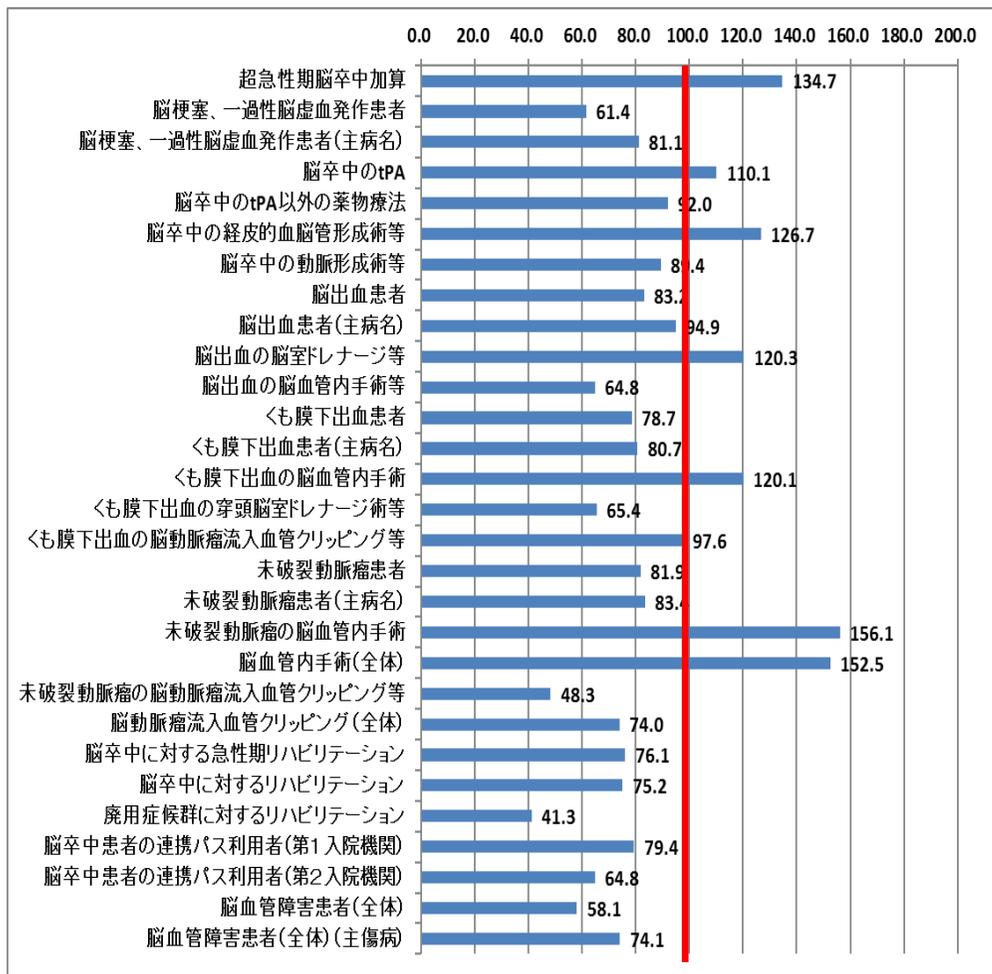
指標名	区分	横浜西部
超急性期脳卒中加算	入院	104.6
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者	入院	61.5
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(主病名)	入院	79.0
脳卒中のtPA	入院	101.9
脳卒中のtPA以外の薬物療法	入院	87.4
脳卒中の経皮的脳血管形成術等	入院	43.8
脳卒中の動脈形成術等	入院	93.4
脳出血患者	入院	83.4
脳出血患者(主病名)	入院	93.9
脳出血の脳室ドレナージ等	入院	88.5
脳出血の脳血管内手術等	入院	73.5
くも膜下出血患者	入院	84.2
くも膜下出血患者(主病名)	入院	93.2
くも膜下出血の脳血管内手術	入院	45.3
くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等	入院	80.0
くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	130.3
未破裂動脈瘤患者	入院	74.0
未破裂動脈瘤患者(主病名)	入院	107.2
未破裂動脈瘤の脳血管内手術	入院	55.7
脳血管内手術(全体)	入院	47.4
未破裂動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	189.9
脳動脈瘤流入血管クリッピング(全体)	入院	143.1
脳卒中に対する急性期リハビリテーション	入院	86.6
脳卒中に対するリハビリテーション	入院	85.4
廃用症候群に対するリハビリテーション	入院	118.6
脳卒中患者の連携パス利用者(第1入院機関)	入院	32.4
脳卒中患者の連携パス利用者(第2入院機関)	入院	44.8
脳血管障害患者(全体)	入院	66.9
脳血管障害患者(全体)(主傷病)	入院	77.3

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・未破裂脳動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピングの出現比が高い。

横浜南部における【脳卒中】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜南部
超急性期脳卒中加算	入院	134.7
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者	入院	61.4
脳梗塞、一過性脳虚血発作患者(主病名)	入院	81.1
脳卒中のtPA	入院	110.1
脳卒中のtPA以外の薬物療法	入院	92.0
脳卒中の経皮的脳血管形成術等	入院	126.7
脳卒中の動脈形成術等	入院	89.4
脳出血患者	入院	83.2
脳出血患者(主病名)	入院	94.9
脳出血の脳室ドレナージ等	入院	120.3
脳出血の脳血管内手術等	入院	64.8
くも膜下出血患者	入院	78.7
くも膜下出血患者(主病名)	入院	80.7
くも膜下出血の脳血管内手術	入院	120.1
くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等	入院	65.4
くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	97.6
未破裂動脈瘤患者	入院	81.9
未破裂動脈瘤患者(主病名)	入院	83.4
未破裂動脈瘤の脳血管内手術	入院	156.1
脳血管内手術(全体)	入院	152.5
未破裂動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピング等	入院	48.3
脳動脈瘤流入血管クリッピング(全体)	入院	74.0
脳卒中に対する急性期リハビリテーション	入院	76.1
脳卒中に対するリハビリテーション	入院	75.2
廃用症候群に対するリハビリテーション	入院	41.3
脳卒中患者の連携バス利用者(第1入院機関)	入院	79.4
脳卒中患者の連携バス利用者(第2入院機関)	入院	64.8
脳血管障害患者(全体)	入院	58.1
脳血管障害患者(全体)(主傷病)	入院	74.1

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
- (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・脳血管内手術、超急性期脳卒中加算の出現率が高い。

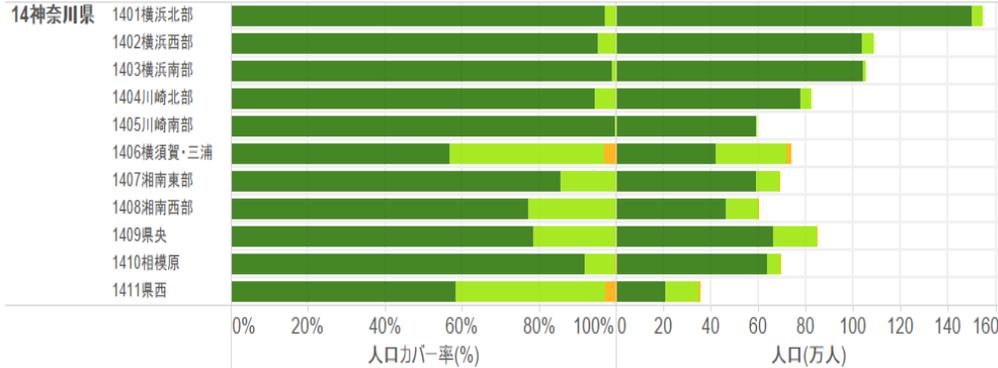
神奈川県におけるDPC公開データによるアクセス状況(平成27年度DPCデータ:脳卒中)

<脳梗塞>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 01神経系疾患 DPC6title 010060脳梗塞



地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 01神経系疾患 DPC6title 010060脳梗塞

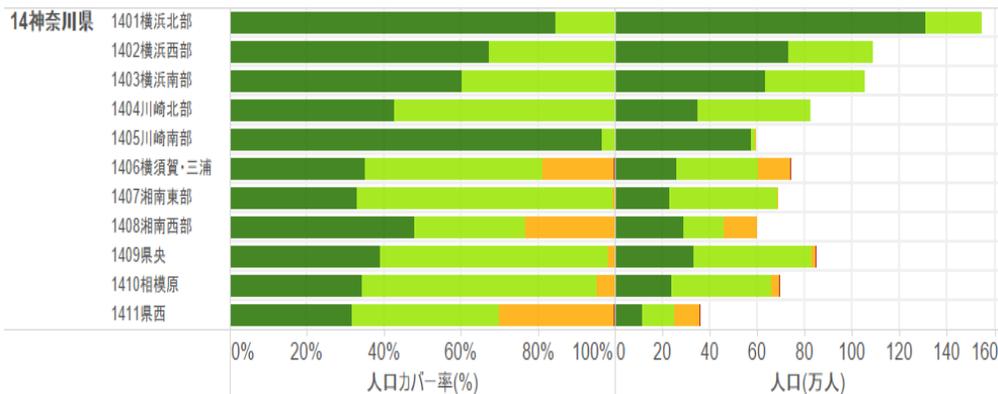
都道府県	2次医療圏	カバー率(%)			人口(万人)		
		15分以内	30分以内	60分以内	15分以内	30分以内	60分以内
14神奈川県	1401横浜北部	97.1%	2.9%		150.0	4.6	
	1402横浜西部	95.3%	4.7%		103.6	5.1	
	1403横浜南部	98.8%	1.2%		104.0	1.2	
	1404川崎北部	94.4%	5.6%		77.7	4.6	
	1405川崎南部	99.8%	0.2%		59.1	0.1	
	1406横須賀・三浦	56.7%	40.3%	3.0%	42.0	29.8	2.2
	1407湘南東部	85.5%	14.5%	0.0%	58.9	10.0	0.0
	1408湘南西部	77.2%	22.7%	0.0%	46.2	13.6	0.0
	1409県央	78.5%	21.4%	0.1%	66.4	18.1	0.1
	1410相模原	91.9%	7.8%	0.3%	63.7	5.4	0.2
	1411県西	58.5%	38.5%	3.0%	21.0	13.8	1.1

<<も膜下出血>>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 01神経系疾患 DPC6title 010020<も膜下出血、破裂脳動脈瘤>



地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 01神経系疾患 DPC6title 010020<も膜下出血、破裂脳動脈瘤>

都道府県	2次医療圏	カバー率(%)				人口(万人)			
		15分以内	30分以内	60分以内	90分以内	15分以内	30分以内	60分以内	90分以内
14神奈川県	1401横浜北部	84.5%	15.5%			130.7	23.9		
	1402横浜西部	67.2%	32.8%			73.0	35.6		
	1403横浜南部	60.3%	39.7%			63.4	41.8		
	1404川崎北部	42.6%	57.4%			35.0	47.3		
	1405川崎南部	96.6%	3.4%	0.0%		57.2	2.0	0.0	
	1406横須賀・三浦	35.0%	46.3%	18.4%	0.3%	25.9	34.3	13.6	0.2
	1407湘南東部	33.1%	66.3%	0.6%		22.8	45.7	0.4	
	1408湘南西部	47.9%	28.9%	23.2%		28.7	17.3	13.9	
	1409県央	39.1%	59.0%	1.9%	0.0%	33.0	49.9	1.6	0.0
	1410相模原	34.3%	61.0%	4.6%	0.1%	23.8	42.3	3.2	0.1
	1411県西	31.8%	38.2%	29.8%	0.2%	11.4	13.7	10.7	0.1

<出典> tableau public公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#/>)
石川ベンジャミン光一(国立がんセンター)作成

神奈川県におけるDPC公開データによるアクセスマップ(平成25年度DPCデータ:くも膜下出血)

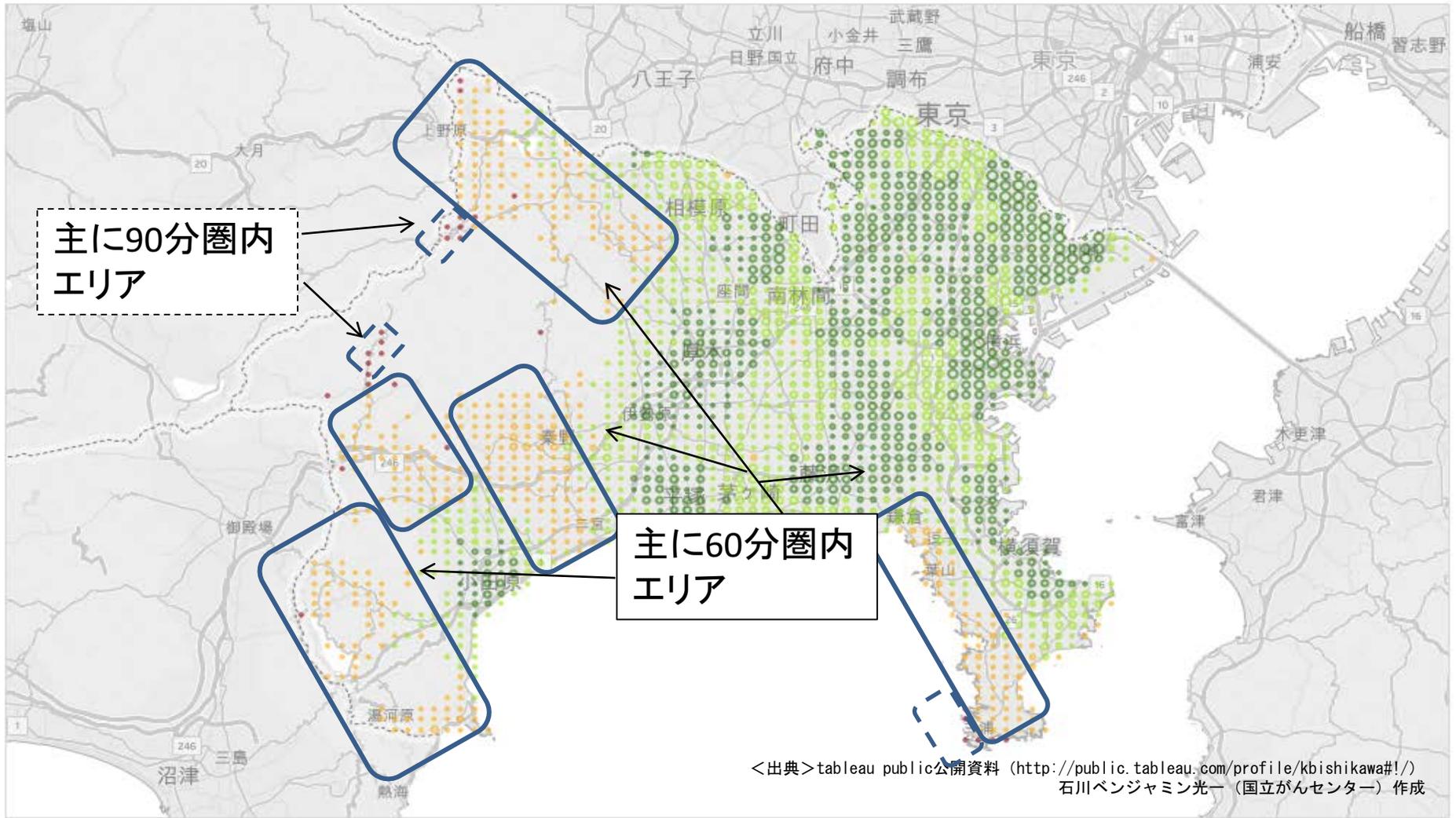
運転時間に基づくカバーエリア / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

傷病分類 010020くも膜下出血、破裂脳動脈瘤

都道府県 14神奈川県

2次医療圏 すべて

市区町村 すべて



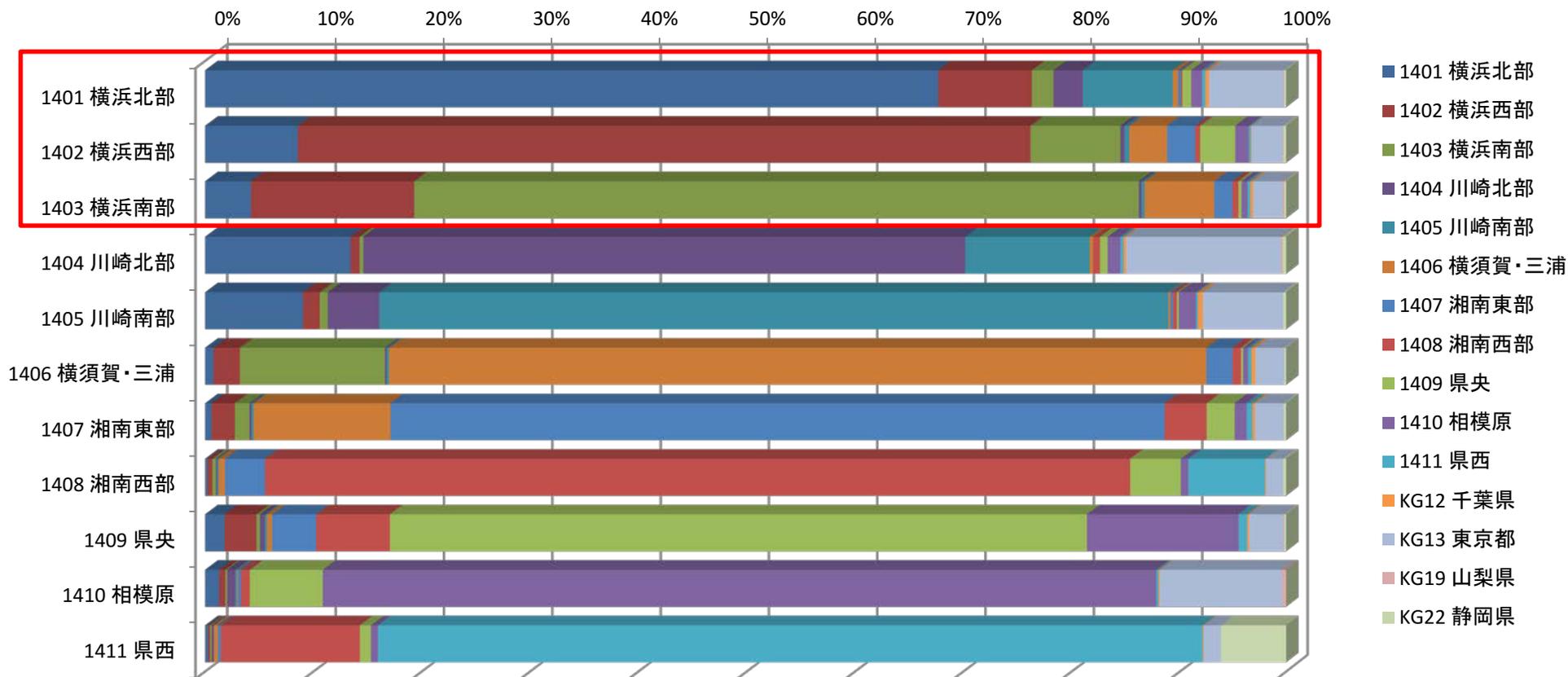
<出典> tableau public 公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ベンジャミン光一 (国立がんセンター) 作成

	15分以内	30分以内	60分以内	90分以内
人口	5,048,425	3,536,695	435,112	3,705
カバー率/累計	55.9%	95.1%	100.0%	100.0%

有料道路を使用しない運転時間による集計
(メッシュ単位で計算 / 人口カバー率の資料とは異なります)

糖尿病

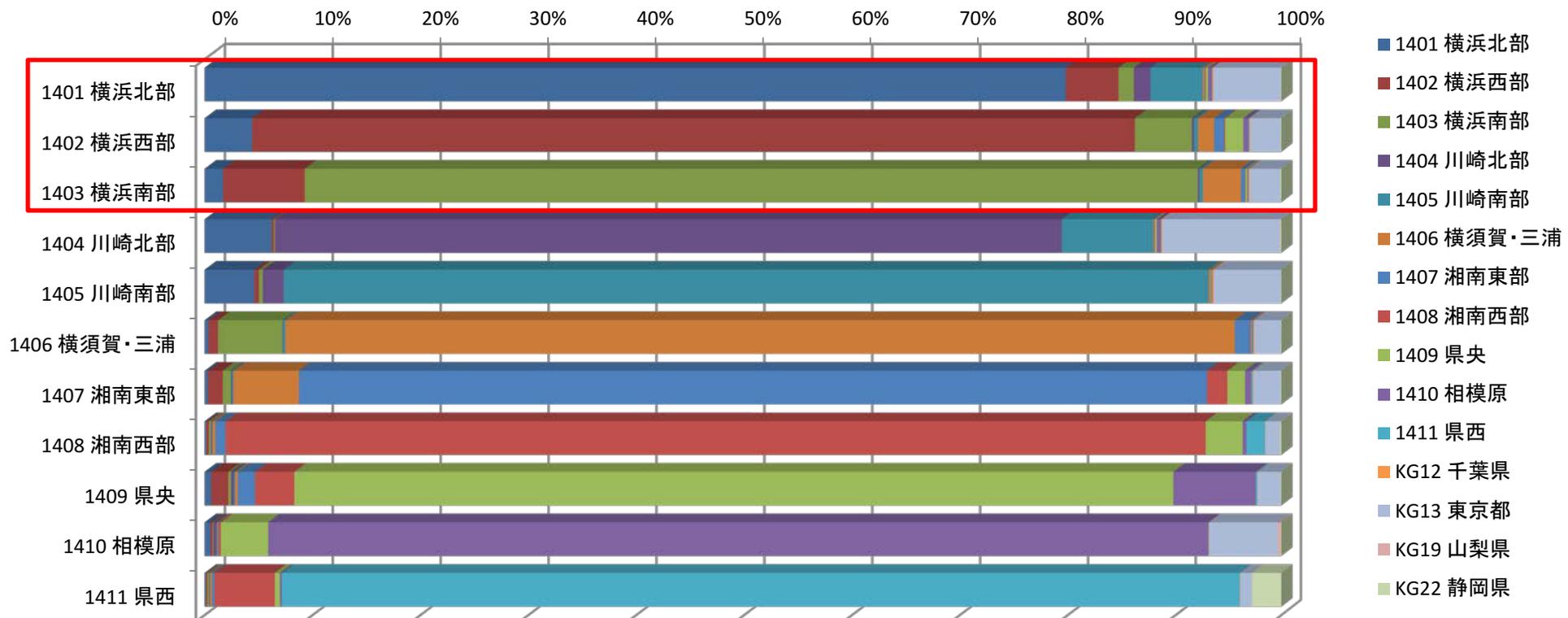
横浜における糖尿病患者の自己完結率(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名																
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計	
1401 横浜北部	67.69%	8.64%	2.00%	2.70%	8.31%	0.49%	0.27%	0.12%	0.83%	1.00%	0.30%	0.32%	7.09%	0.06%	0.18%	30,682	
1402 横浜西部	8.57%	67.63%	8.31%	0.37%	0.45%	3.49%	2.59%	0.46%	3.27%	1.28%	0.20%	0.09%	2.96%	0.07%	0.26%	25,718	
1403 横浜南部	4.23%	15.08%	66.89%	0.25%	0.29%	6.44%	1.70%	0.55%	0.30%	0.58%	0.26%	0.25%	2.83%	0.17%	0.17%	26,411	
1404 川崎北部	13.42%	0.84%	0.36%	55.57%	11.49%	0.31%	0.65%	0.70%	0.70%	1.17%	0.29%	0.24%	14.47%	0.17%	0.33%	15,680	
1405 川崎南部	9.04%	1.55%	0.75%	4.76%	72.84%	0.19%	0.25%	0.36%	0.17%	1.60%	0.17%	0.45%	7.60%	0.29%	0.29%	14,552	
1406 横須賀・三浦	0.78%	2.43%	13.40%	0.17%	0.20%	75.47%	2.42%	0.82%	0.20%	0.48%	0.32%	0.35%	2.77%		0.18%	22,476	
1407 湘南東部	0.59%	2.16%	1.35%	0.19%	0.20%	12.63%	71.47%	3.90%	2.60%	1.16%	0.55%	0.23%	2.76%		0.23%	15,633	
1408 湘南西部	0.21%	0.46%	0.33%	0.12%	0.13%	0.58%	3.69%	79.88%	4.67%	0.71%	7.20%	0.09%	1.64%		0.28%	14,400	
1409 県央	1.79%	2.95%	0.32%	0.46%	0.18%	0.49%	4.06%	6.81%	64.35%	14.05%	0.81%	0.17%	3.32%	0.07%	0.17%	18,288	
1410 相模原	1.30%	0.57%	0.19%	0.74%	0.14%	0.10%	0.28%	0.83%	6.74%	76.96%	0.21%	0.10%	11.48%	0.39%		17,668	
1411 県西	0.28%	0.18%	0.15%	0.20%	0.20%	0.38%	0.27%	12.84%	1.01%	0.65%	76.14%	0.09%	1.60%		6.21%	11,153	
総計	28,392	25,993	23,961	10,719	15,296	21,991	14,307	15,574	15,505	17,837	10,156	477	11,164	187	1,102	212,661	

・82.8%の患者が、市域内で入院医療を完結している。

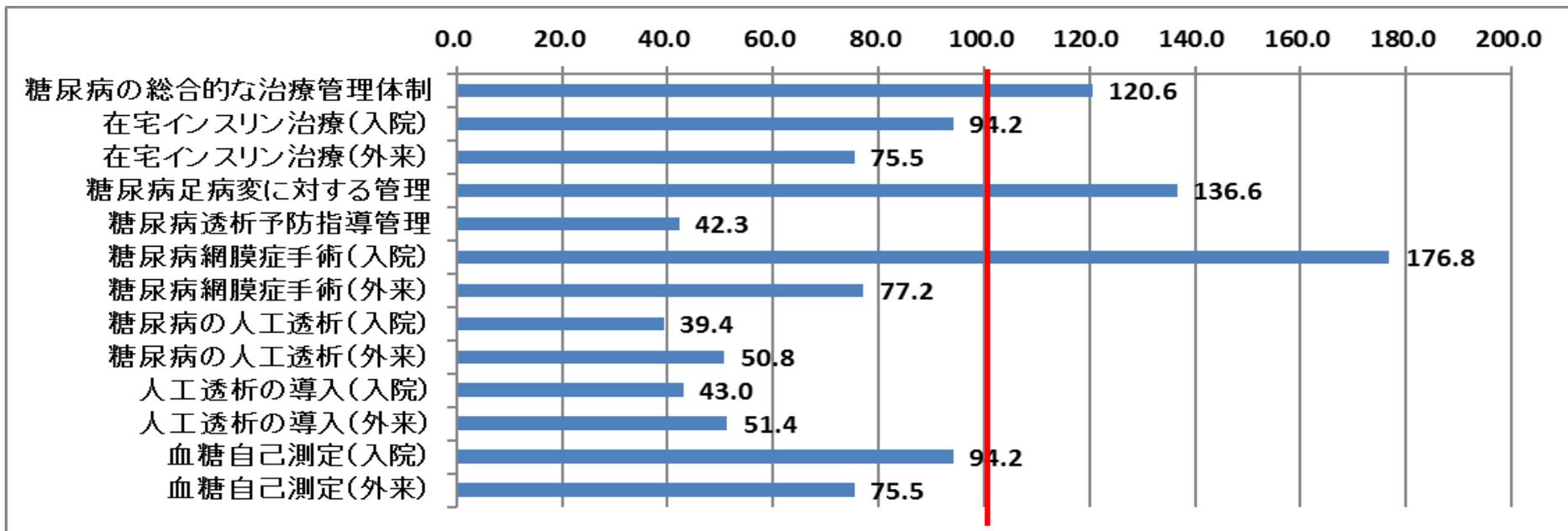
横浜における糖尿病患者の自己完結率(平成26年度NDBデータ:外来)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名																総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計	
1401 横浜北部	79.83%	4.88%	1.43%	1.54%	4.84%	0.19%	0.06%	0.04%	0.21%	0.37%	0.03%	0.10%	6.42%	0.01%	0.06%	785,269	
1402 横浜西部	4.39%	81.83%	5.29%	0.20%	0.37%	1.49%	0.95%	0.11%	1.74%	0.52%	0.05%	0.08%	2.91%	0.01%	0.07%	727,297	
1403 横浜南部	1.72%	7.56%	82.79%	0.13%	0.33%	3.61%	0.38%	0.06%	0.16%	0.10%	0.03%	0.11%	2.93%	0.01%	0.08%	667,058	
1404 川崎北部	6.21%	0.21%	0.10%	72.93%	8.47%	0.05%	0.03%	0.07%	0.18%	0.39%	0.03%	0.10%	11.11%	0.03%	0.08%	394,129	
1405 川崎南部	4.61%	0.42%	0.36%	1.94%	85.74%	0.12%	0.02%	0.02%	0.08%	0.08%	0.02%	0.14%	6.39%		0.06%	331,453	
1406 横須賀・三浦	0.36%	0.88%	5.97%	0.06%	0.21%	88.07%	1.47%	0.09%	0.08%	0.10%	0.05%	0.08%	2.51%	0.01%	0.07%	596,055	
1407 湘南東部	0.30%	1.38%	0.76%	0.11%	0.12%	6.05%	84.18%	1.92%	1.70%	0.60%	0.15%	0.07%	2.57%	0.02%	0.07%	407,028	
1408 湘南西部	0.15%	0.25%	0.19%	0.09%	0.06%	0.26%	0.94%	90.85%	3.50%	0.36%	1.79%	0.03%	1.40%	0.01%	0.11%	394,164	
1409 県央	0.61%	1.57%	0.27%	0.26%	0.12%	0.24%	1.59%	3.65%	81.47%	7.76%	0.14%	0.04%	2.20%	0.01%	0.06%	493,957	
1410 相模原	0.53%	0.20%	0.08%	0.30%	0.07%	0.06%	0.07%	0.20%	4.39%	87.15%	0.03%	0.05%	6.56%	0.28%	0.05%	462,669	
1411 県西	0.11%	0.13%	0.18%	0.06%	0.02%	0.17%	0.23%	5.59%	0.48%	0.17%	88.87%	0.04%	1.11%	0.02%	2.80%	292,041	
総計	719,794	707,032	645,196	312,227	363,319	589,572	374,111	403,591	461,639	455,626	269,336	4,410	231,400	1,978	11,889	5,551,120	

・89.7%の患者が、市域内で外来医療を完結している。

横浜北部における【糖尿病】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成25年度NDBデータ)

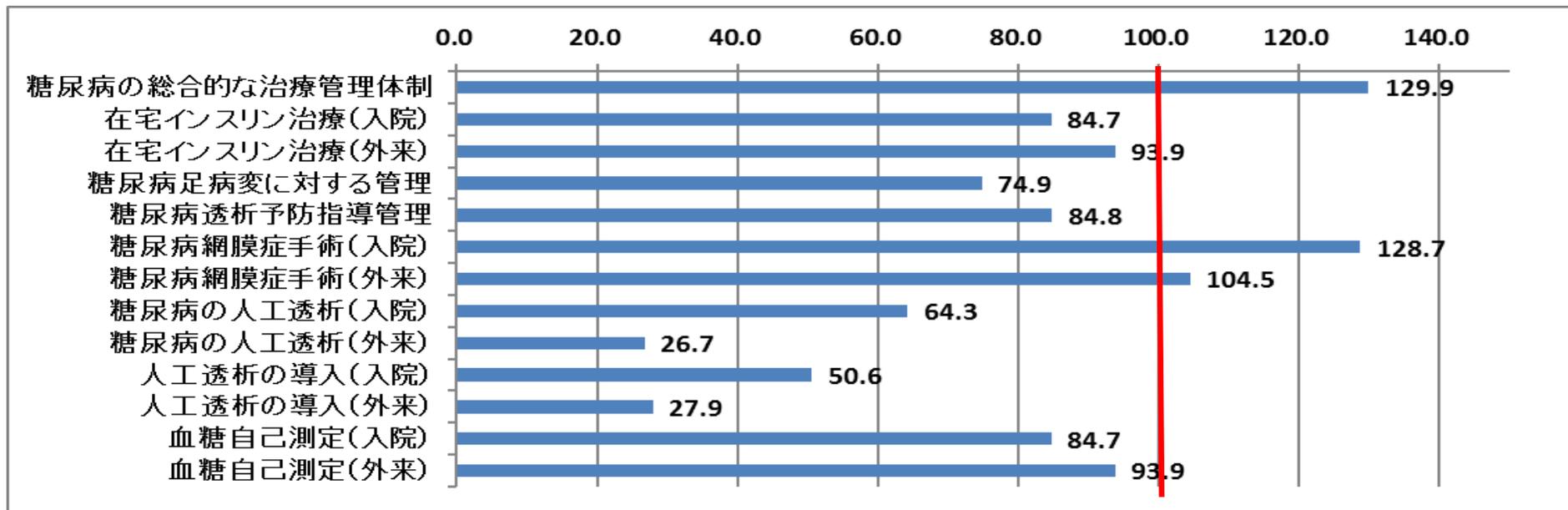


指標名	区分	横浜北部
糖尿病の総合的な治療管理体制	外来	120.6
在宅インスリン治療(入院)	入院	94.2
在宅インスリン治療(外来)	外来	75.5
糖尿病足病変に対する管理	外来	136.6
糖尿病透析予防指導管理	外来	42.3
糖尿病網膜症手術(入院)	入院	176.8
糖尿病網膜症手術(外来)	外来	77.2
糖尿病の人工透析(入院)	入院	39.4
糖尿病の人工透析(外来)	外来	50.8
人工透析の導入(入院)	入院	43.0
人工透析の導入(外来)	外来	51.4
血糖自己測定(入院)	入院	94.2
血糖自己測定(外来)	外来	75.5

<SCRとは>
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
 ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
 ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・糖尿病網膜症手術、糖尿病足病変に対する管理の出現比が高い。

横浜西部における【糖尿病】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成25年度NDBデータ)

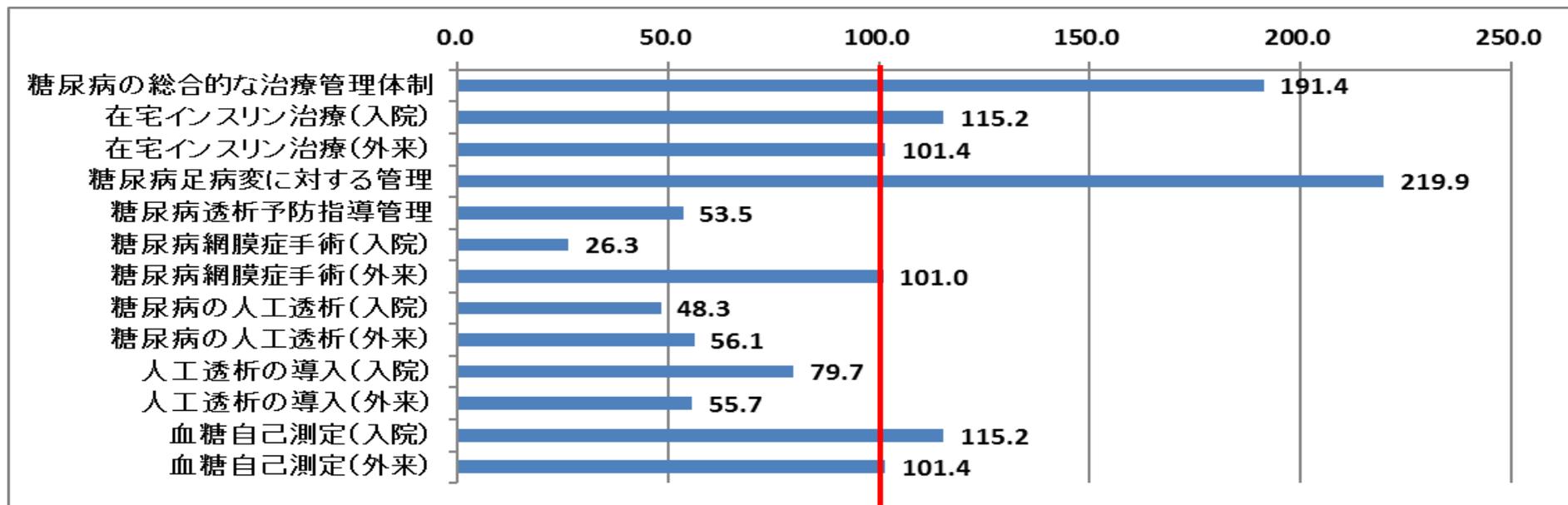


指標名	区分	横浜西部
糖尿病の総合的な治療管理体制	外来	129.9
在宅インスリン治療(入院)	入院	84.7
在宅インスリン治療(外来)	外来	93.9
糖尿病足病変に対する管理	外来	74.9
糖尿病透析予防指導管理	外来	84.8
糖尿病網膜症手術(入院)	入院	128.7
糖尿病網膜症手術(外来)	外来	104.5
糖尿病の人工透析(入院)	入院	64.3
糖尿病の人工透析(外来)	外来	26.7
人工透析の導入(入院)	入院	50.6
人工透析の導入(外来)	外来	27.9
血糖自己測定(入院)	入院	84.7
血糖自己測定(外来)	外来	93.9

<SCRとは>
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
 ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
 (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
 ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・総合的な治療管理体制、糖尿病網膜症手術の出現率が高い。

横浜南部における【糖尿病】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成25年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜南部
糖尿病の総合的な治療管理体制	外来	191.4
在宅インスリン治療(入院)	入院	115.2
在宅インスリン治療(外来)	外来	101.4
糖尿病足病変に対する管理	外来	219.9
糖尿病透析予防指導管理	外来	53.5
糖尿病網膜症手術(入院)	入院	26.3
糖尿病網膜症手術(外来)	外来	101.0
糖尿病の人工透析(入院)	入院	48.3
糖尿病の人工透析(外来)	外来	56.1
人工透析の導入(入院)	入院	79.7
人工透析の導入(外来)	外来	55.7
血糖自己測定(入院)	入院	115.2
血糖自己測定(外来)	外来	101.4

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$
(※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・糖尿病足病変に対する管理、総合的な治療管理体制の出現比が高い。

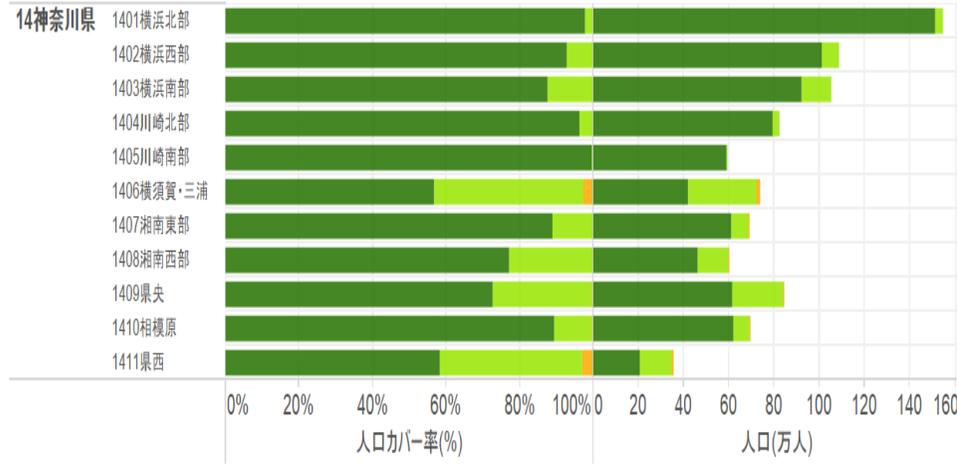
神奈川県におけるDPC公開データによるアクセス状況(平成27年度DPCデータ:2型糖尿病)

<2型糖尿病>

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 10内分泌・栄養・代謝に関する DPC6title 1000702型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)



■ 15分以内 ■ 30分以内 ■ 60分以内 ■ 90分以内

地域別・傷病別人口カバー率 / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

都道府県 14神奈川県 2次医療圏 すべて 市区町村 すべて

MDCtitle 10内分泌・栄養・代謝に関する DPC6title 1000702型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)

都道府県	2次医療圏	カバー率(%)			人口(万人)		
		15分以内	30分以内	60分以内	15分以内	30分以内	60分以内
14神奈川県	1401横浜北部	97.9%	2.1%		151.3	3.3	
	1402横浜西部	93.0%	7.0%		101.0	7.7	
	1403横浜南部	87.7%	12.3%		92.2	13.0	
	1404川崎北部	96.4%	3.6%		79.3	2.9	
	1405川崎南部	99.8%	0.2%		59.1	0.1	
	1406横須賀・三浦	56.7%	40.8%	2.5%	42.0	30.2	1.9
	1407湘南東部	88.9%	11.1%	0.0%	61.2	7.6	0.0
	1408湘南西部	77.2%	22.7%	0.0%	46.2	13.6	0.0
	1409県央	72.8%	26.8%	0.4%	61.6	22.7	0.3
	1410相模原	89.6%	10.2%	0.3%	62.1	7.0	0.2
	1411県西	58.5%	38.5%	3.0%	21.0	13.8	1.1

<出典>tableau public公開資料 (<http://public.tableau.com/profile/kbishikawa#!/>)
石川ベンジャミン光一 (国立がんセンター) 作成

神奈川県におけるDPC公開データによるアクセスマップ(平成25年度DPCデータ:2型糖尿病)

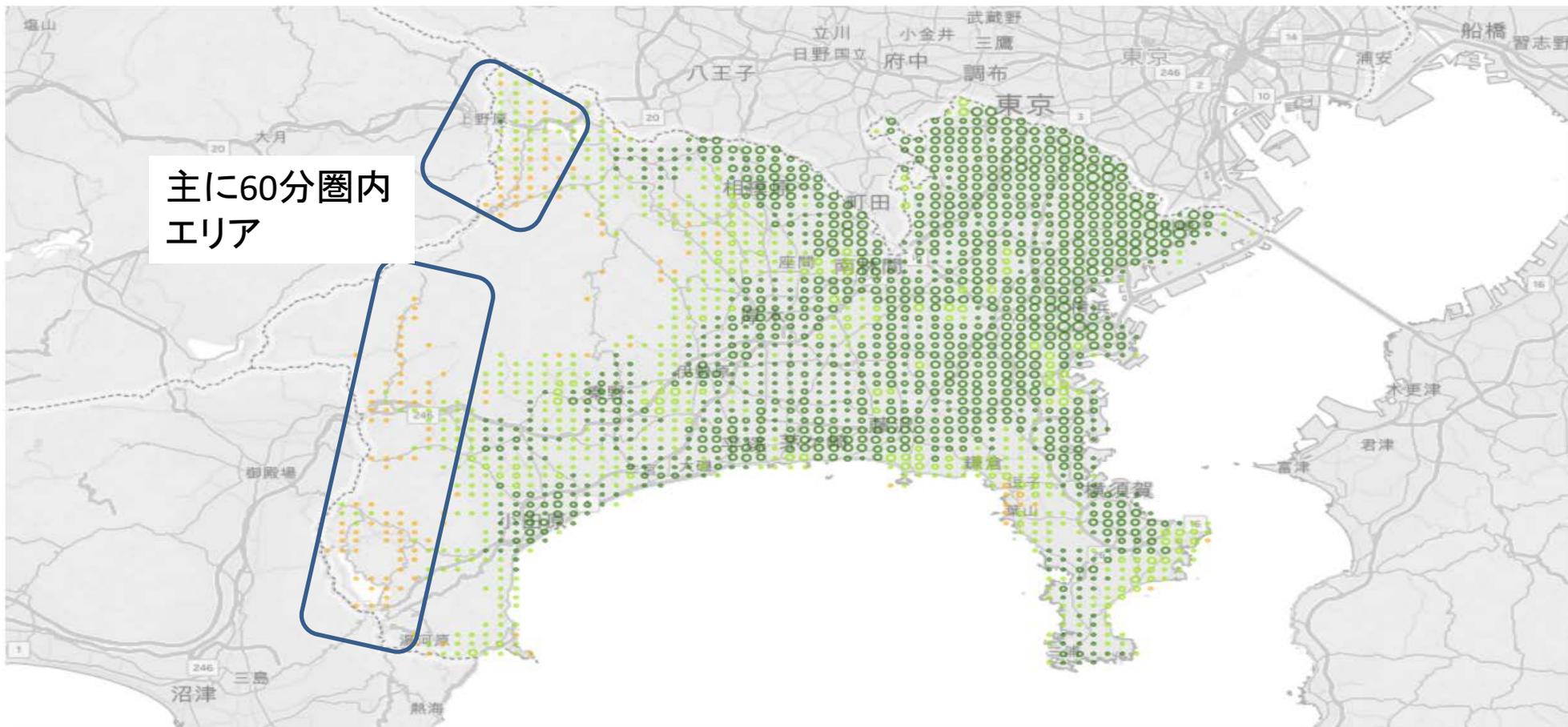
運転時間に基づくカバーエリア / 厚労省DPC調査-2015(H27)年度

傷病分類 1000702型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)

都道府県 14神奈川県

2次医療圏 すべて

市区町村 すべて



主に60分圏内
エリア

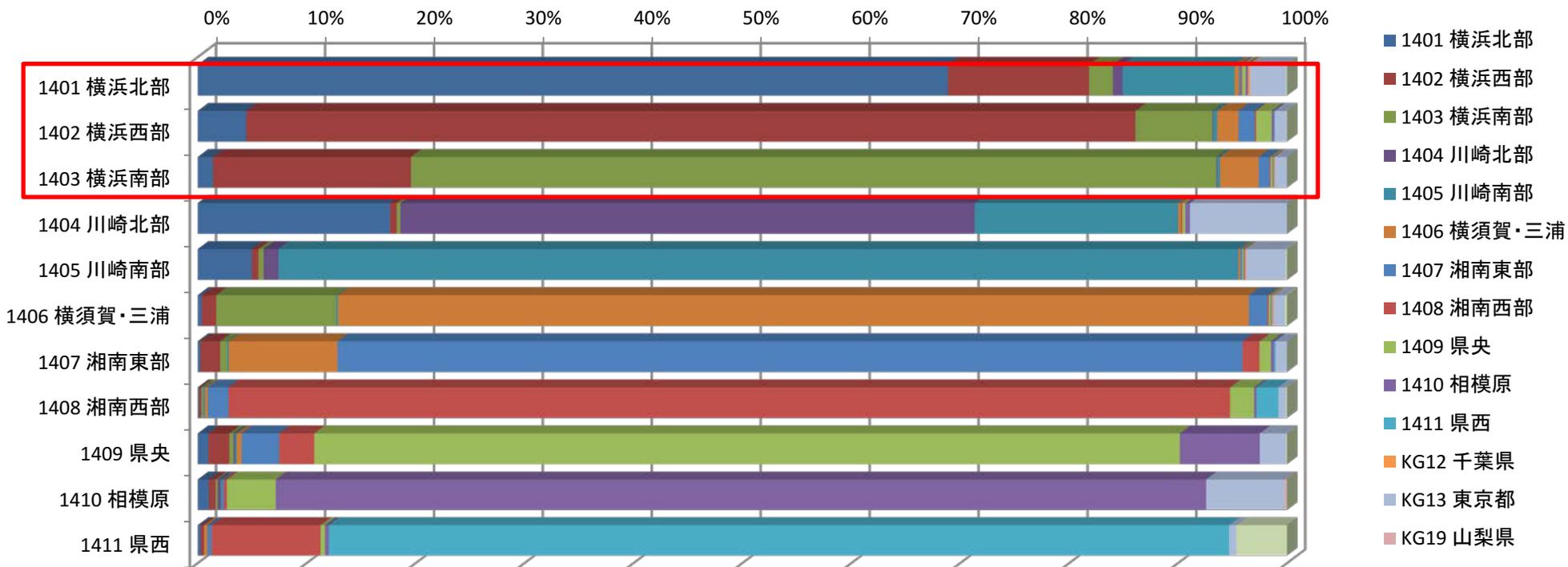
	15分以内	30分以内	60分以内
人口	7,770,125	1,219,290	34,522
カバー率/累計	86.1%	99.6%	100.0%

有料道路を使用しない運転時間による集計
(メッシュ単位で計算 / 人口カバー率の資料とは異なります)

kishikaw@ncc.go.jp

救急

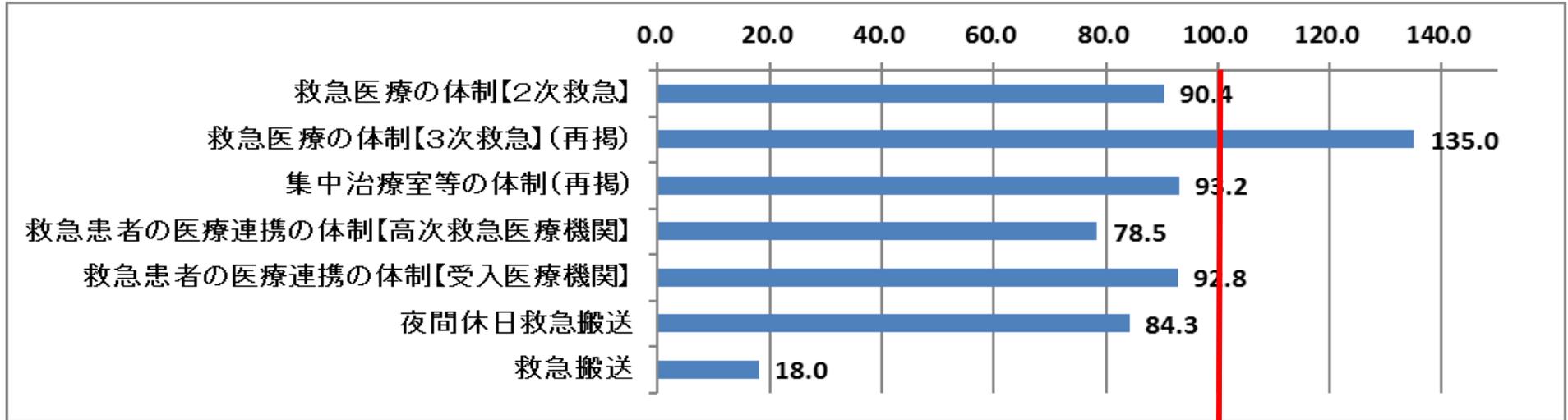
横浜における救急医療の自己完結率・二次救急(平成26年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名															
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	68.88%	12.96%	2.19%	0.89%	10.28%	0.40%	0.21%	0.09%	0.33%	0.21%		0.18%	3.33%		0.07%	20,447
1402 横浜西部	4.45%	81.64%	7.06%	0.06%	0.39%	1.95%	1.49%	0.12%	1.44%	0.23%	0.05%		1.08%		0.05%	24,153
1403 横浜南部	1.39%	18.18%	73.95%	0.07%	0.27%	3.53%	1.02%	0.08%	0.19%	0.07%	0.05%	0.10%	1.08%			22,950
1404 川崎北部	17.66%	0.62%	0.34%	52.72%	18.68%	0.24%		0.13%	0.29%	0.42%			8.91%			7,633
1405 川崎南部	4.97%	0.60%	0.47%	1.38%	88.13%	0.18%	0.17%		0.14%	0.11%		0.11%	3.63%		0.12%	10,099
1406 横須賀・三浦	0.37%	1.33%	11.00%		0.17%	83.65%	1.69%	0.13%	0.17%	0.06%	0.09%	0.13%	1.04%		0.18%	17,190
1407 湘南東部	0.24%	1.81%	0.64%		0.14%	9.99%	83.09%	1.56%	1.05%	0.27%	0.16%		1.04%			13,125
1408 湘南西部	0.10%	0.22%	0.18%		0.16%	0.26%	1.91%	91.95%	2.20%	0.21%	2.02%		0.68%		0.10%	9,535
1409 県央	0.97%	1.93%	0.40%	0.15%	0.14%	0.45%	3.45%	3.22%	79.47%	7.33%			2.41%		0.09%	11,784
1410 相模原	1.02%	0.62%	0.20%	0.28%	0.11%		0.17%	0.28%	4.48%	85.42%			7.19%	0.23%		10,195
1411 県西	0.26%	0.31%				0.31%	0.39%	10.01%	0.41%	0.35%	82.66%		0.67%		4.64%	4,914
総計	17,664	27,440	21,256	4,423	12,674	17,182	12,473	9,971	10,713	9,813	4,315	94	3,666	23	318	152,025

・90.5%の患者が、市域内で入院医療を完結している。川崎との流出入が多い。

横浜北部における【救急】の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜北部
救急医療の体制【2次救急】	入院	90.4
救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	135.0
集中治療室等の体制(再掲)	入院	93.2
救急患者の医療連携の体制【高次救急医療機関】	入院	78.5
救急患者の医療連携の体制【受入医療機関】	入院	92.8
夜間休日救急搬送	入院	84.3
救急搬送	入院	18.0

<SCRとは>

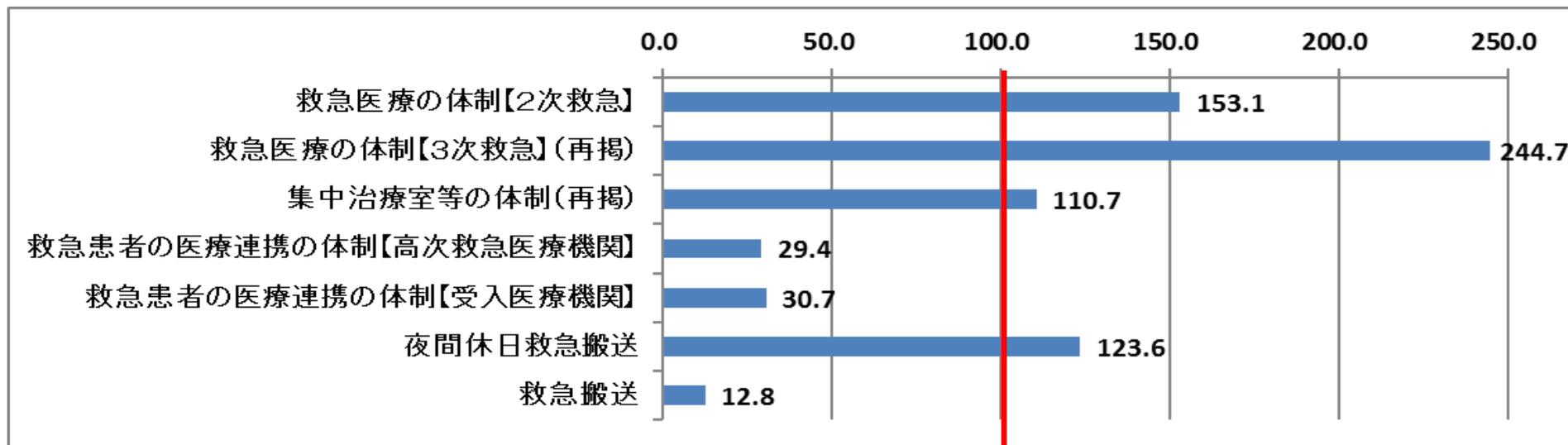
・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)

・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)

・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・3次救急の出現比が高い。

横浜西部における【救急】の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜西部
救急医療の体制【2次救急】	入院	153.1
救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	244.7
集中治療室等の体制(再掲)	入院	110.7
救急患者の医療連携の体制【高次救急医療機関】	入院	29.4
救急患者の医療連携の体制【受入医療機関】	入院	30.7
夜間休日救急搬送	入院	123.6
救急搬送	入院	12.8

<SCRとは>

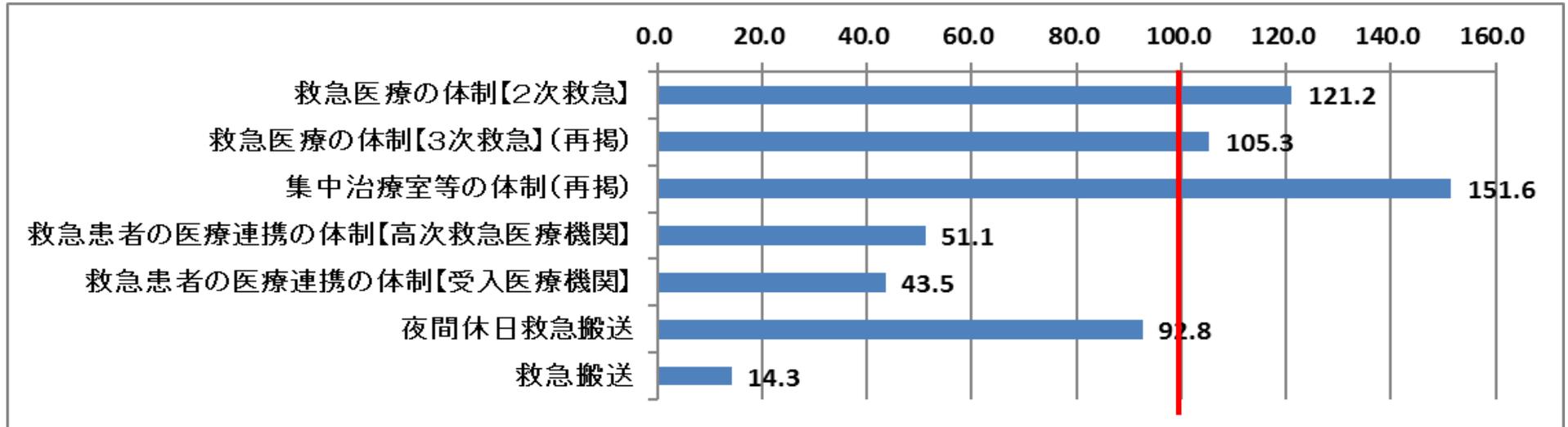
・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)

・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)

・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・3次救急、2次救急の出現比が高い。

横浜南部における【救急】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



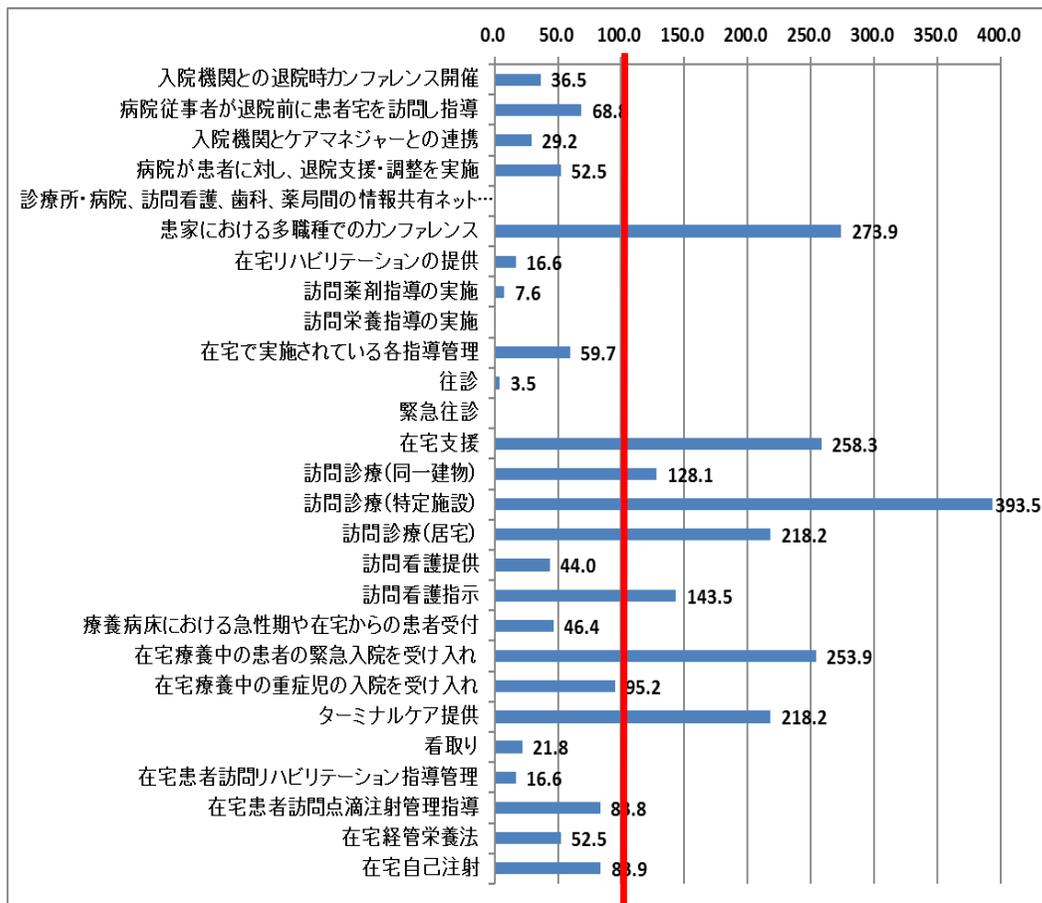
指標名	区分	横浜南部
救急医療の体制【2次救急】	入院	121.2
救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	105.3
集中治療室等の体制(再掲)	入院	151.6
救急患者の医療連携の体制【高次救急医療機関】	入院	51.1
救急患者の医療連携の体制【受入医療機関】	入院	43.5
夜間休日救急搬送	入院	92.8
救急搬送	入院	14.3

<SCRとは>
 ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
 ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
 ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・集中治療室等の体制、2次救急の出現比が高い。

在宅医療等

横浜北部における【在宅】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



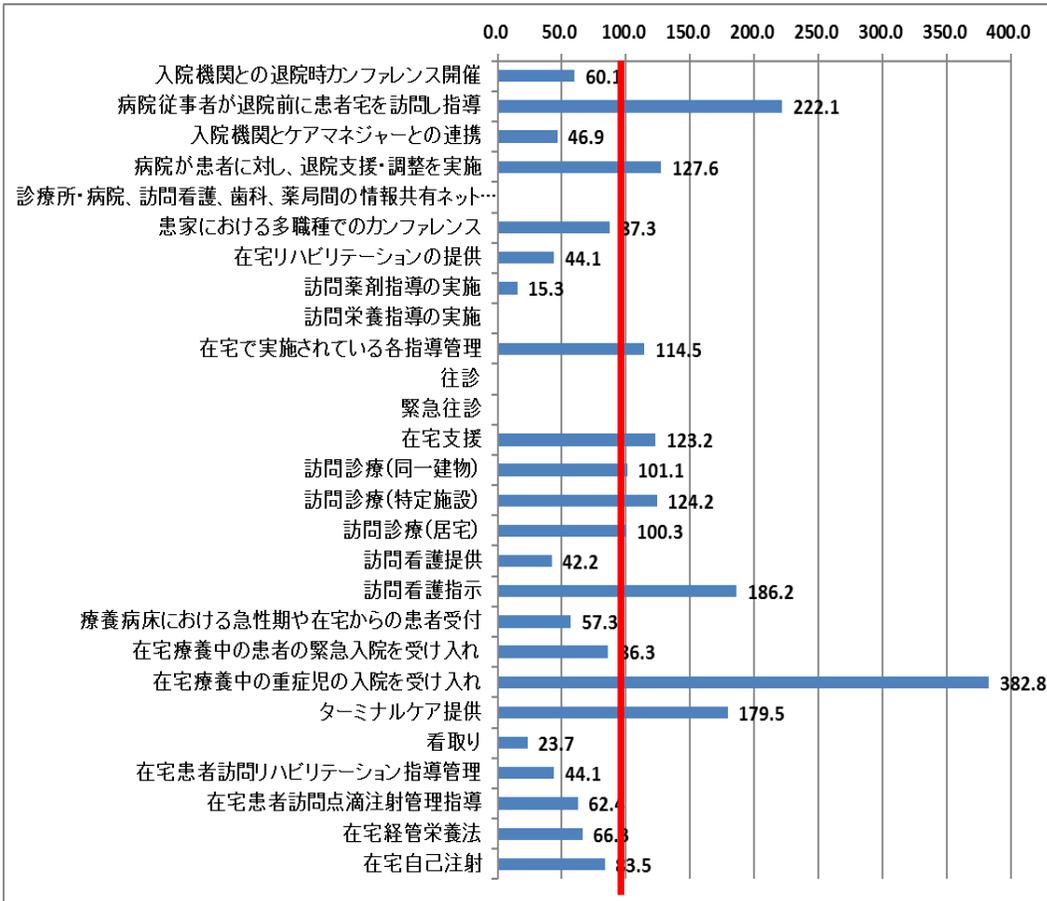
指標名	区分	横浜北部
入院機関との退院時カンファレンス開催	入院	36.5
病院従事者が退院前に患者宅を訪問し指導	入院	68.8
入院機関とケアマネジャーとの連携	入院	29.2
病院が患者に対し、退院支援・調整を実施	入院	52.5
診療所・病院、訪問看護、歯科、薬局間の情報共有ネットワーク	外来	
患者における多職種でのカンファレンス	外来	273.9
在宅リハビリテーションの提供	外来	16.6
訪問薬剤指導の実施	外来	7.6
訪問栄養指導の実施	外来	
在宅で実施されている各指導管理	入院	59.7
往診	入院	3.5
緊急往診	入院	
在宅支援	外来	258.3
訪問診療(同一建物)	外来	128.1
訪問診療(特定施設)	外来	393.5
訪問診療(居宅)	外来	218.2
訪問看護提供	外来	44.0
訪問看護指示	入院	143.5
療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	46.4
在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	253.9
在宅療養中の重症児の入院を受け入れ	入院	95.2
ターミナルケア提供	外来	218.2
看取り	入院	21.8
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	外来	16.6
在宅患者訪問点滴注射管理指導	外来	83.8
在宅経管栄養法	入院	52.5
在宅自己注射	入院	83.9

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・訪問診療、患者における多職種でのカンファレンス、在宅支援の出現比が高い。

横浜西部における【在宅】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



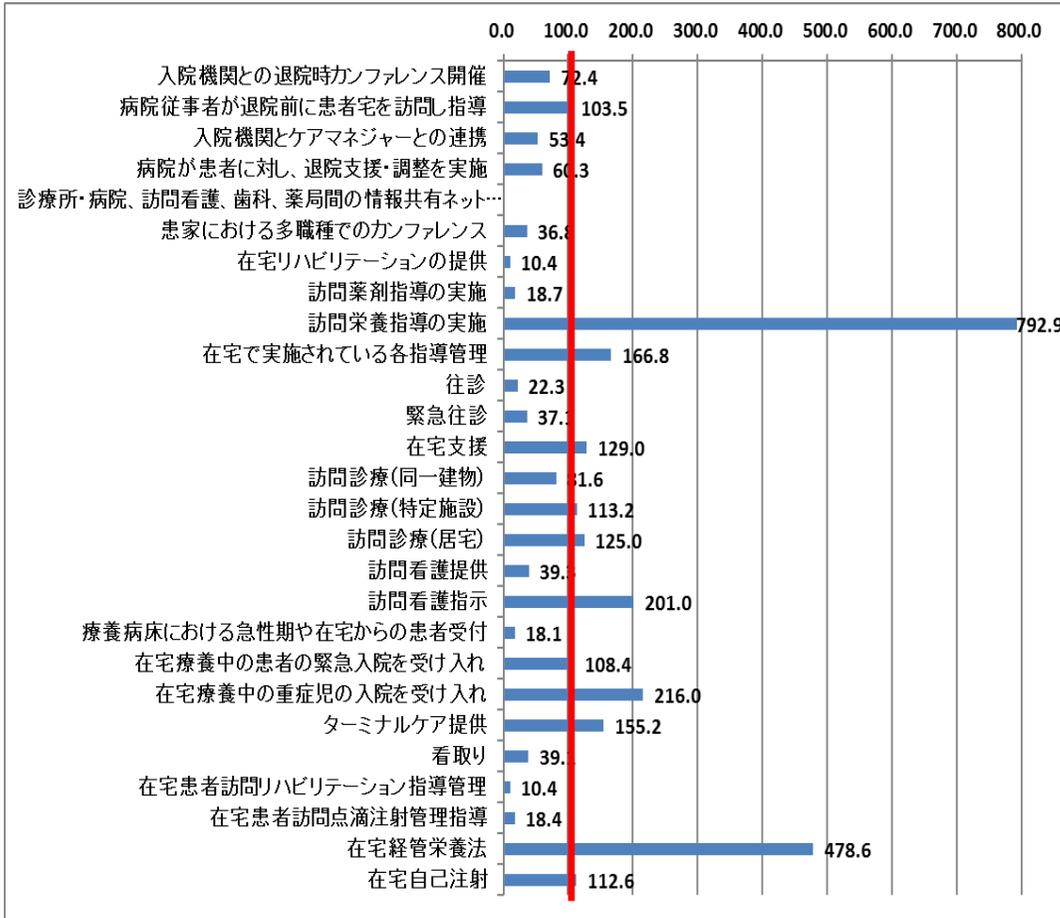
指標名	区分	横浜西部
入院機関との退院時カンファレンス開催	入院	60.1
病院従事者が退院前に患者宅を訪問し指導	入院	222.1
入院機関とケアマネジャーとの連携	入院	46.9
病院が患者に対し、退院支援・調整を実施	入院	127.6
診療所・病院、訪問看護、歯科、薬局間の情報共有ネットワーク	外来	
患者における多職種でのカンファレンス	外来	87.3
在宅リハビリテーションの提供	外来	44.1
訪問薬剤指導の実施	外来	15.3
訪問栄養指導の実施	外来	
在宅で実施されている各指導管理	入院	114.5
往診	入院	
緊急往診	入院	
在宅支援	外来	123.2
訪問診療(同一建物)	外来	101.1
訪問診療(特定施設)	外来	124.2
訪問診療(居宅)	外来	100.3
訪問看護提供	外来	42.2
訪問看護指示	入院	186.2
療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	57.3
在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	86.3
在宅療養中の重症児の入院を受け入れ	入院	382.8
ターミナルケア提供	外来	179.5
看取り	入院	23.7
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	外来	44.1
在宅患者訪問点滴注射管理指導	外来	62.4
在宅経管栄養法	入院	66.3
在宅自己注射	入院	83.5

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\Sigma \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\Sigma \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・在宅療養中の重症児の入院受け入れ、訪問看護指示、ターミナルケア提供の出現比が高い

横浜南部における【在宅】関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成26年度NDBデータ)



指標名	区分	横浜南部
入院機関との退院時カンファレンス開催	入院	72.4
病院従事者が退院前に患者宅を訪問し指導	入院	103.5
入院機関とケアマネジャーとの連携	入院	53.4
病院が患者に対し、退院支援・調整を実施	入院	60.3
診療所・病院、訪問看護、歯科、薬局間の情報共有ネットワーク	外来	
患家における多職種でのカンファレンス	外来	36.8
在宅リハビリテーションの提供	外来	10.4
訪問薬剤指導の実施	外来	18.7
訪問栄養指導の実施	外来	792.9
在宅で実施されている各指導管理	入院	166.8
往診	入院	22.3
緊急往診	入院	37.1
在宅支援	外来	129.0
訪問診療(同一建物)	外来	81.6
訪問診療(特定施設)	外来	113.2
訪問診療(居宅)	外来	125.0
訪問看護提供	外来	39.3
訪問看護指示	入院	201.0
療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	18.1
在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	108.4
在宅療養中の重症児の入院を受け入れ	入院	216.0
ターミナルケア提供	外来	155.2
看取り	入院	39.1
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	外来	10.4
在宅患者訪問点滴注射管理指導	外来	18.4
在宅経管栄養法	入院	478.6
在宅自己注射	入院	112.6

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、少なければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

・訪問栄養指導、在宅経管栄養法の出現比が高い。